

第 11 回新市将来構想策定小委員会次第

日時:平成 15 年 8 月 29 日(金)
午後 6 時 30 分から 8 時 30 分まで
場所: 長岡市役所大会議室

1 開会

2 報告

- (1) デジタルマップについて

3 議事

- (1) 地域別整備・活動方針について(構想書 第4部)
- (2) 新市全体で取り組む活動展開について(構想書 第4部)
- (3) まちづくりのこれからを考えるについて(構想書 第5部)
- (4) 地域の夢のカタチについて(構想書 第5部)
- (5) 新市将来構想書全体素案について

4 その他

- (1) 次回小委員会の日程について

5 閉会

デジタルマップについて

1. デジタルマップ作成の背景

8市町村の現在の姿や課題を検討する際は、見た目がわかりやすく、課題の空間的な関係などを把握できるよう表現することが必要です。特に住民のみなさまに向けた説明などの観点からも、これらの要素は重要です。

この観点から、**デジタルマップ**のもつ以下の特性を活用することとし、効率的な資料の作成に向け、必要となるデータを整備しました。

デジタルマップの特性

異なる指標の重ね合わせ表示が簡単

施設の位置と人口密度の分布など、異なる指標を同じ地図上で簡単に重ね合わせます。これにより、各指標の空間的分布を直感的に把握し、各指標間の関係性などの検討が可能になります。

数値シミュレーションが可能

指定した施設から一定距離以内に住んでいる人の数や、施設間の移動時間など、数値シミュレーションが可能です。

データの追加・修正が簡単

地図の元になる施設や指標データはすべてデータベースとして整理されており、簡単に追加や修正ができます。

見せ方などの変更が簡単

例えば、人口密度別に色分けした図面の作成において、階層の分け方・色の使い方などを簡単に変更することができ、見やすい地図情報を作成することができます。

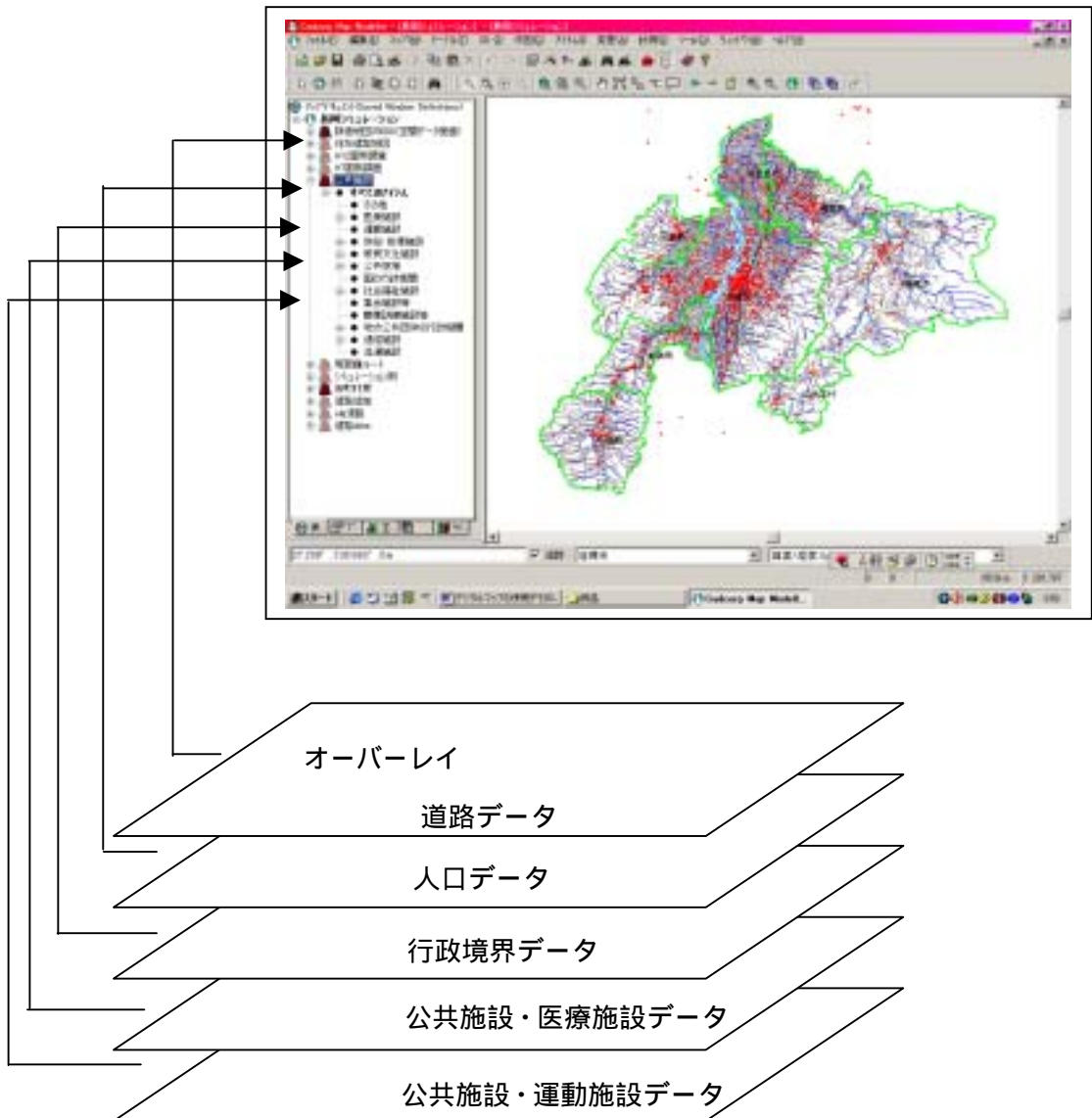
また、拡大・縮小が任意であり、同じデータ精度で、必要部分の拡大図の作成も簡単です。

検討作業への適用

- ・ わかりやすく多量の情報をもつ資料（地図情報）を効率的に作成
- ・ 移動時間や影響圏人口などの推計（シミュレーション）を実施

- ・ 今後、p.5 以降に示す方法などで、地域のめざす姿や活動方針を裏付ける地域の現在の姿や課題を提示することができます。
- ・ また、今後の新市建設計画検討においても、主要事業の検討などで利用することも可能です。

2. デジタルマップのシステムイメージ



基本的な画面のレイアウト構成は上記のとおりです。

右の地図画面は、左に分類した様々な“オーバーレイ”と呼ばれる透明シートによって、それぞれのデータが重ねあわさって表示されています。

各種データを位置の情報で結ぶことで、以下のことが可能です。

- ・ 指標の空間的分布を表示
- ・ 複数の指標を同じ地図上に表示
- ・ 指定した施設から一定距離以内に住んでいる人の数や、施設間の移動時間など、数値シミュレーション

3. データ整備

8市町村に関する以下のデータを整理しました。8市町村以外が管理する施設でも、この地域と関係の深い主な施設（国や県の施設等）も合わせて整理しました。

（データの種類）

種類	施設関係	人口関係	道路関係
データ	・ 公共施設および主な生活関連施設	・ 国勢調査結果（町丁・字別人口、世帯、年代別人口）	・ 市販のデジタル道路データ（市町村道、県道、国道、高速自動車道路、鉄道他）
年度	・ 8市町村については、最新（H15.3.31時点） ・ その他地域については各種資料より	・ H7 調査 ・ H12 年調査	・ 市販のデジタル道路データ（2002年度版）
対象	・ 8市町村（一部、8市町村と関係の深い国、県の施設）	・ 8市町村（町丁・字別人口、世帯 他） ・ 新潟県全域	・ 8市町村 ・ 新潟県全域

（施設データと関連するその他データの例）

施設等の分類例	分析で関連するその他データの例
行政機関（本庁、支所、各種事務所）	・ 全人口密度、全世帯密度 ・ 各施設からの時間距離圏人口・世帯数 等
警察機関、消防機関	
供給・処理施設	
医療施設	
社会教育施設	
学校	・ 利用年齢層人口、世帯密度 ・ 各施設からの時間距離圏の利用年齢層人口 等
老人福祉施設、児童福祉施設	

各分類に含まれる具体的な施設については次頁参照

施設データは、下表のB欄(施設種別)毎にまとめ、オーバーレイ(p.2参照)を作成しました。

(施設等の分類と施設数の概要)

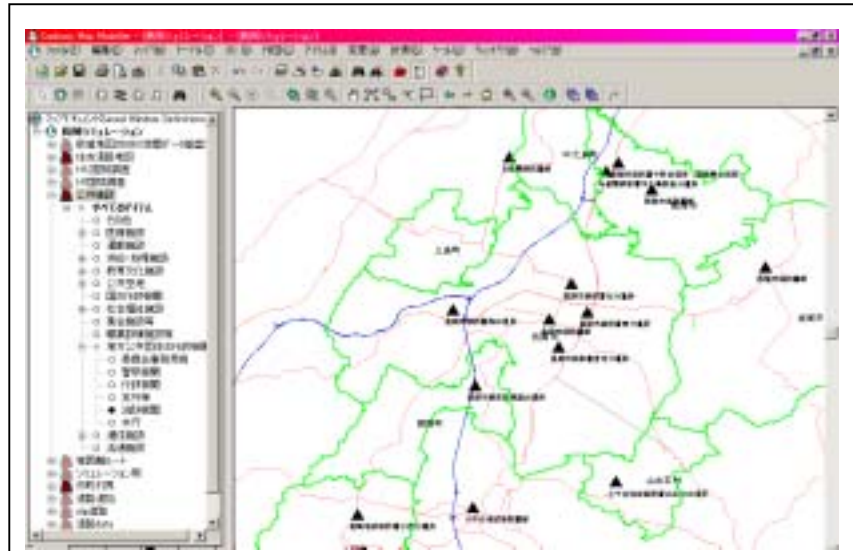
A：施設等の分類	B：施設種別の例	施設数
国の行政機関	各省庁の事務所 他	27
地方公共団体の行政機関の本庁、支庁	市町村役場、分庁舎、出張所 他	30
行政機関	各種相談所、試験研究機関、事務所 他	66
警察機関	警察署、交番、駐在所、 他	55
消防機関	消防署、出張所、分遣所 他	20
公開空地	都市公園、その他公園 他	266
供給・処理施設	水道施設、下水道施設、廃棄物処理施設等	52
学校	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、専修学校 他	153
社会教育施設	公民館、博物館、図書館 他	118
体育施設	体育館、運動場、野球場 他	108
医療施設	総合病院、一般病院、診療所 他	18
老人福祉施設	特別養護老人ホーム、老人福祉センター 他	19
身体障害者更正授護施設	身体障害者療護施設、身体障害者福祉工場 他	12
児童福祉施設	保育所、児童館、児童遊園 他	161
精神薄弱者授護施設	精神薄弱者更生施設、グループホーム 他	39
その他社会福祉施設	老人憩いの家、老人介護施設 他	183
通信施設	郵便局 他	9
その他	集会施設、運搬施設、駐車場 他	41
合計		1377

施設等の分類は、国土数値情報の中分類を参考に設定

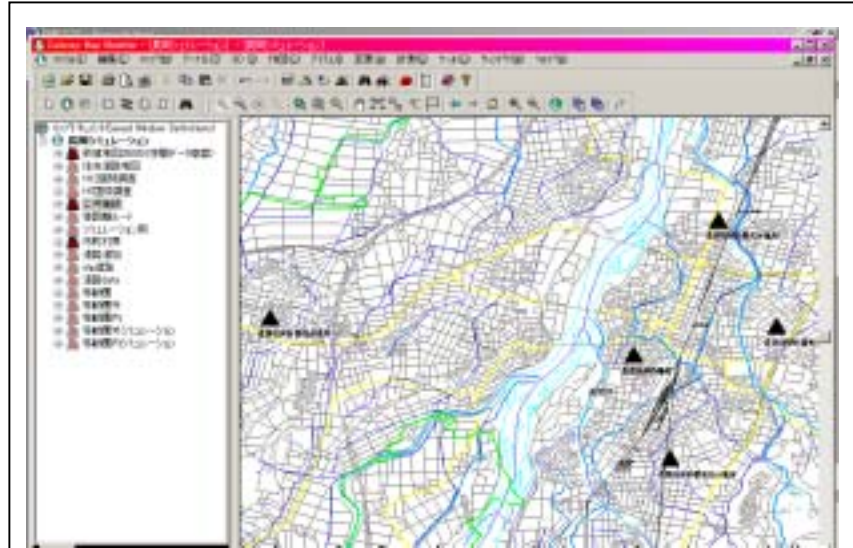
各施設データは、今後も追加・更新してゆくことができます。

現況整理での利用例：各種施設の分布状態の把握

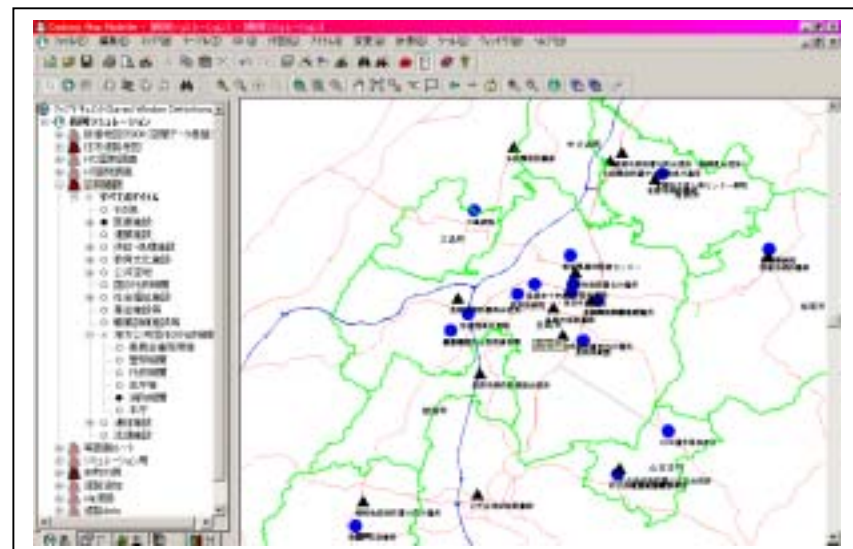
任意の施設データを選
定し、8市町村内での分
布状況が把握できます。
(右図の は消防関係施
設)



拡大や縮小も任意です。

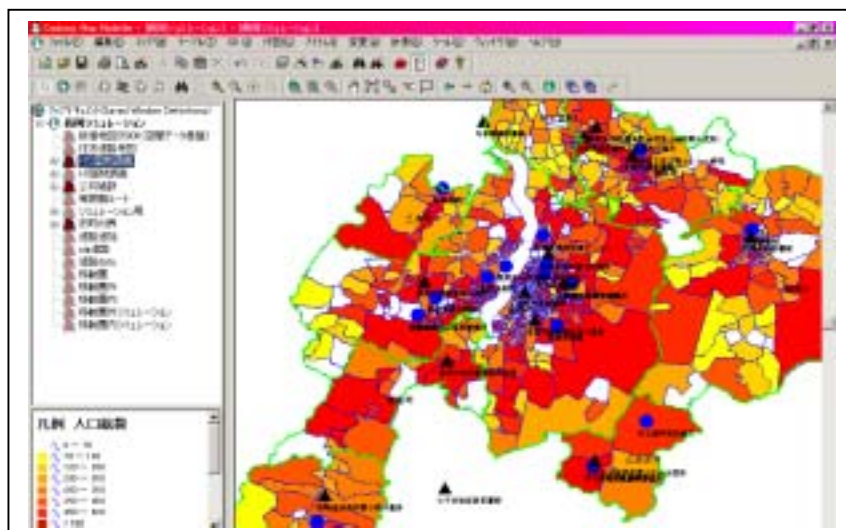


施設を複数選択すれば重
ね合わせも可能です。
(右図は 病院等施設を追
加した場合)

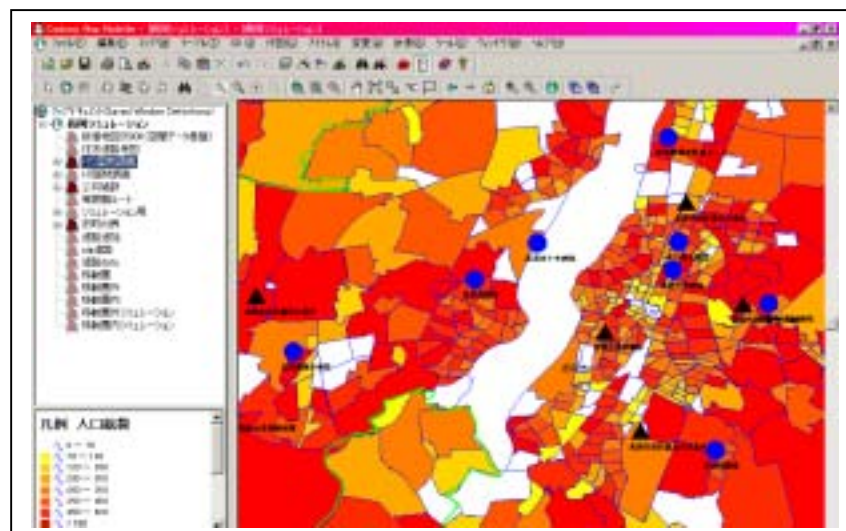


更に、人口・世帯数などのデータを地図上で重ね合わせて、その関係を提示することが可能です。

(右図は消防関係施設、病院等施設と字丁別人口の分布)



(部分的な拡大も可能)

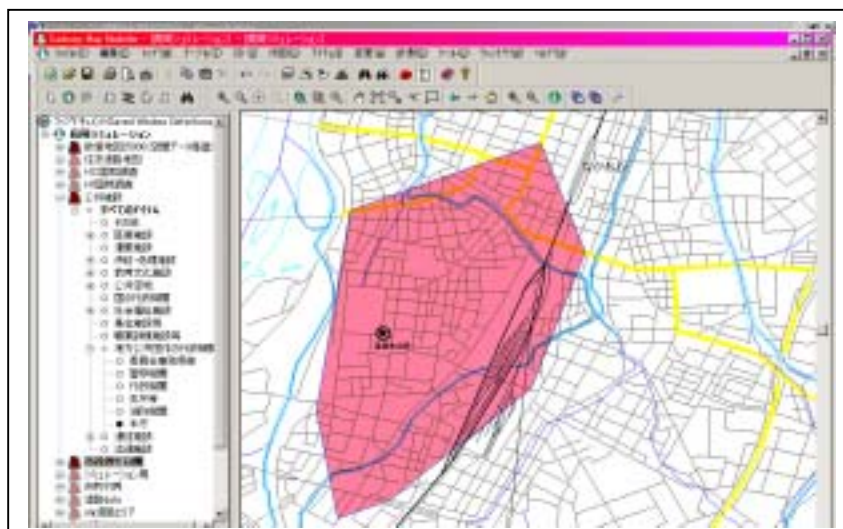


これらの公共施設分布図により、8市町村における行政機関、福祉機関、教育機関といった各種施設について、空間的な位置関係や、人口分布などとの関係性が把握できます。

利用イメージ例（その1）：各種施設のカバー圏等の推計

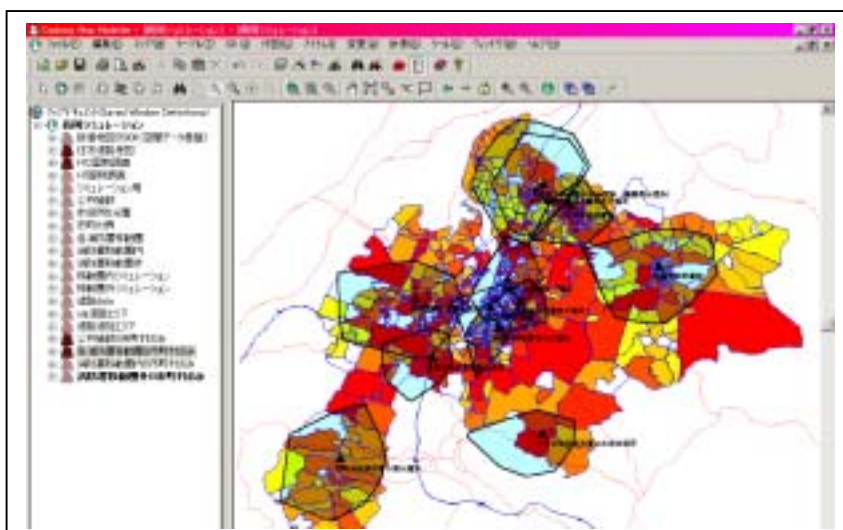
道路ネットワークのデータを利用し、施設からの移動時間圏を推定します。

（右図は長岡市役所からの自動車5分圏を推計した結果）

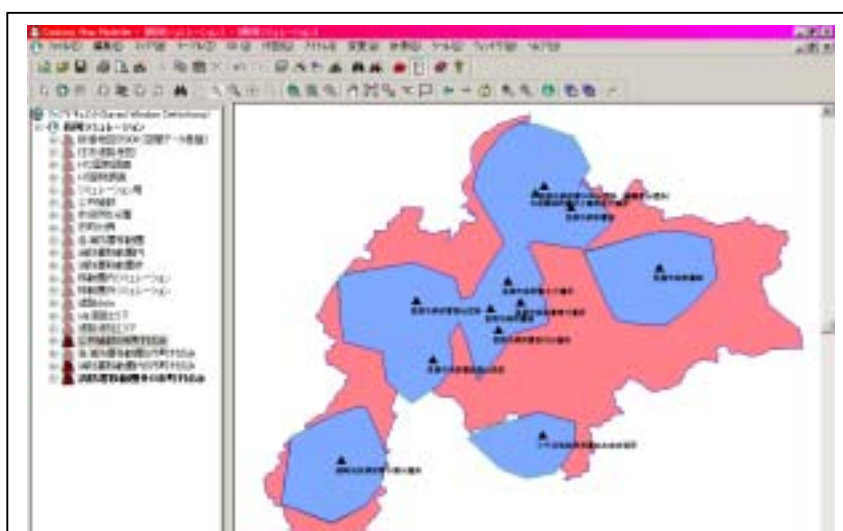


上記を各施設で実施し、各施設のカバー圏等を推計することが可能です。

（右図は、8市町村内の消防関係施設からの自動車10分圏を推計し、人口分布図と重ね合わせた結果）



右図のように、自動車10分圏の人口とそれ以外の地区を分けて、それぞれの人口や世帯数を推計することも可能です。

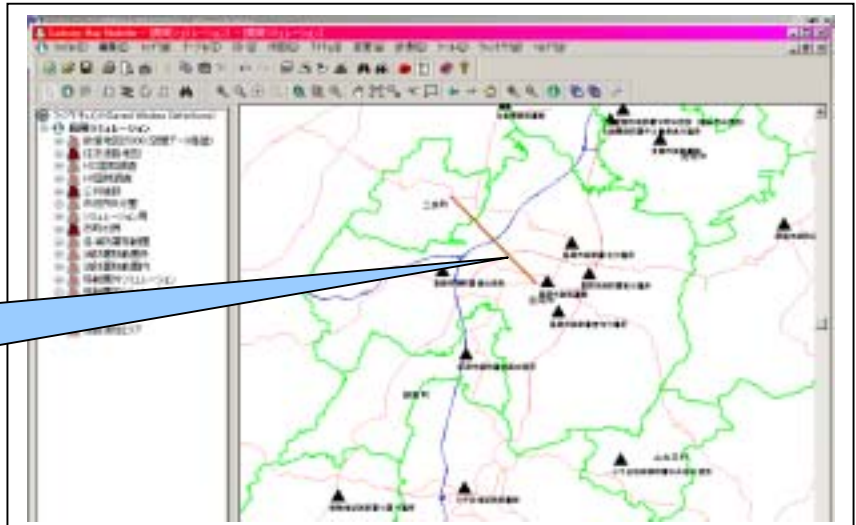


このような推計により、同種施設の統合の検討や不足地区の把握が可能です。また、各種機能の具体的なサービス水準目標（アウトカム指標）の検討なども可能です。

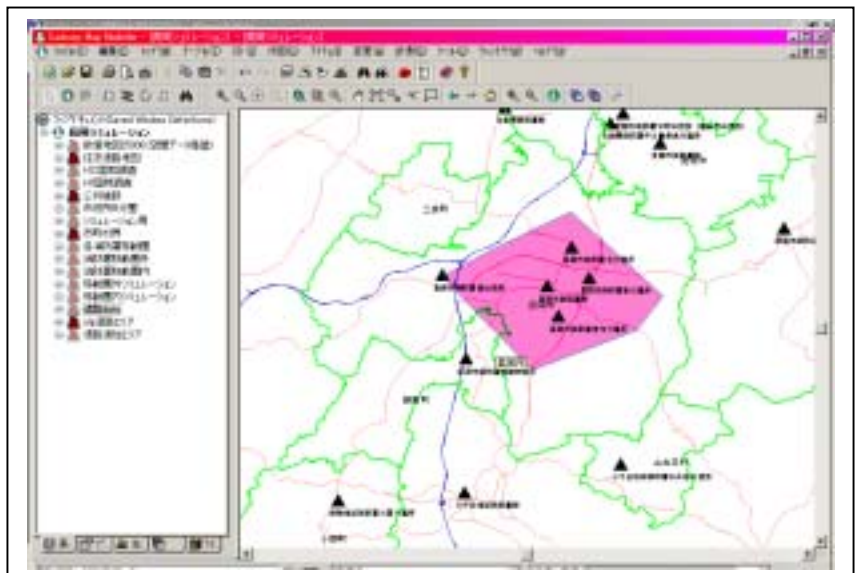
利用イメージ例（その2）：社会基盤整備等の効果の推計

道路を新設した場合を想定し、道路ネットワークに新たに道路を追加します。

ここに新しい道路を追加した場合

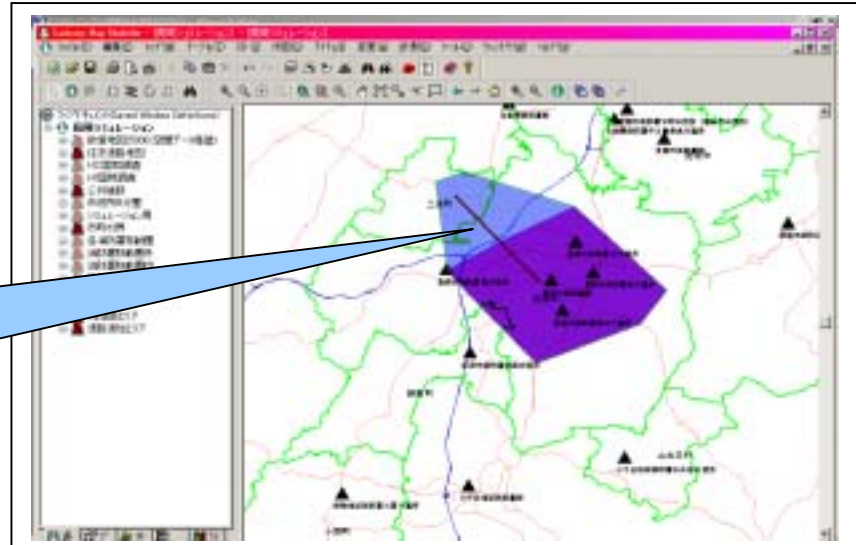


この道路を利用した道路ネットワークで、長岡市消防署より自動車 15 分移動圏を推計します。



道路整備前後の移動圏が比較できます。

これだけ移動圏が広がります（影響圏の人口などを推計することも可能です）



このような推計により、各種施設や社会基盤の整備による効果を定量的に把握し、検討データの1つとして利用可能です。

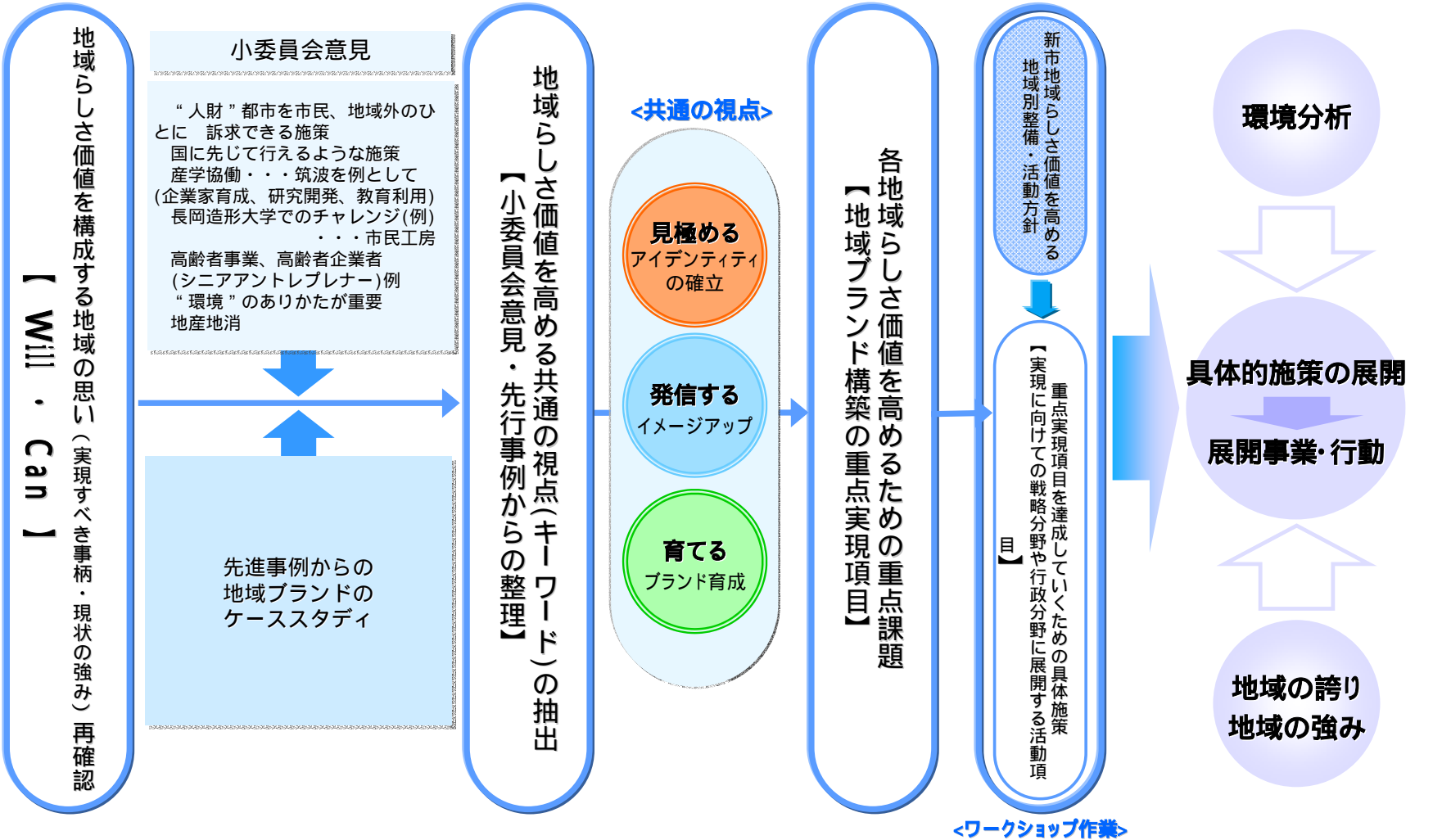
**「新市地域らしさ価値」を高めるための
地域別整備・活動方針(修正案)**

2003年8月29日

長岡地域任意合併協議会事務局

新都市将来構想を考える流れ

建設計画策定



地域別整備・活動方針

【独創企業が生まれ育つ都市 ~誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか~】

三島町
確かな伝統の技で信頼・支持されるモノづくり発信地

実現すべき事柄
ものづくりへの誠実さ、確かさ、粘り強さを維持・発信する地域となる

越路町
豊かな自然環境がつくる21世紀のクリーンエネルギーに育まれるまちの創造

実現すべき事柄
・自然環境に育まれる地場産業の振興・支援
・天然ガスを活用したクリーンエネルギー産業の創出・育成

小国町
伝統技術の継承と独自技術を活かしたこだわりの里づくり

実現すべき事柄
小国和紙等の伝統技術や独自技術の継承および発信により、に残るものを生み出す技術へのこだわりを誇りを持ち、高付加価値化を実現する

中之島町
抜群の広域アクセシビリティ・立地環境を活用した独創企業支援地域

実現すべき事柄
抜群の流通機能と豊かな生活環境から生れる豊富な労働力を活かし、生育する新産業等の独創企業を支える地域づくりを行う

長岡市
世界のモデルとなる独創企業生育拠点への挑戦

実現すべき事柄
ものづくりの確かな技術と人、モノ、情報の集積を強化し、世界に広がる夢を現実に変える都市(空間、機能、仕組み)の創造

山古志村
自然美、人間美から生まれる究極ブランドを守り、育て、独創企業に提供していく地域

実現すべき事柄
新ながおかのものづくりに対する“独創性”を歴史・伝統で裏付け、自然環境を活用し、支援する地域となる

見附市
高度技術・高感性をもつ人材による多様な産業の花が咲くまちの創造

実現すべき事柄
ファッション産業による豊富な技術と他分野産業、研究機関を活かした産学官連携による新ビジネス開発拠点地域となる

栃尾市
繊維産業を核とし、素材からこだわる多分野の栃尾ブランドづくり

実現すべき事柄
繊維工業技術の幅広い活用と、きれいな水と空気を活かした新世代産業の創出地となる

地域別整備・活動方針

【元気に満ちた米産地 ~まごころ米の生まれる里・新ながおか~】

三島町
「人と自然」の元気を生かした環境循環型農業の拡大地域

実現すべき事柄
高付加価値な農産物づくりを実践し、新ながおかの先進的な取り組みを広げ、産業化していく地域となる

越路町
最先端技術と確かな技が生み出す元気のあふれる米生産・技術導入拠点の創造

実現すべき事柄
・安心、安全、おいしい米生産の追求に向けた新しい栽培技術導入への挑戦
・安心な米生産と環境一体化の模索

小国町
安全で味にこだわる食の里づくり

実現すべき事柄
おいしくて特徴のある食の生産・発信地としての発展

中之島町
若く元気な住民パワーによる安全・安心・美しい食産基地

実現すべき事柄
地域づくりに積極的に取り組む住民力(かあちゃんパワー)による、安全・安心・新鮮な農産物の供給地域

長岡市
日本の食文化の誇りを育て、伝統を活かした「新ながおかブランド」の食の拠点として全国へ展開

実現すべき事柄
たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆる食の先進モデル地域としての展開を強化

山古志村
自然にいだかれた技と人の汗が創り出す、安心安全食の体験地域(来て、見て、食べて)

実現すべき事柄
伝統の食づくりを守り続け、人々に感動を与える地域イメージ発信地となる

見附市
健康に満ち溢れた農産地の創造

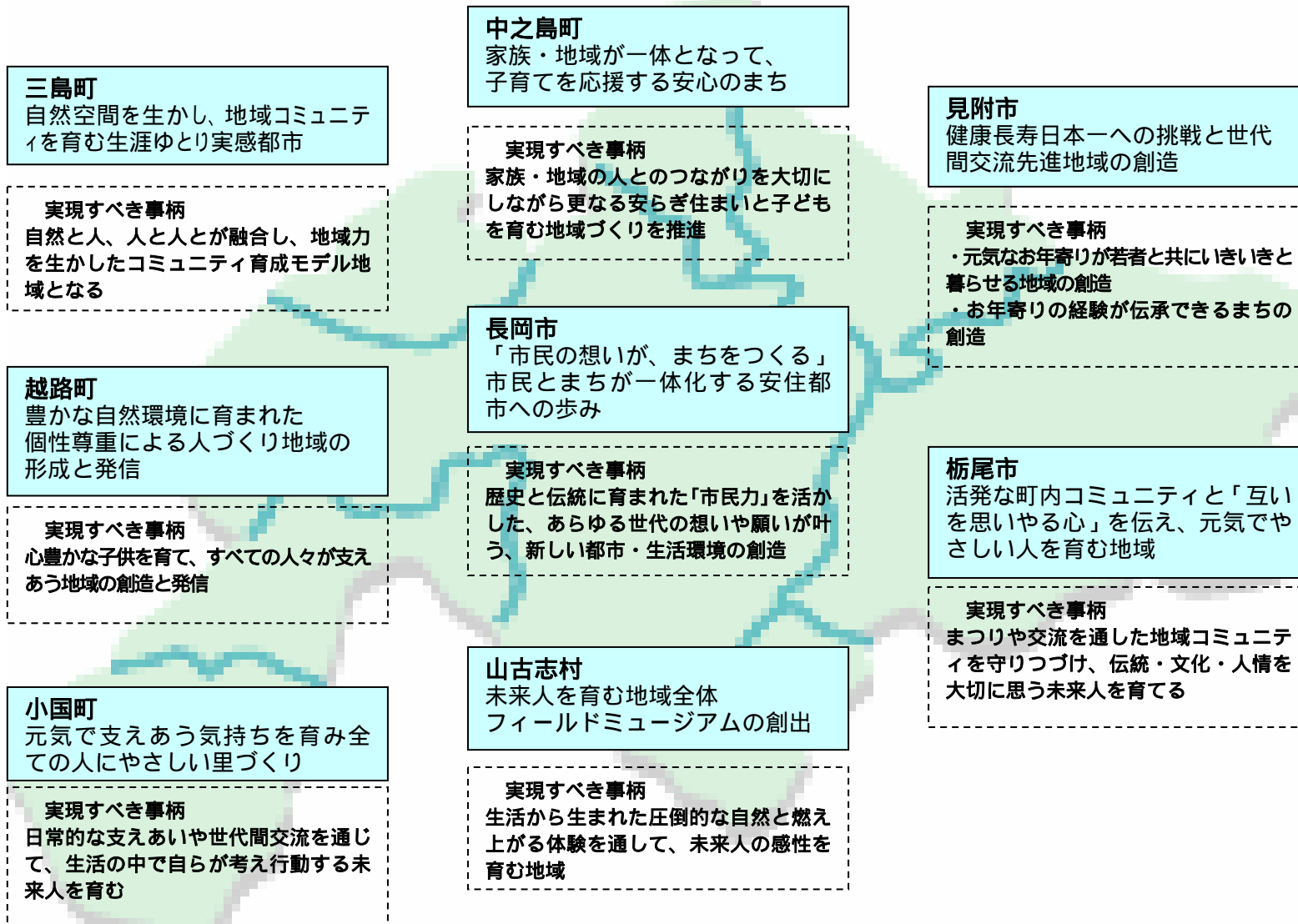
実現すべき事柄
「食」「生産」「人材」「消費者の食の安全性」の視点を生かした健康農業地域づくり

栃尾市
自然に培われた確かな素材による、『新ながおか名物』を生み発信する

実現すべき事柄
自然を生かした新たな「食」をつくり広げる地域となる

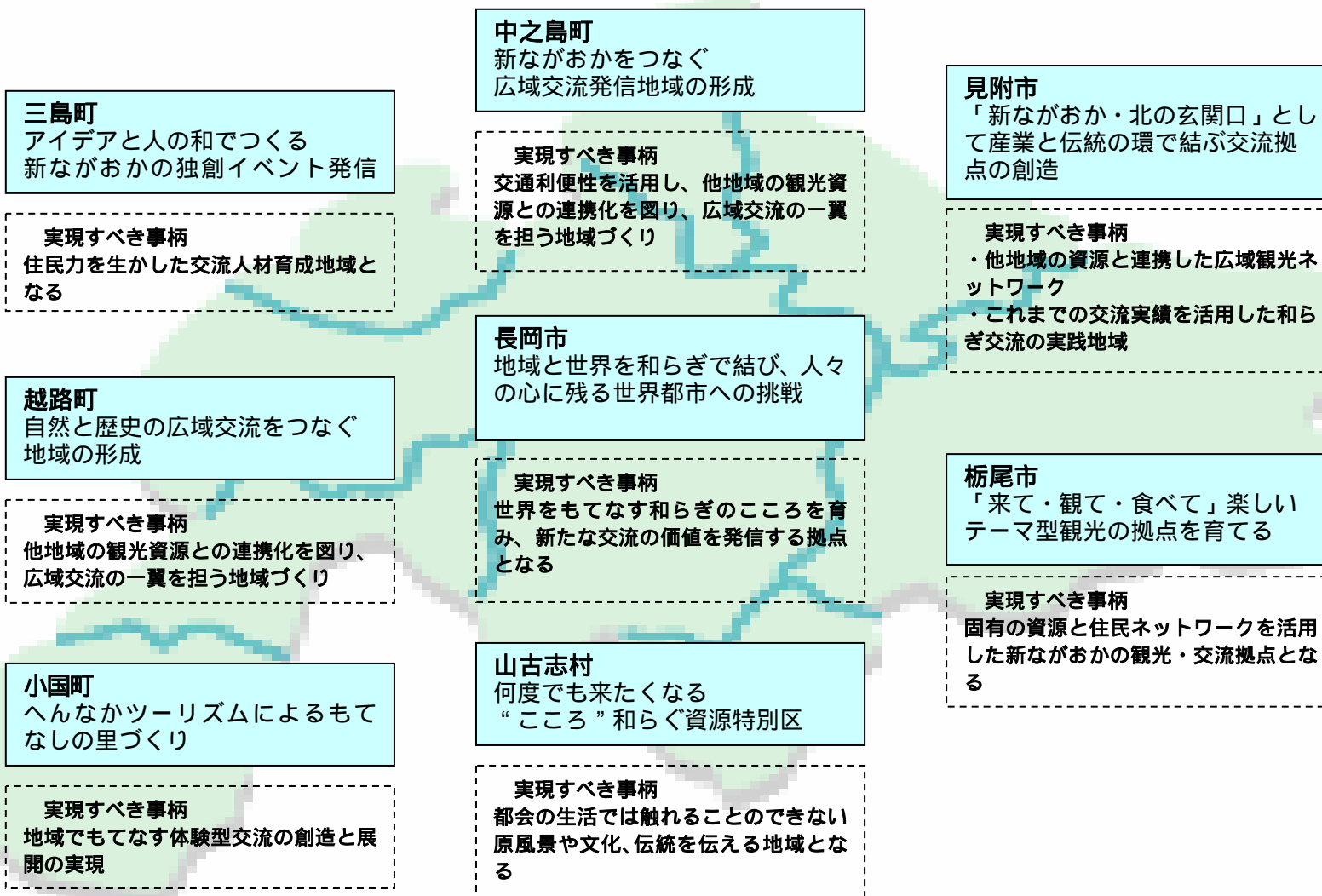
地域別整備・活動方針

【世代がつながる安住都市 ~未来人を育む資源博物館・新ながおか~】



地域別整備・活動方針

【世界をつなぐ和らぎ交流都市 ~「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか~】

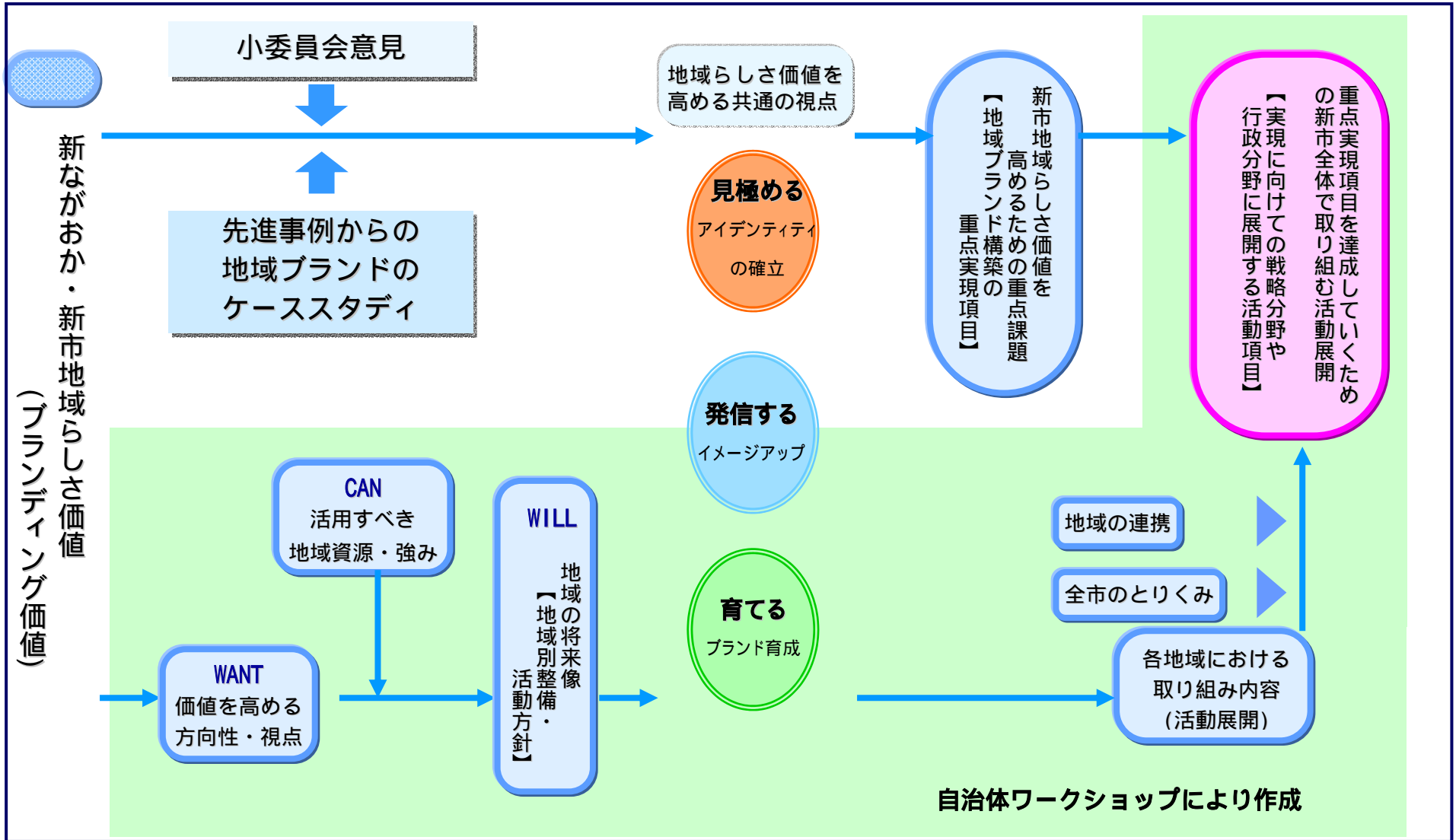


**新市地域らしさ価値の構築に向けた重点実現項目と
新市全体で取り組む活動展開
(修正案)**

2003年8月29日

長岡地域任意合併協議会事務局

新市地域らしさ価値構築に向けた考え方(流れ)



新市地域らしさ価値 その1: 独創企業が生まれ育つ都市 ~ 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか ~

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>新ながおかが誇る技と人を ネットワークする匠の国を創り上げる ~地域が誇る産業と技を核として 地域と人とを連携する~</p>	<p>高付加価値の新技术・新製品の開発を生む、世界に誇る産学官協働ネットワークの構築 (例: 企業を支える地域ぐるみのネットワーク構築 ; 起業資金融資や保険制度の充実、経営技術提供等のバックアップ体制の充実) ネットワーク強化等の流通革命、交通拠点創造の推進 (例: 超高速情報通信網の整備による電子商取引と物流の機能強化)</p>
<p>発信する 情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>新しいビジネスモデルで made in NAGAOKA の魅力を世界に発信する ~社会を常にリードする 価値創造型製造業の育成と振興~</p>	<p>世界中にmade in NAGAOKAの製品価値を伝えるプロモーション活動の推進 (例: 最先端の IT 技術を活用した多角的な広告宣伝活動) 海外からの技術者も快適に過ごせる情報・交流・滞在環境の整備と発信 (例: 優秀な技術者が新ながおかに集い、滞在・交流できる都市機能強化) 伝統技術と地場産業の連携による新たな高付加価値商品の創出 (例: 織物技術を応用した耐火新素材開発等) 長岡地域を代表する産業の技術資源を活用し、競争力あるコア産業とするための拠点づくり (例: ファッションや工業製品等に関するデザイン研究機能の強化) (例: 各地域での長岡造形大学の研究開発機能の展開)</p>
<p>育てる 人材育成・ブランド育成</p>	<p>市民チャレンジャーの成功と 雇用を支える新たな起業促進の風をおこす ~起業やベンチャー企業育成を 支援するシステムの整備・充実~</p> <p>未来のエジソンを生む 人材教育・人材育成の推進 ~産業革新に貢献する人材育成を 目指した教育と社会支援の実施~</p>	<p>世界の大学や企業とも連携した新産業やビジネスモデル(新たな市場づくり)の開発促進 (例: ベンチャー企業と世界の大学や企業を結び付ける、新産業を創造する) 新たな雇用を創出する創業環境の整備・促進 (例: 大学の研究成果を企業に移転する機関、地域総合大学院の展開)</p> <p>国内外の大学との交流や留学生の受け入れ環境の整備・推進 (例: 社会人が国内外の大学に短期留学できる仕組みづくりと支援) 産業界が求める人材像(創造力、異文化理解、語学力)に即した高度教育の推進 (例: 理数系、語学、経営技術に特化した中高一貫校の創設、学生の海外留学支援) 義務教育時から産業界の人材による教育を行う、地域の人材を磨く仕組みづくり (例: 優秀な研究者・民間人を学校教育の教員・講師に登用、企業人が再学習できる機会の提供)</p>

新市地域らしさ価値 その2: **元気に満ちた米産地** ~まごころ米の生まれる里・新ながおか~

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>「新ながおか元気印ブランド」の 創造による「食の付加価値」の確立 ~地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を 組み合わせた新ながおかメニューの開発~</p>	<p>長岡地域の米をはじめとする農産物・農産加工品のブランド開発 (例: ながおか産コシヒカリを日本のトップブランドとする取り組み) 「人を健康で元気にする」新ながおかブランドの価値の明確化 土づくりを極め、安心安全な農産物ブランドの育成 (例: 減農薬減化学肥料栽培の全市への拡大)</p>
<p>発信する 情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>おいしさと安全・健康をキーワードとする 「新ながおか料理」の発信 ~おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の 生活価値観に即したブランドを開発し、 全国に向けて強く発信することによって 日本の食卓を変える~</p>	<p>生産者の「心と顔」が見えるITを活用した販売手法の確立 (例: ICタグの活用による生産履歴表示活動標準化と在庫管理・販売促進への展開) 「新ながおか名物セット」の開発や外食産業等とタイアップした普及促進 美しい農村地域の実現と地域の特産品や伝統の技を活用した究極の食開発 (例: はざかけ米+おいしい水+酒蔵=究極の酒)</p>
<p>育てる 人材育成・ブランド育成</p>	<p>虫が舞い、人の豊かな営みが展開する 「食」「農」のユートピアを生み出す ~信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、 その恵みによる米作りや新しい「食」のあり方を 提案する「スローフード(風土)」の振興~</p>	<p>高付加価値型農産加工業の育成支援 (例: 大学と連携したバイオテクノロジーの研究・活用による食品の開発) 農業体験と観光産業の連携により地域内外で地産地消を促進 (例: グリーンツーリズムを通じた新ながおかフードファンクラブの展開) 次の世代につなげる魅力ある農業を担う人材の育成と確保 (例: 農業ブランドをリードする地域の人材ネットワーク形成の支援) 地産地消や地域文化、「技」を継承し、発展させていくための活動の推進 (例: 地域の特産品を集結させた食・農フォーラムやイベントの全国展開) 農村文化の継承や農村の活性化 (例: 地域コミュニティの連携による農村景観の保全・継承) 環境に配慮した地域循環型の生産・消費生活を推進するための技術交流と普及活動 (例: 水質保全の徹底、ごみ発電導入によるリサイクル推進、生ごみ・堆肥循環システム)</p>

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める</p> <p>アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>「生きる楽しみ」「育つ喜び」が 実感できる生活環境の創出</p> <p>~すべての世代が住みたくなる住環境の実現~</p>	<p>自然の力、人の心などに着目した新たな予防医療の充実 (例: 豊かな自然を生かした森林浴などの癒しの場の設置、市民カウンセラーの育成)</p> <p>住宅地の緑や自然環境の保護によるゆとりある住環境の奨励と支援</p> <p>地域の豊かな暮らしのための住民満足度や達成度の評価ができるシステム整備 (例: 市民による行政顧客満足度調査の導入)</p> <p>多様なライフスタイルを可能にし、人生を豊かにする暮らしづくり</p> <p>環境と共生する「ごみゼロ」社会の創出や新エネルギー活用 (例: リサイクル製品や自然に戻る素材の利用促進、企業の環境 ISO 認証取得の促進・支援)</p> <p>コミュニティや人の“わ”を生かした、自然環境保全、子育て支援、人材育成の構築</p> <p>人々の生活を守る交通の安全性・快適性を追求したまちづくり (例: 身近な道路の安全性確保と歩行者が快適な道路空間の創出)</p>
<p>発信する</p> <p>情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>「元気に老いる」熟年力を活かした まちづくりの推進</p> <p>~身体の健康だけでなく、精神的な活力を 活かす場を創り、すべての世代が元気なまち~</p> <p>地球を想う「未来人」育成・発信地域の創出</p> <p>~子どもの力・自立した活動を 地域全体で伸ばし、発信する地域づくり~</p>	<p>すべての世代が活発に交流するコミュニティや施設、まちづくりの推進</p> <p>民間資本やNPO、ボランティアを活用した福祉拡充 (例: オープン型福祉施設の展開)</p> <p>高齢者の持っている経験豊かな知恵を生かせる場の創出 (例: 多様な分野のシルバーインストラクター登録と活用の機会づくり)</p> <p>子どもたちの才能を早期に見出し、地域で伸ばす仕組みづくり (例: 全ての子どもに興味・特性を見つける教育システム開発)</p> <p>子どもの豊かな発想を社会に反映させるシステムの全国展開 (例: 全国子供会議開催や「未来の地球人ながおか賞」など子ども顕彰制度)</p>
<p>育てる</p> <p>人材育成・ブランド育成</p>	<p>「子育て・教育」の分野で日本の モデル地域となる「21世紀の 米百俵プログラム」の開発・推進</p> <p>~子どもたちの「豊かな才能」を発見し、 みんなで育てるまちづくり~</p>	<p>出産・育児・教育に最適な環境をつくる (例: 0歳児保育の充実・待機児童ゼロ・新教育システム開発)</p> <p>地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域学校教育のプログラム開発と実践</p> <p>医療・福祉・育児・家事支援サービスを提供する生活関連産業の重点育成 (例: 24時間体制の保育所や子ども専門病院、総合福祉大学の展開)</p> <p>日本一の通学(楽)環境の整備 (例: 学校が楽しくなる芸術作品の通学路への展示や安全安心の創意工夫)</p>

新市地域らしさ価値 その4：世界をつなぐ和らぎ交流都市 ～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める</p> <p>アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>地域資源を活用した新ながおか *コンベンション・シティの創設</p> <p>～地域資源・特性を活用した 地域内外の交流機会の創設～</p> <p>*「コンベンション・シティ」=種々の会議やイベントを開催する 環境を備え、それらの開催をもって地域発展の基礎とする都市</p>	<p>新ながおか交流革命(30万人の先進的な都市機能エリアの創出) (例：世界直結の交通ネットワーク化と国際コンベンション機能・スポーツフィールドづくり)</p> <p>憩いの場として多彩な交流が生まれる、水辺空間の創出 (例：水上バスの運行と新たな水辺拠点づくり)</p> <p>ながおかの地域コミュニティ・世界との交流によるまちづくりで、 広く、豊かに人が育つ環境づくり (例：青年海外協力隊をはじめとする海外ボランティア活動への参加支援)</p> <p>歴史・まつり、人、特産品を提供する、遊び・楽しみを連動した観光ネットワーク開発 (例：地域神楽舞共演、新ながおか歴史ミュージカルの創作・公演)</p>
<p>発信する</p> <p>情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>すべての市民が「新ながおか親善大使」</p> <p>～地域の伝統文化、魅力をテーマ としたイベントの開発と実施～</p>	<p>「酒」「花火」「食」「雪」サミットなどで「新ながおか」の魅力を発信 利雪・親雪で豪雪地帯を観光資源として発信 (例：新しい雪観光等のホワイトツーリズム開発)</p> <p>各地の特色あるまつりやイベントの掘り起こしと連携による独創的なイベント・祭りの開発 (例：新ながおか花火旬間の設定)</p>
<p>育てる</p> <p>人材育成・ブランド育成</p>	<p>「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」 ・・・魅力あるまちを目指す</p> <p>～すべての市民が「新ながおか」に 誇りを持てる都市の実現～</p>	<p>各地域の自然・伝統・文化を連携した新たな観光メニューの創出 (例：風景と音楽、自然と演劇等を組み合わせた芸術祭開催)</p> <p>訪れたい地域になるための地域が一体となった魅力度向上 (例：300年後の世界遺産を目指した自然環境保護の取り組み)</p> <p>地域の魅力を認識し、人に伝える交流人材ともてなし体制の創出 (例：「まちの案内人」の制度拡充、通訳ボランティアの育成、民泊を促進する取り組み)</p>

1. 地方自治を取り巻く環境変化

行政ニーズの多様化、国際化、情報化、高齢化など自治体を取り巻く環境は大きく変化している。

自治体を取り巻く新たな環境変化として、本格的な地方分権への流れが大きくなっている。

(1) 市町村における行政サービスの提供の仕組みの問題点

- 国からの規制があるために、地域ニーズと必ずしも整合しない、全国で画一的な行政サービスの提供が行われてきた。
- 市町村の組織も国の省庁別対応が円滑に進むように縦割り組織とすることにより、様々な問題を生んできた。

(2) 国の財政状況の悪化と地方自治への影響

国の財政状況が悪化しており、借金残高は、平成2年には国の一般会計予算の3倍程度であったものが、平成14年には7倍を超えている。

一般会計に占める割合の大きい地方交付税(16.9%)の削減、国からの地方への補助金の削減が不可避となっている。

表1：政府の累積債務の推移

	平成2	平成7	平成12	平成14
国の借金残高(兆円)	21.7	32.6	53.6	60.7
対国家予算	3.13	4.30	6.00	7.48
対GDP	0.07	0.09	0.12	0.15

注1：「対国家予算」、「対GDP」は国の借金残高を単に除したもの

注2：国家予算とは一般会計の歳出額のこと

(3) 長岡地域の財政への影響

長岡地域では、国や県からの依存財源が4割を占めており、将来的にこれらの財源が減少する一方で、国からの税源移譲があれば市町村税が増加する見込みとなっている。

その一方で、地域住民の高齢化により市町村税の減少や福祉などの費用増加が想定され、将来的に市の財政状況は厳しくなることが予想される。

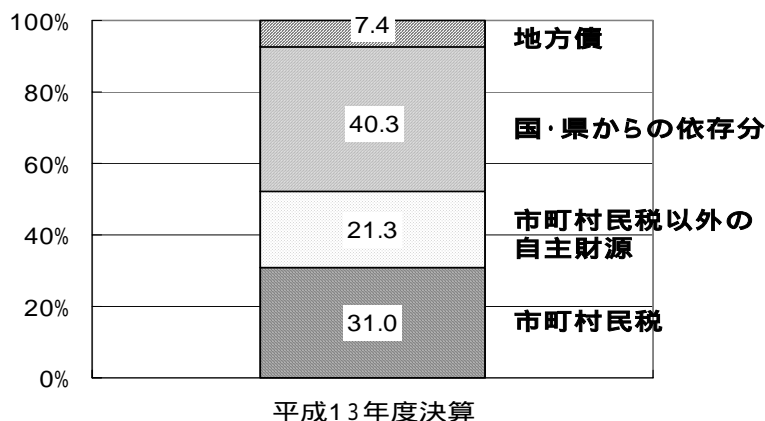


図1：平成13年度決算における8市町村の歳入構成

2. 将来の地方自治の方向

地方分権により、従来維持されてきた国と地方の仕組みが大きく変化してきている。

その方向性は、国が財政支援を減らす代わりに国の税金の一部を地方公共団体へ移譲し、行政運営においても、地方公共団体の権限を認めていこうとするものである。

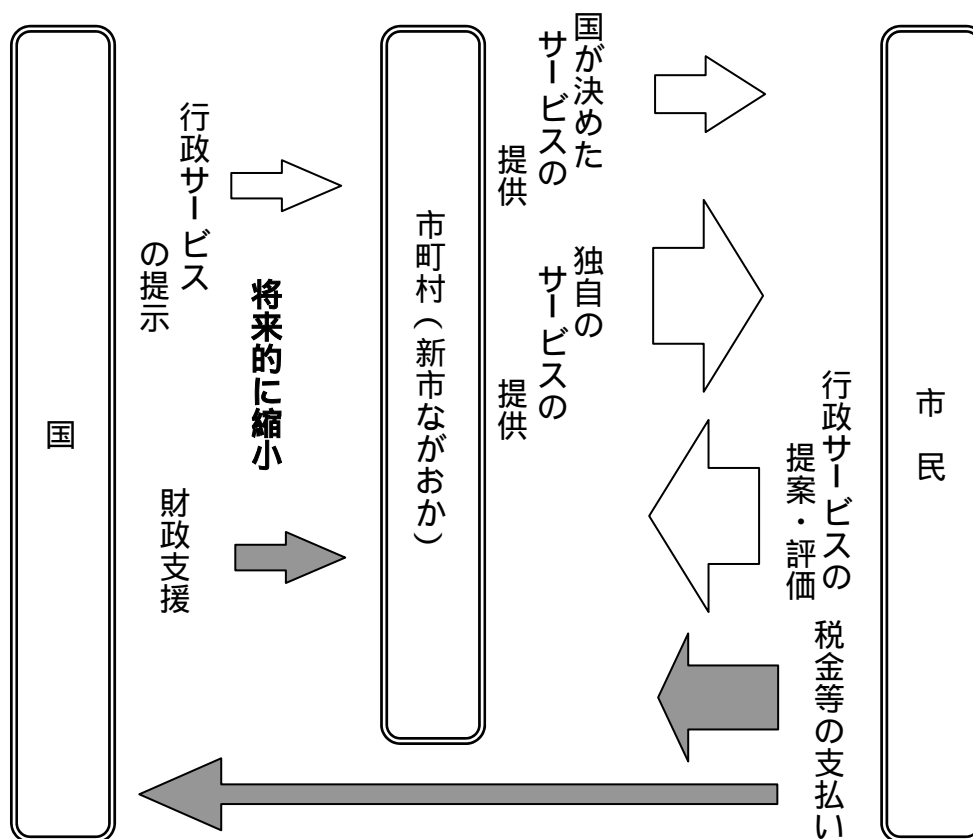


図2：新たな国と地方の関係

これからの地方自治における行政サービスのあり方

- 市町村では国の関与が小さくなり、地域のことは自ら決定し、その責任も自ら負担することになる（自己決定・自己責任）。
- 市町村は、市民の行政ニーズに則したサービスの提供を行う。
- 従来と比べ、地域により密着した行政に変えていく。

3. 合併によって新市の財政状況はどうか

(1) 新市財政の将来変化

合併により、自治体の人件費などの経費の節減が図られるとともに、合併特例債の借り入れや、国、県からの財政支援を受けることができる。

合併しない場合と、合併した場合の歳入・歳出について一定条件のもとに試算(財政シミュレーション)をすると、およそ次のような方向が見られる。

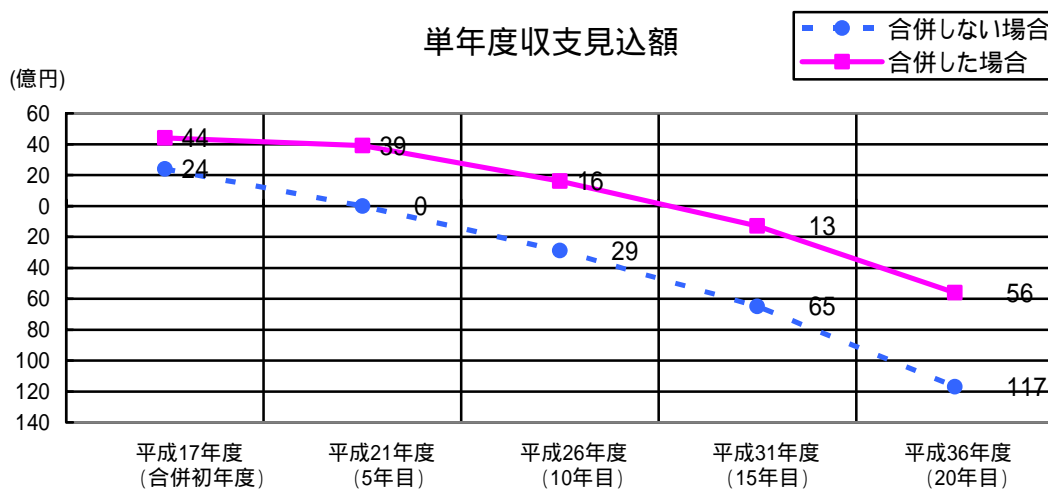
- 合併しない場合は、借入金の返済金の増加などで財政収支は比較的早くから厳しくなる可能性がある。
- 合併した場合は、合併特例債などの合併に伴う財政支援や、人件費の削減などで収支は好転するが、その後やはり厳しい状況へと向かっていく。

このようなことから、「新ながおか」の財政状況を望ましい方向に転換していくには、「市民と行政の関係の新たな関係づくり」による地方自治の新しい方向性が必要となる。

財政シミュレーション(中間結果)

前提条件と推計方法

- ・ 試算の期間は平成 17 年度から平成 36 年度までの 20 年間とした。
- ・ 合併しない場合の収支見込額は、原則として、平成 11 年度から平成 13 年度の普通会計決算をベースに、現在の社会経済情勢や地方財政制度、人口推計に基づき試算した。よって、今後の制度変更等により試算結果は変化する。
- ・ 合併した場合は、合併しない場合の収支見込額に、「合併に伴う財政影響額」と「中核市移行に伴う財政影響額」を考慮し、見込んだものである。
- ・ 事務事業の制度調整が終了していないことから、それらを加味せずに試算をしている。したがって、この試算結果は、今後の調整・協議により変化する。



合併しない場合の収支見込額（8市町村合計）

（単位：億円）

区 分	平成 17 年度	平成 21 年度	平成 26 年度	平成 31 年度	平成 36 年度
歳入歳出差引（単年度収支）	24	0	29	65	117
差 引 累 計	24	44	43	277	755

市町村税や地方交付税が減少していく中で、地方交付税を補うための借入金の返済金が増加することなどにより、収支は、単年度では平成 20 年度から、累計では平成 25 年度からマイナスとなり、むずかしい財政運営を迫られることになる。

合併した場合の収支見込額（平成 19 年 4 月 1 日付けで中核市に移行と想定）

（単位：億円）

区 分	平成 17 年度	平成 21 年度	平成 26 年度	平成 31 年度	平成 36 年度
歳入歳出差引（単年度収支）	44	39	16	13	56
差 引 累 計	44	185	326	285	70

歳入は、合併に伴う財政支援による地方交付税の増や合併特例債の発行等により増加し、歳出は、合併に伴う人件費の経費削減等の影響で減少することにより、収支は好転するが、平成 27 年度（合併 11 年目）から単年度でマイナスとなる。

累計では合併後 20 年間は黒字が確保されるが、今後の事務事業の調整により変化する。

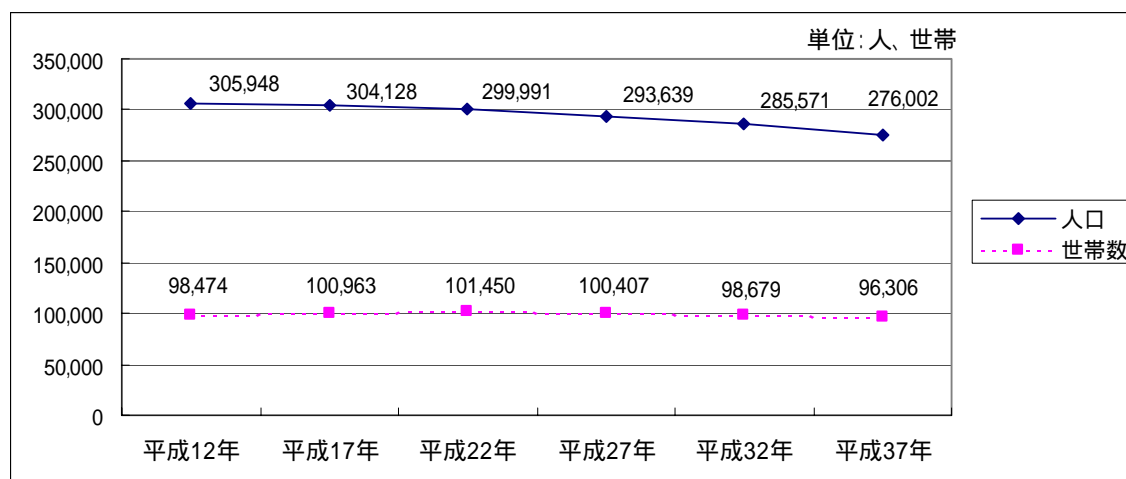
(2)新市人口及び世帯の将来動向

財政シミュレーションの前提となる新市における人口と世帯の将来動向を推計した。

- 長岡地域の平成 12 年における人口は 305,948 人であるが、全国的な人口減少の影響もあり、平成 37 年には 276,002 人に減少していく。
- 世帯数は、平成 12 年時点で長岡地域の 98,474 世帯が、平成 37 年で 96,306 世帯と若干減少していく。

人口・世帯の推計結果

人口と世帯数の変化



人口は、（財）日本統計協会の推計による。

4 .新ながおか市におけるまちづくりのあり方(新市地域らしさ価値を高めるために)

自治体を取り巻く環境の変化が大きく変わり、本格的な地方分権が実現していくなかで、長岡地域でも新しい時代に向けた地域経営が求められる。

このため、新しい時代に向けて、将来構想の実現性を高めるために、新ながおかの市民や行政の基本的なあり方を考える。

(1)新ながおか市民のあり方

新市民はまちのオーナーであるという自覚を持ち、限られた資源を有効に活用できる地域社会を考えていく。

市民は、新市に対し何ができるかを考え、まちづくりに積極的に参画していき成功と誇りを獲得する。

(2)新ながおかの行政のあり方

国に依存した行政から自己決定、自己責任のもと市民本位に視点を転換していく必要がある。

行政は、企画能力や専門能力等の向上を図る努力を行う。

行政は、オーナーである市民が地域経営に積極的に参加できるように、適切に情報を提供し、コミュニケーションを図っていく。

(3)市民と行政の関係

市民と行政は、ゆるぎないパートナーシップ(協働)により、地域経営に取り組む。

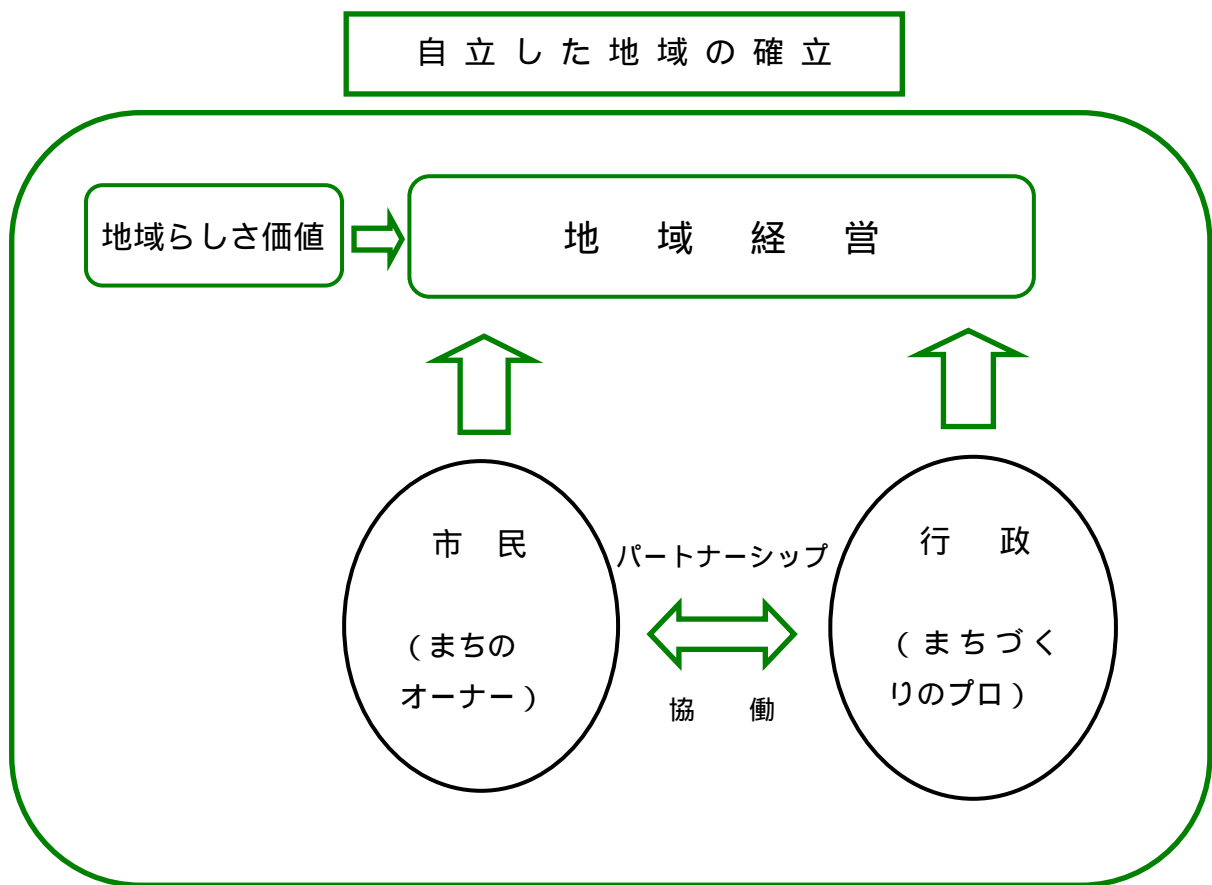
市民と行政が一体となって、新市地域らしさ価値の共有化を図る。

市民と行政の基本的なあり方（理念）

1．市民は、地域のオーナーとしてまちづくりに参画し成功と誇りを獲得する。

2 行政は、常に能力の向上を図りつつ、市民の視点でまちづくりを行う。

3．市民と行政は、ゆるぎないパートナーとして協働して地域経営に取り組む。



合併に伴う財政影響額

○合併に伴う主な削減経費

(1) 人件費の削減

合併により、市町村長、助役、収入役、教育長、議会議員、一般職員を減らすことが可能となり、10年間で204億円、20年間で546億円の経費削減が見込まれます。

(2) 物件費の削減

物件費とは賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、委託料等で、合併により、10年間で52億円、20年間で137億円の経費削減が見込まれます。

○合併市町村まちづくり事業経費

(1) 合併まちづくり事業

市町村の一体化、均衡ある発展のため、10年間で最大674億円の事業が実施できます。具体的な事業については、法定協議会で作成する財政計画の中で検討します。

(2) 合併市町村振興基金

旧市町村単位の地域振興、住民の一体感の醸成のため、40億円の基金造成ができます。

(1)(2)の財源として、対象事業費の95%まで合併特例債を借り入れることができます。この元利償還金の70%が普通交付税で措置されます。

また、対象事業費の5%(合併特例債の充当残)を上限に、新潟県地域づくり資金を借り入れることができます。

○合併直後の臨時的な財政支援

合併直後に発生する新たな行政需要や行政サービスの格差是正、合併を機に行う新たなまちづくりの臨時的経費等に対し、普通交付税や特別交付税、国・県補助金により、10年間で113億円の財政支援が見込まれます。

このほかに、市町村によって税率の異なる個人及び法人住民税・都市計画税の調整により、10年間で5億円、20年間で11億円の歳入増が見込まれます。

また、県が行っている町村の社会福祉事務所業務が移譲されることにより10年間で16億円、20年間で32億円の経費の増額が見込まれ、これに伴い、10年間で12億円、20年間で23億円の国県支出金の増額が見込まれます。

中核市移行に伴う財政影響額

歳出については代表的な経費である保健所運営費のみ試算

中核市になると、県からの権限移譲により市民生活に密着した分野での権限が強化されるなど、きめ細やかなサービスが可能になります。

1. 都市の権能の増加により、10年間で79億円、20年間で305億円の地方交付税の増額が見込まれます。
2. 県からの権限移譲に伴い、10年間で109億円、20年間で246億円の県支出金の減額が見込まれます。
3. 保健所の設置に伴い、10年間で52億円、20年間で118億円の経費の増額が見込まれます。

新市将来構想最終章「地域の夢のカタチ」について

新ながおかの将来構想は、住民ワークショップや有識者ヒアリングをはじめ、多くの住民参画等の機会を持ち、広く新市民の想いや声を集め、全ての市民が共有して持ち続けられる「将来ありたい地域像」を探し出してきました。その結果、4つの「地域らしさ価値」とそれらを統合するスローガンとしての「新市統合ビジョン」、そして、それらの共有価値を高めるための「重点実現項目及び活動方針と活動展開」などを策定してまいりました。

これからの新市のあるべき方向性の先にはプロジェクトが存在し、そのプロジェクトの必要性は地域内はもちろん、地域以外の様々な人々の共感や協力なしでは成立し得ない時代になりました。

これからの社会システムは「陳情型」から「提案型」、つまり「お願い」ではなく「自らの行動でその必要性を構築する」ことによりプロジェクトが成立すると考えられます。

従いまして、この構想書では最後に地域らしさ価値を高めた結果としての「夢のカタチ(プロジェクト例)など」をお示ししていきたいと思ひます。

新市民の声を集める調査の中では多くのおみなさまから、将来ありたい姿を目指した先にある「地域の夢(プロジェクト)」についていくつかのご意見をいただきました。

ここで代表的な「地域の夢」をご紹介します。

地域らしさ価値を高めていく中で実現していける夢のカタチとして、どういう「地域の姿、プロジェクト例など」を掲載することがふさわしいか、ご検討いただきたいと思ひます。

“住民ワークショップ”での意見

目指せ！自然や資源の300年後の世界遺産
すべての「食」を一同に集めた物産館の建設
東日本最大の“歓楽街！”

顔が見えるコミュニケーションと地域間を結ぶ交通体系の整備
新潟県の中心としての都市機能の整備と県庁の誘致
市町村税の用途を住民が決める「目的税」の創設 など

“有識者ヒアリング”での意見

公共交通網の一層の整備
新産業の創出
ドーム等大規模スポーツ施設の建設
地域文化や伝統芸能の保存施設の建設

交流拡大と地域コミュニティ構築のための拠点整備
国際コンベンションセンターの建設
スケールメリットを活かした大型企業誘致

など

“自治体ワークショップ”での意見

電子市役所と世界への情報発信拠点整備
プロ野球チームの誘致
防災システム施設の建設

ロードヒーティングの整備
フィルムコミッション
全天候型スタジアムの建設

など

“新市将来構想策定小委員会”等

国際空港の建設
総合大学院大学の建設
総合福祉大学の建設

新潟県庁の誘致
農業関係の国連機関の誘致
モノレール・新交通

など

構想書で掲載する「夢のカタチ」は、全ての市民が共通の価値を持ち続け、住民と行政が一体となってこの将来構想を推進し活動を続けることによって、いつか達成できる地域の姿やプロジェクトであるべきと考えます。

最終的な構想書では、「夢のカタチ」の一例として、いただいたご意見を整理し、一般の住民の方々にもわかりやすいかたちでお示ししていきたいと思ひます。

長岡地域新市将来構想書 (案)

表紙:人・火・水など地域らしさをイメージするイラスト

2003年 月

長岡地域任意合併協議会

協議会会長の写真

(写真など)

あいさつ

第 1 部 新しいまちづくりの進め方	5
(1) 仮想賢人会議	
(2) 将来構想の意味と役割	
(3) 役割実現のための策定手法	
コラム	
第 2 部 新しいまちづくりを考える	15
(1) 新市民の声を集める その 1	
(2) 新市民の声を集める その 2	
(3) 新市民の声を集める その 3	
(4) 新市民の声を集める その 4	
(5) 新市民の声を統合する	
(6) 新市地域らしさ価値策定のキーワード	
(7) 地域の現状	
(8) 新市地域らしさ価値の具現化・言語化方針	
コラム 信濃川と花火	
第 3 部 新しいまちの姿・地域で共有したい価値	39
(1) 新市地域らしさ価値 その 1	
(2) 新市地域らしさ価値 その 2	
(3) 新市地域らしさ価値 その 3	
(4) 新市地域らしさ価値 その 4	
(5) 新市統合ビジョン	
コラム もう始まっている地域らしさの芽	
第 4 部 私たちの望むまちと取り組み	51
(1) 立案の考え方と視点	
(2) 地域の夢と取り組み（長岡地域）	
(3) 地域の夢と取り組み（見附地域）	
(4) 地域の夢と取り組み（栃尾地域）	
(5) 地域の夢と取り組み（中之島地域）	
(6) 地域の夢と取り組み（越路地域）	
(7) 地域の夢と取り組み（三島地域）	
(8) 地域の夢と取り組み（山古志地域）	
(9) 地域の夢と取り組み（小国地域）	
(10) 新市全体での取り組み	
コラム 老舗のブランディング	
第 5 部 まちづくりのこれからを考える	93
地域の夢のカタチ	98
策定経緯・策定メンバー・用語集	100

第1部 新しいまちづくりの 進め方

イメージ写真など入る

新市将来構想書.	基本コンテンツ案

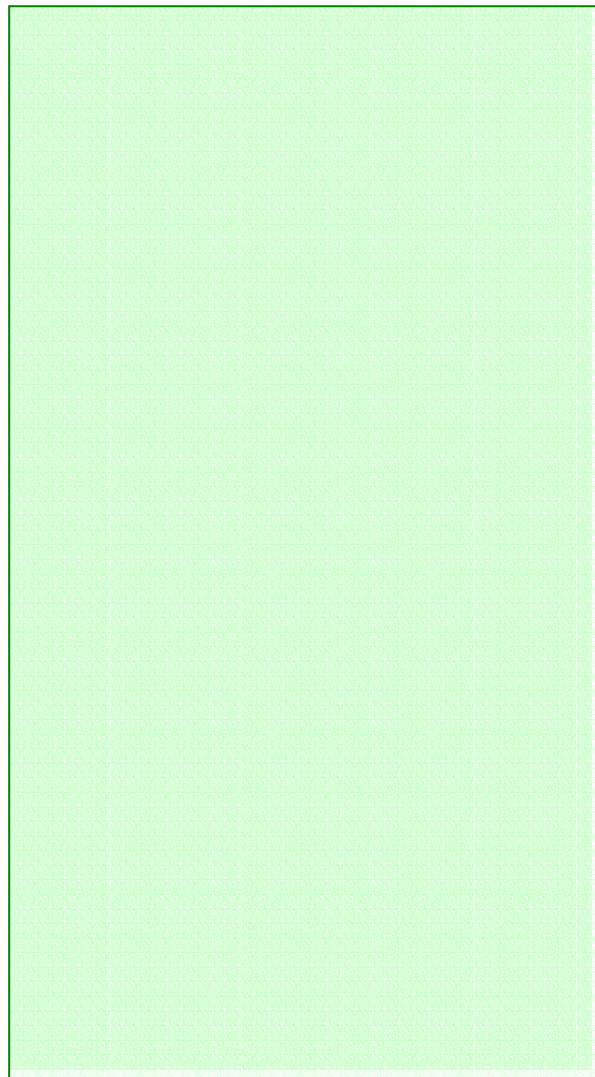
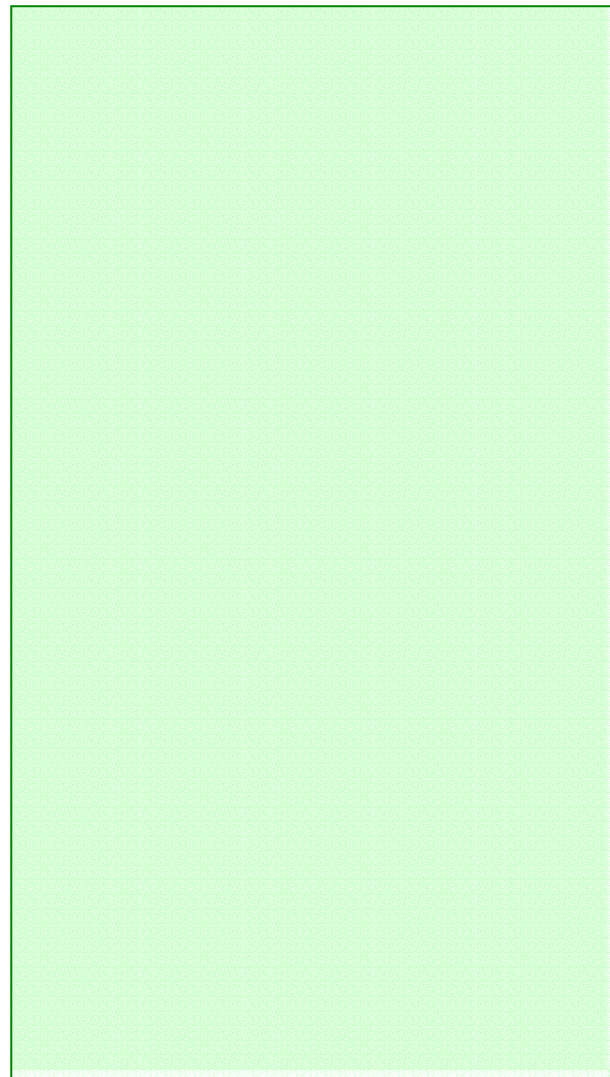
新市将来構想書.	基本コンテンツ案

P6～7：仮想賢人会議
P8～11：将来構想の意味と役割
P12～13：役割実現のための策定手法





Column
コラム



新しいまちづくりを考える

イメージ写真など入る

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

地域アンケート調査 **多くの人の意見が、将来構想の材料となりました**

「新市の将来のあり方は、広く新市民の声を集めて決めよう」
 そういった思いから、2003年4月、合併協議対象地域の住民の方、7000人を対象とするアンケートを実施しました。
 「地域への想い」「地域の資源」「将来ありたい地域像」などと、多くの声が寄せられ、その結果を基に、合併協議会の新市将来構想策定小委員会では将来構想を策定していきました。

アンケート結果の概要

最初にアンケート結果のポイントをご紹介します。(詳しい内容やグラフについては、次ページ以降をご覧ください)

地域への愛着や今後への期待(調査結果1)
 総合的に住民の地域への愛着は高く、今後地域が良くなることへの期待も高いことがわかりました。

新市に対する期待(調査結果2・3・4)
 新市に対する最大の期待は、「働きやすいまち」を斬新かつ新しい施策展開によって、実現することです。
 さらに、「安全・安心」「人づくり」「地球に優しい」といった現在の地域の強みを維持し、医療・福祉・環境関連の施策充実を求める声も多く寄せられました。
 合併に伴う不安に対しては、住民参加、地域の文化や伝統の維持に配慮し、各地域の個性を生かしたまちづくりをすすめること、行政経費を削減することに注力する必要があります。
 また、今後の新市の性格としては、「協調性」や「人情に厚い」ことに加えて、「情報に敏感で、積極的かつチャレンジング(挑戦的)に活動し、向上していきたい」「自主性を持って責任のあるリーダーとして振舞いたい」という市民の意向が伺えます。

新市の行政のあり方(調査結果5)
 具体的な行政テーマについても現在の評価と、今後どういった施策が重要化をたずねました。その結果、継続強化すべきものと、新たな対策が必要なものとして、以下の事項が重要だということがわかりました。

- 継続強化すべき重要事項
 「安全で安心できる防犯・防災対策」「河川や森林などの自然保護」「学校教育の施設整備や教育内容の高度化・充実」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援策」「生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進」「静かで落ち着いた住環境の整備」「上下水道や集落排水施設の整備・充実」
- 新しい対策が必要な重要事項
 「商店街の活性化などの商業振興」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」「地域医療体制の整備・充実・高度化」「道路や公共施設のバリアフリーの推進」「情報産業など新しい産業や事業の育成」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「プライバシーや個人情報保護」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

地域アンケート調査(続き)

地域資源の評価と活用(調査結果6)

今後新市が発展したり、より住みよい街になるために重要な地域の資源についてたずねたところ、以下の結果となりました。

- 維持・活用・強化すべきもの
 「花火」「信濃川などの河川」「米(米作)」「米百俵の精神」「変化に富んだ自然」「山や森の緑」「伝統行事・祭り」「交通の利便性」
- (1項に加えて)今後も維持すべきもの
 「教育施設・環境」「蛍の飛ぶ風景」
- (1項に加えて)観光などの振興に活用すべきもの
 「酒造」「雪景色」
- アイデンティティ・コミュニティの基になるもの(1~3と重複)
 「伝統行事・祭り」「花火」「変化に富んだ自然」「郷土の食べ物」「蛍の飛ぶ風景」「米百俵の精神」「山や森の緑」「信濃川などの河川」
- 産業振興に活用すべきもの(1~3と重複)
 「電子・機械工業」「交通の利便性」「米(米作)」「酒造」

複合分析図の見方について

次ページからの調査結果では、通常の円グラフや棒グラフなどに加えて、「複合分析図」が出てきます。これは、二つの調査結果をまとめて表現したもので、通常は、縦の軸が「今後の重要度や期待」を表し、上にあるものほど重要なものとなります。一方、横の軸は「現在の評価や満足度」で、右にあるものほど現在の評価が高い、または満足しているということになります。(その位置は相対的な指数によって処理しています)

軸によって図は4つの部分に分けられますが、上記のことから、それぞれの部分は以下のようなことを示すものとなります。それぞれの部分にどのような項目があるかによって、総合的な分析を行うための図です。

ただ、地域資源に関する複合分析図(調査結果6)は、縦軸が「他地域に比べて優れているという回答率」、横軸が「大切にしたいという回答率」を指数化したもので、右上にあるものほど、「大切にあり、優れているもの」となります。

地域アンケートの実施概要

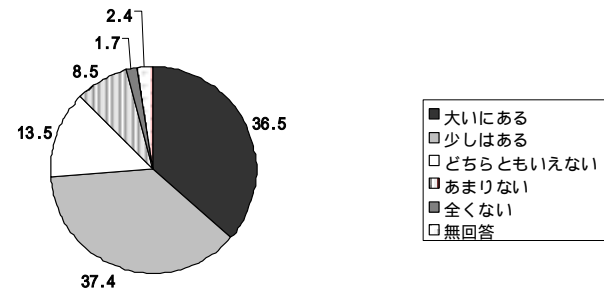
- 調査目的
 地域の総意としての市民の意向を把握するとともに、将来構想作成の資料として活用するための調査
- 調査方法
 新市対象市町村の住民基本台帳より無作為抽出法および系統抽出法により、調査対象者を抽出し、郵送調査を行った
- 調査期間発送: 4月16日 回収: 5月1日~9日
- 調査回収結果 発送数: 7,000 回収数: 4,327 回収率: 61.9%

地域アンケート調査(続き)

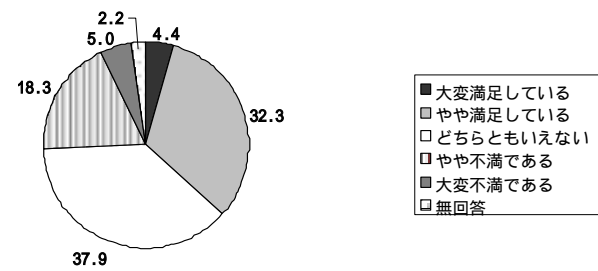
調査結果1) 地域への愛着と今後への期待

多くの市民の方が、地域へ愛着を持ち、今後もっと良くなるという期待を持っていることがわかりました。新市の将来構想は、この愛着と期待に応えるものとして作成します。

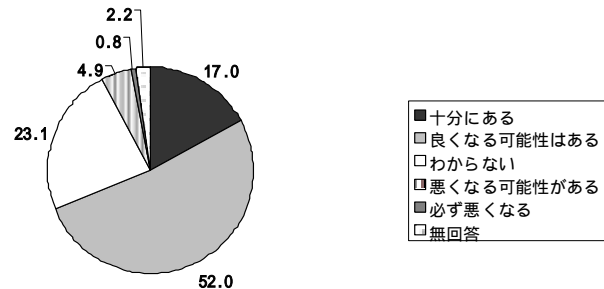
1-1 お住まいの地域または市町村に、愛着や誇りはありますか(%)



1-2 市町村のあり方や行政サービスに満足していますか(%)



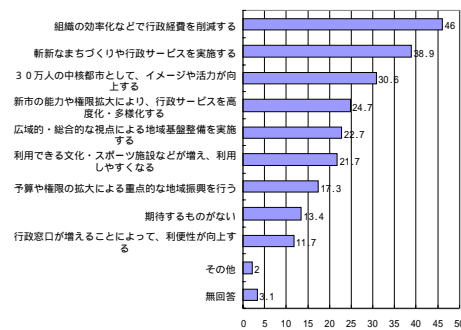
1-3 もっと良くなる可能性は(%)



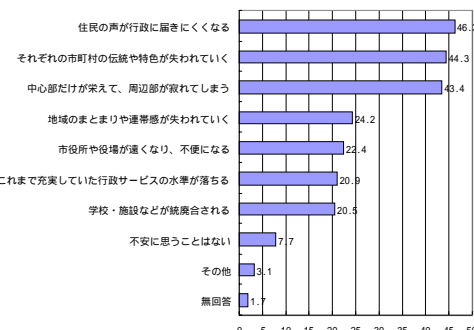
調査結果2) 合併に対する期待と不安

「組織の効率化などで行政経費を削減する」「斬新なまちづくりや行政サービスを実施する」といった期待に加え、「住民の声が行政に届きにくくなる」「それぞれの市町村の伝統や特色が失われていく」「中心部だけが栄えて、周辺部が寂れてしまう」といった不安を払拭することに、十分な配慮を持って将来を構想していきます。

合併に際し、期待すること(%)



合併に際し、不安に思うこと(%)

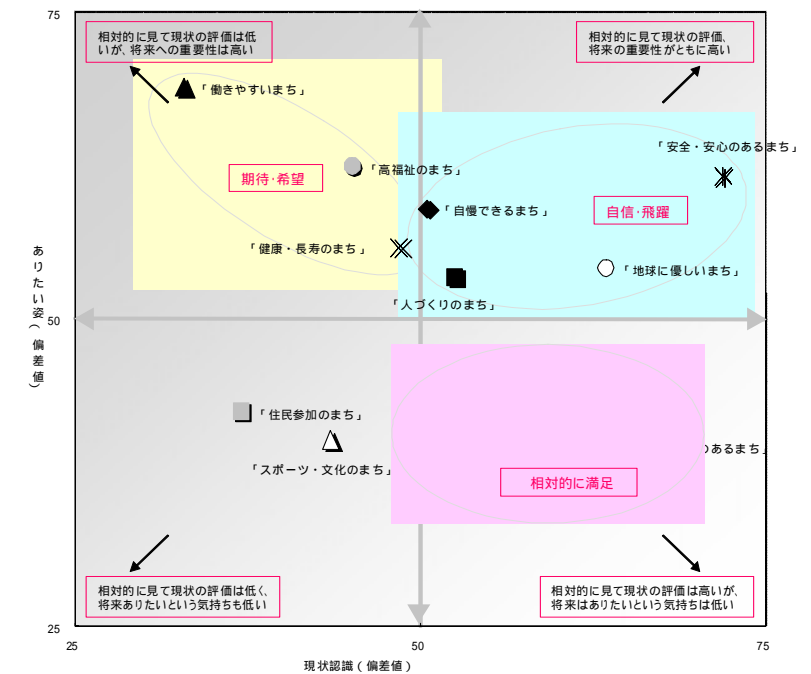


注) グラフなどで、現在小さくて見にくいものもありますが、実際のデザインの際は、見やすいものに加工します。

地域アンケート調査(続き)

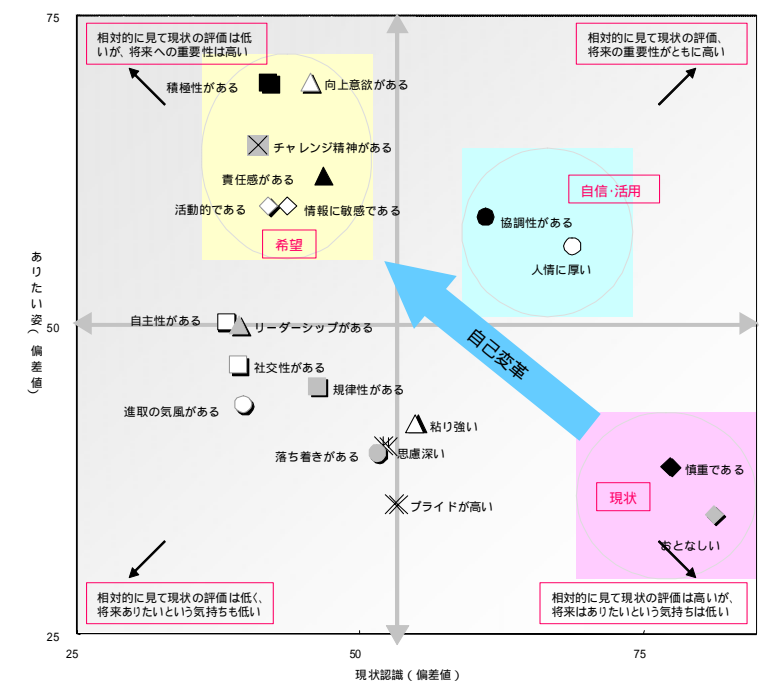
調査結果3) 地域イメージの今とこれからについて(複合図の見方は14p参照)

新市地域の今のイメージと、今後のありたいイメージを尋ねました。下の図の、右のほうにあるものが、現在当てはまると思う地域イメージで、上のほうにあるものが、これからありたい姿です。その結果、市民の多くの皆さんが、現在の「安全・安心」を維持しつつ、「働きやすいまち」「高福祉のまち」を実現すべきだと考えていることがわかります。



調査結果4) 合併新市に期待するパーソナリティイメージ

「協調性」や「人情に厚い」という特長を維持しつつ、現在の「おとなしく慎重である」姿から、「情報に敏感で、積極的かつチャレンジングに活動し、向上していきたい」「自主性を持って責任のあるリーダーとして振舞いたい」という意向が伺えます。

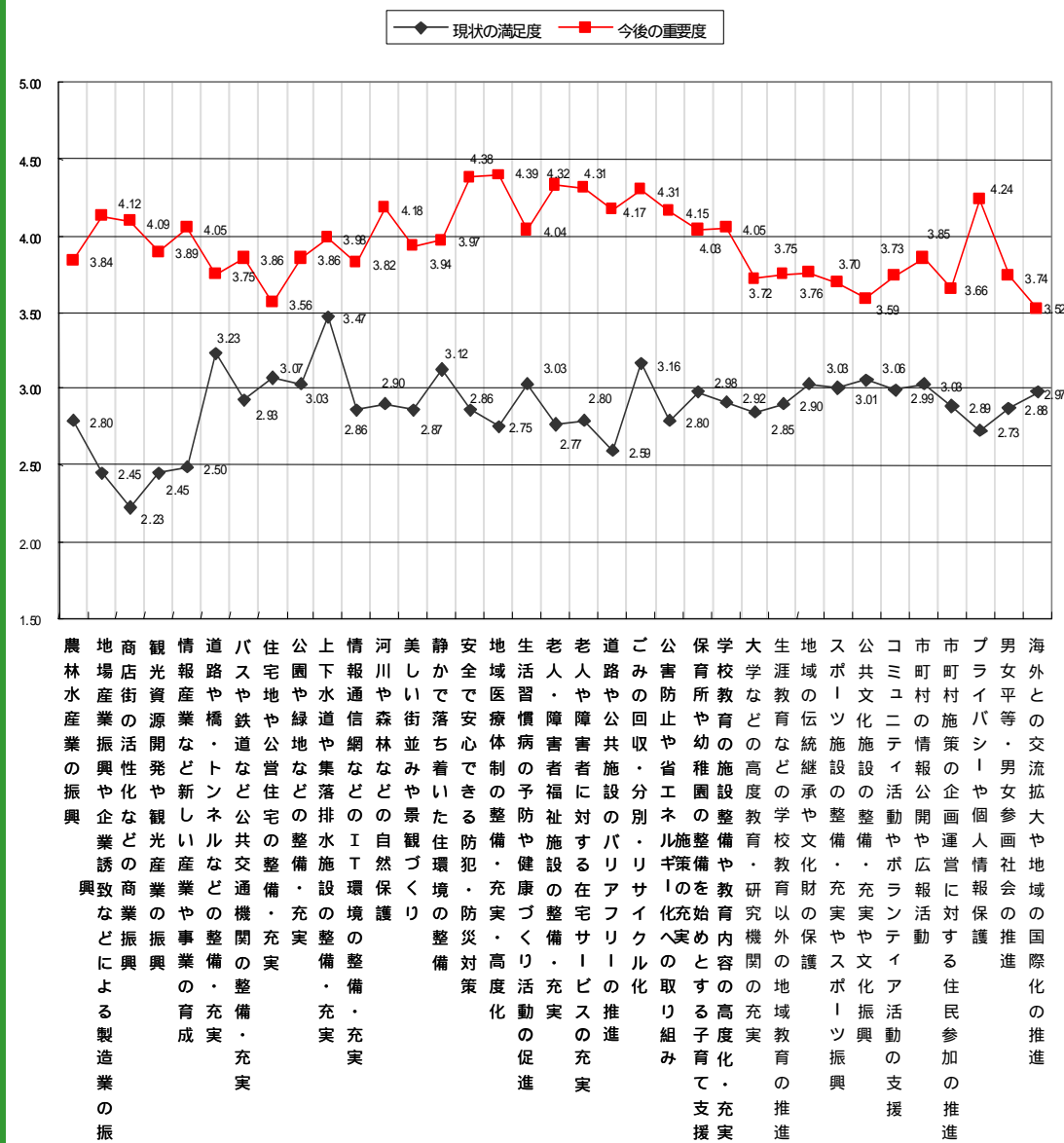


地域アンケート調査(続き)

調査結果5-1)個別行政施策についての現在の評価と、今後の重要度

8市町村住民の皆さんに、主要な行政施策に関する項目について、現在の評価と今後の重要度を5段階で答えていただきました。その結果は以下のようになりました。(5段階評価の平均点をグラフ化。3点が基準となります)

- 1. 現状満足度の高いもの(3.1点以上) = 「上下水道や集落排水施設の整備・充実」「道路や橋・トンネルなどの整備・充実」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「静かで落ち着いた住環境の整備」
2. 今後重要なもの(4.1点以上) = 「地域医療体制の整備・充実・高度化」「安全で安心できる防犯・防災対策」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「プライバシーや個人情報保護」「河川や森林などの自然保護」「道路や公共施設のバリアフリーの推進」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」「商店街の活性化などの商業振興」

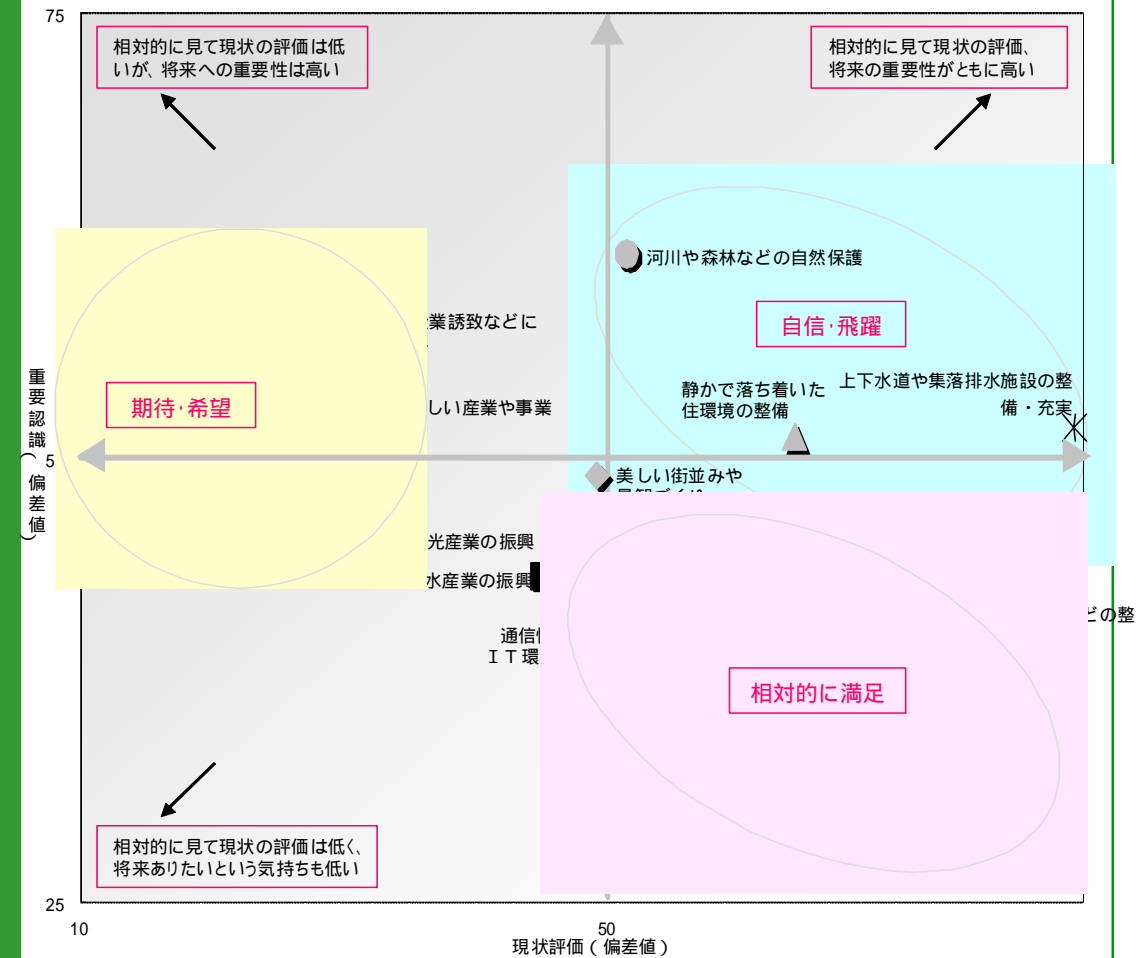


※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

地域アンケート調査(続き)

調査結果5-2)産業振興や都市インフラに関する項目の複合分析図

調査結果5-1で示した個別行政テーマのうち、産業振興や都市インフラに関するテーマを図表で示すと以下ようになります。
右上領域にある「河川や森林などの自然保護」「上下水道や集落排水施設の整備・充実」「静かで落ち着いた住環境の整備」などは現在評価も重要性も高いもので、現在の施策を基本的に継続・強化し、「強みを伸ばす」ことが求められているといえます。
新しい対策が必要なものは、現状評価が低く、今後の重要度が高いものです。それは図の左上にあるもので、「商店街の活性化などの商業振興」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」「情報産業など新しい産業や事業の育成」などです。また、左下にある「観光資源開発や観光産業の振興」も現状評価に比べると、重要度は高く、課題の一つとなっています。
各種の産業振興が重要課題である一方、自然保護をおろそかにしないしてほしいとの意向が現れています。



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

地域アンケート調査(続き)

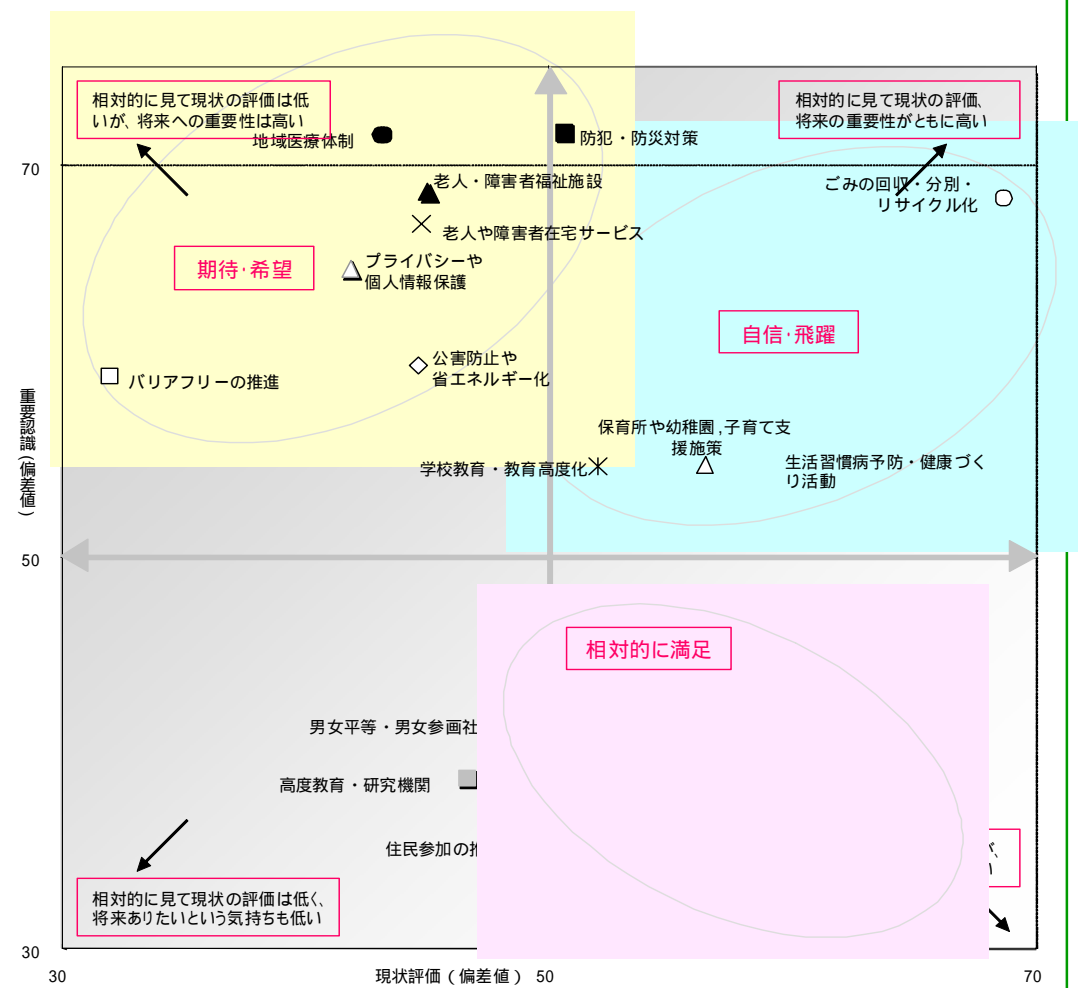
調査結果5-3)行政サービスや行政運営に関する項目の複合分析図

調査結果5-1で示した個別行政テーマのうち、行政サービスや行政運営に関するテーマを図表で示すと以下のようになります。

このうち、右上の領域にある「ごみの回収・分別・リサイクル化」「生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進」「保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援施策」「学校教育・教育高度化」については、強みを伸ばす重点テーマとして、現状の維持・強化が望まれています。

左上領域の「地域医療体制の整備・充実・高度化」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「プライバシーや個人情報保護」「バリアフリーの推進」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」は、現状評価が低く、今後の重要度が高いものです。また、右上の領域ですが、「防犯・防災対策」についても現状評価に比べて今後の重要度認識が高くなっています。これらの項目については、新しい対策も必要となると考えられます。

全体的に重要とされているのは、医療・福祉および環境関連テーマが中心になっています。



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

地域アンケート調査(続き)

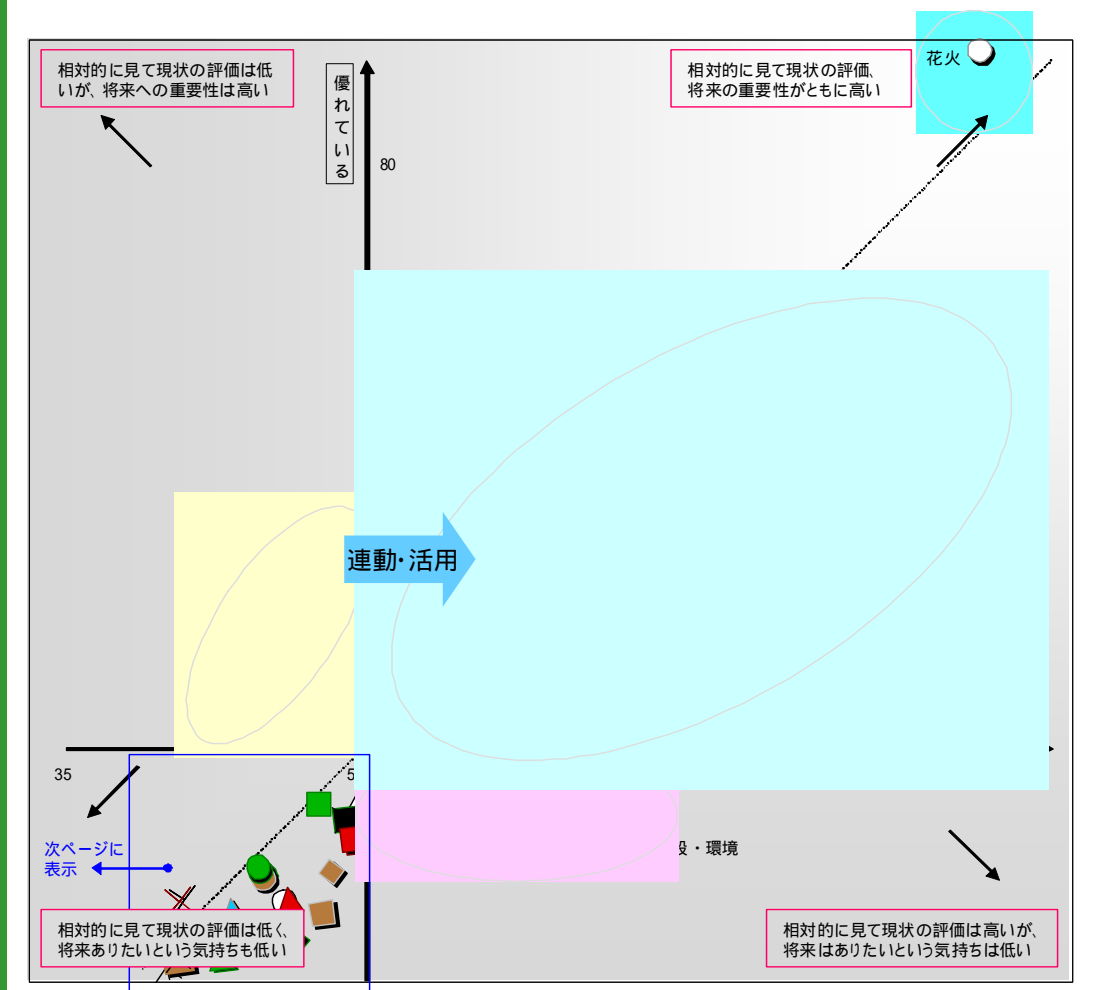
調査結果6)地域の資源の評価と活用について

地域の代表的な特色や優れた事物(地域資源)について、「大切なもの」と、「他地域に比べて優れているもの」を選んでもらいました。下の図で、右にあるものほど、「大切なもの」で、上にあるほど、「他地域に比べて優れているもの」です。

住民の方の意向に即した地域発展のための資源となりうるものとして、「花火」「信濃川などの河川」「米(米作)」「米百俵の精神」「山岳と平野の変化に富んだ自然」「山や森の緑」「各地の伝統行事・祭り」といった伝統・自然資源に加えて、「交通の利便性」などがあることがわかります。

また、「教育施設・環境」「蛭の飛ぶ風景」は、特に優れてはいないかもしれませんが、住民にとっては大切なものであり、今後も維持・充実させるべきものといえます。さらに、「酒造」「雪景色」などは、今後の地域振興の資源となる可能性が十分にあるものともいえます。

ただし、現市町村別に集計すると、地域資源評価は、それぞれ異なっています。将来構想の展開にあたっては、それぞれの地域資源を尊重し、地域の文化・特性に即した特徴を持った各地域振興を心がけていきたいと思います。



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書
基本コンテンツ案

まちづくりワークショップ 住民自身で、将来のまちづくりを考えました

「自分の住む街の将来は、自分たちで考えよう」
協議会参加8市町村に住み、それぞれの地域で地域づくりの活動をしている人、新市の将来像に関心のある人50人が集まり、7グループに分かれて新市の将来像を考えていきました。ワークショップでは年齢や職業もさまざまな人が一堂に会し、活発な意見交換が行われました。予定の4回では時間が足りないというグループもあり、自主的に集まって議論を継続するなど、熱心な議論の結果、7つのグループそれぞれから新市の将来像が将来構想策定小委員会に提出され、その意見を最大限に尊重して検討されていきました。

見聞きスペースに右のようなチャート内テキストおよびその下に続くテキストをレイアウトしてデザインします。
(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

進め方と基本プログラム

まちづくりワークショップでは、まず参加者の地域が偏らないように7つのグループに分け、グループ単位で、<話し合いの進め方><自分たちのグループのアウトプット>を考え、独自に進める方法をとりました。
また、毎回、最後に“気づいたこと”“うれしく思ったこと”“不満に思ったこと”“言い残したこと”を振り返りシートに書いてもらい、次回に対応することで、多くの方の継続参加を目指しました。

第1回(4/17)
ワークショップのテーマ・進め方の検討

第2回(5/2)
地域の宝物・自慢・個性
新しい地域のイメージ

第3回(5/13)
地域の素材をどうつなげるか
こんなまちにしたい

第4回(5/21)
まとめ結果発表

(写真)

(写真)

将来への期待や新市のあるべき姿

グループ1

「命を育み、命のつながりと一緒に育つまち」
現在の市町村の枠はいらぬ。なぜならば、私たちは今変わろうとしているのに、再び行政区分が同じ枠しかないのであれば、私たちは変わろうとしてもなかなか変わらない。それを補うのが、「地区」の自立である。日常生活に支障をきたす恐れのある高齢化した社会では、小さな地域の相互の支えが必要になる。そのためにも、「地区」が自立した活動を直接行う必要がある。

グループ2

山と里と都市の調和

1. やま...里山の教育等への活用自然のままに残し、300年後の世界遺産
2. むら...品質の高い農産品を供給し、地産地消の促進
3. 都市...都市機能の充実による商業雇用の充実

地域の個性を活かすために

1. 住民の意識改革
2. 行政制度(住民自治)の改革
3. 地域循環社会ネットワーク
4. 地域の役割分担

新市将来構想書
基本コンテンツ案

グループ3

「ぼたるが住めないところはまちじゃない！」
残すべき自然環境は残そうという意味。
「世界に向けて、子供たちに誇れる地域自慢のできる街にしたい！」
「食」・「住」が充実しているという住み心地のよさを世界にアピールしたい。
「食」は地産地消を実践するまちにしたい。
伝統農法の野菜を特産物にし、活用したい、子供たちに給食などを通じて伝えたい、各地区にある良い「食」を一同に集めた物産館をまちの顔にしたい
「住」は、バランスのとれたまちにしたい。
文化・伝統(祭り、それに伴う伝統技術)が息づき、最先端技術なども盛ん
「交通手段を確保」できるまちにしたい。
(交流するにも交通手段がなければ交流が困難な側面がある。コミュニケーションは顔が見えることが大事。だから、交通や道路整備がされていることは大事)

グループ4

パッチワーク都市の提案
パッチワーク布みたいに、各地域がその個性や特色を維持しつつ、全体でまとまりのある地域としたい
各市町村の色のイメージ
長岡：ゴマ 見附：黄色 栃尾：黒(炭焼き)
越路：黄金色 三島：緑 小国：緑+赤
自然・田んぼなどがイメージの柱になりながらも、その上で医療・教育が充実した都市イメージ。
行政の枠を超えて調整しあうことを大切にする。

グループ5

人が育ち、住んでいる人、出ていった人が「わ」をつくり出せるまち
今ある小さなコミュニティが活(生)き続ける町...村祭りetc.
みんなが集まれる場所と喜びのあるまち...大きな祭りetc.
心にきざむ、ものがたりができるまち...伝統・教育etc.
ゆったりできるまち、受け入れてくれるところ(場)があるまち...自然・田園・街並・産業etc.
やりたいことができる、したくない人はしなくてもよいまち...やわらかな住民参加・行政のしくみ
ストレスのたまらないまち 帰ってくるのが楽しみなまち

グループ6

私たちの地域で大切なもの「古き良き時代を伝えるゆっくりリズム」
・ものを大切にすること
・近所付き合い=小さなコミュニティ
・自然・人の温かさ ・自分の地域にしかないもの
進め方として
・高齢者の力の活用
・自ら考えられる知恵をつける施策
・地産地消
平行して進めるもの
・新潟県の中心都市の役割 ・地域間を結ぶ公共交通
・都市機能の整備 ・県庁の誘致
新しい長岡地域のテーマ
「深呼吸してごらん、街(そこ)に元気の素があるから」
「未来を見つめ、育てる街」
「東日本最大の“歓楽街”があってもいい？」
「古きを尊ぶ未来都市」

グループ7

「生命を大切に・地域資源を活かす・地域のパワーアップ大計画」
お互いのまちにある強みを共有すれば地域全体がより発達できると考え、そのために必要な「情報交換・共有・発信」を提案する
高齢者の豊富な体験や知恵を十分に活かし、特に子育てに役立てたいという“高齢者資源”の活用から、行政サービスにすべてを頼らない「住民参加」を提案する
住民の考えを直接的に行政施策に反映させるための「目的税」の検討も提案したい

メッセージ

各市町村を知ることが新しい市を考えていく上で必要
楽しい人が多い。合併したらもっと楽しいなあ。
各市町村のすばらしい歴史を感じました。
どのグループも地域の個性を大切にしたいと感じている。
新市に向けて、住民の意識改革をどのようにして広めていくかが課題だと思います。
顔を見て話し合うことが元気のもとだなあと思いました。
こんな会議を各市町村でもぜひやってほしい。

地域内外の方から生の声を聞きました

合併を協議している8市町村に居住し、各地域を代表できるオピニオンの方・12人に加え、外から見た地域像や将来の可能性を探る目的で、8市町村出身で地域外で活躍している有識者3人の方に、じっくりと話を伺いました。地域内外の視点から見た地域の強みや特性・地域資源を踏まえ、将来への期待や新市のあるべき姿、そして将来構想を策定する際の要望やご意見など、自由に発言していただき、将来構想策定に役立てていきました。

以下のようなチャート内に、次ページのコンテンツ(原稿)をレイアウトしてデザインします。
(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

地域の強みや特性・地域資源

地域の強みや特性

製造業を中心とした産業基盤・技術の蓄積がある
整備された先進的な農業基盤がある
多様な産業が、優秀な人材を資源に存在している
文教都市・文化都市としての施設や基盤が整っている
教育環境、教育的歴史史跡と優れた郷土文化がある
一部地域では地域活性化への住民の自主的な動きがある
繊維産業の新しい取り組み(高品質化・川下進出)や事業主の自主的努力の姿勢
高齢化への取り組みに優れている

活用すべき地域資源

それぞれ地域に優れた自然・伝統文化資源がある
各種史跡や寺院・牛の角突き・錦鯉・中山隧道棚田・山菜・水棲動物、芝桜・かたくり群生・特徴的食物(とうがん・なんばん)・織物、手まり・鋸・和紙・地下資源(天然ガス)など
食文化(米・酒・のっぺ・他)や食品加工文化(油揚げ・味噌など)、豊かな水、きれいな土と水
恵まれた道路と交通網



将来への期待や新市のあるべき姿

産業振興関連について

工業都市としての発展、「ものづくり」を中心とする産業振興・活性化が基本にあるべき
コンベンション・エグジビション都市としての可能性もある
製造業の振興に向けた総合的な取り組み(産学共働による製品開発)
農業基盤整備事業を継続してほしい
食品・農産加工業の振興と開発をするべき
産官学の連携を図って産業振興に取り組んでほしい
「食」をキーワードとする地域の活性化を
食の安全宣言、日常食の再発見と交流資源化

生活環境について

8市町村相互の交流の拡大を図ってほしい(スポーツ交流など)
地域コミュニティ構築のための拠点を整備すべき
保育・育児の制度的支援を充実させてほしい
ごみの有料化を検討すべき
公共交通網を一層、整備してほしい
大学も含めて産業人材育成教育を行うべき
(オリジナリティ・創造性のある人間教育、農業体験、郷土歴史教育、地域産業理解)

文化関連について

地域の文化を掘り起こして、共有し、それをコミュニティ形成や活性化の材料にしてほしい
地域それぞれの文化を結びつけて、より大きな価値を持たせるしかけづくりを
(大きなイベント+それぞれの祭り等)
地域文化・伝統芸能の保存のための施設を

行政のあり方について

多様な価値観や個性があることを前提に、個を大切に制度や行政を!
それぞれの地域らしさ・地域の良さを活かした活性化を図るべき
官と民のバランスが重要 「住民自治」の尊重
行政と住民の役割分担・関係を明確にする(民間でできることは、民間で行う、など)

将来構想策定に関する要望や意見など

独自性のある街のデザインが必要だ
「環境重視の田園都市的発展」
(産学協同による「県中央核都市」
ビジョンコンセプトとして「住む人に優しく、来る人に優しい」HUMAN CITYは
どうだろうか?

有識者ヒアリング調査の実施概要

1. 調査目的
各地域に在住地域づくり等に関わる方及び地域外で活躍されている地域出身の方からオピニオンリーダー(世論形成者、世論指導者)を選定し、地域を全体視して考えていくオピニオンリーダーから導かれる「なりたい姿」を抽出し、地域のなりたい姿の源泉として将来都市像構築の材料とするための調査
2. 調査期間
4月22日～5月22日
3. 対象者
地域在住者:11名 地域出身地域外在住者:4名

8市町村の代表の意見を伺いました

将来構想の策定にあたっては、むろん現在の市町村が実施している施策や、将来に向かってのビジョンを踏まえなければなりません。そういった視点から、合併を協議している8市町村の市長・町長・村長およびそれぞれの議会代表者に取材をしました。

それぞれの各地域を代表しての発言を踏まえ、将来構想は現在の8市町村各地域が共存共栄するものとして構想が進められました。

以下のようなチャート内に、次ページのコンテンツ(原稿)をレイアウトしてデザインします。
(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

地域の強みや特性・地域資源

地域の強みや特性(個別地域特性を除く)

交通至便、教育福祉・医療の充実、地価が安い、といった優れた居住環境がある
保守的な新潟地域にありながら、積極的に新しいものを取り入れるという気質もある
織物、ニット製品などで活躍する女性の存在は、新産業の創設に役立てるはず
伝統文化・資源そのものと同時に、それを守っている人間が、資源だと考えている。
信濃川は、文化的にも重要なものであり、大切にすべきもの
水(おいしい水100選)と緑

今後にも活かすべき行政実績や住民の活動

行政と企業タイアップの実績(酒蔵とのカルガモ農法など)
集落に区制度などによる地域コミュニティが形成されていること
農村文化・田舎暮らし体験“グリーンリース”
文化活動・ボランティアの実績
ランドスケープの整備、ガーデン住宅の販売
幼児教育や福祉、文化活動等の実績

将来構想策定に関する要望や意見など

100年後の町をイメージして、自分たちがこうなりたいという可能性を追求していくべき
地域資源を共有し、それぞれの地域の良さを最大限に活かす構想をダイナミックで無駄のない地域全体の事業を打ち出すことが望ましい。
良いビジョンを打ち出すのはもちろんのこと、ビジョンを実現していく仕組みをどうするのか、誰が責任を持って実行するのか、といった点について明確にする必要がある

首長・議会代表者ヒアリング調査の実施概要

1. 調査目的
地域アンケート調査及びまちづくりワークショップによる住民意見の反映と共に、有識者ヒアリングの一環として、新市に対する意見・発想を収集し、地域全体(都市として)の「できる事柄」「なりたい姿」を抽出し、将来都市像構築の材料とするための調査。
2. 調査期間
5月22日～29日
3. 対象者
構成8市町村の市町村長:8名、議会代表者:8名

将来への期待や新市のあるべき姿

産業振興関連について

30万都市となることにより、行政執行能力が高まると共に、ネームバリューが上がることで工場誘致等の可能性が広がる
大規模なコンベンションセンター、ドーム、スポーツ施設を建設したい。
流通団地などにより企業誘致をはかっていきたい。
今後も農業を大切にしていきたい
安心で、安全で、潤う産業づくりをしたい
産業が潤い、農業の後継者が定住できるような合併であるべき
地域が活性化するような、新しい産業起こしができることが合併のポイントと考えている
新しい産業の創出を期待する。(開業率>廃業率を目指す)
商店街の活性化などが、産業の復興のきっかけとなればと考えている。

観光環境について

地域資源を生かした観光ルート等を考えて、町の活性化に繋げていきたい。
滞在型の観光へと転換していきたい点でなく、線(周りの市町村との連携や協力、観光資源の連携など)で結びついていきたい
豊富な自然を活かした、フィールドミュージアムづくりとしてまとめると面白い
大分県の湯布院のように、見て回る観光地としたい
「健康的な観光地」を目指した方策を考えていきたい

生活関連について

安心・安全に住める町としたい。地域資源循環の仕組みづくりをポイントとして考えている。
高齢者にやさしい町、福祉の充実した地域にしたい。40～50代の層の人たちへの施設(生涯学習なども行える)が必要。
少子高齢化対応などきめこまかい住民サービスを期待したい
子供たち、お年寄りが笑顔で暮らせる仕組みづくりを行いたい。
高齢者の良い知識お受け継いで文化を残していくコミュニティの形成
人間性を重視し、米百俵の精神にあるように、将来を見据えた人材づくりを行っていきたい

文化のあり方について

自分たちが行っていることが、文化的なものであるとの認識を持ち、文化的な香りがする地域としたい
小さな市町村で守ってきた文化を、30万人で守っていく街にしたい

新市将来構想書 **基本コンテンツ案**

さまざまな想い、さまざまな意見を集め、
私たちの「地域らしさ価値」を表すキーワードを設定しました

「地域アンケート調査」「有識者ヒアリング」「首長・議会代表者取材調査」そして「まちづくりワークショップ」。各地域、各層のさまざまな想い、さまざまな意見を集約するために、まず、全ての調査などの結果を、5つの切り口から横断的にまとめ、私たちの「地域らしさの価値」を考えるためのキーワードを導き出していきました。

地域アンケート	都市イメージに関する横断的まとめとキーワードの抽出	産業振興や都市基盤形成に関する横断的まとめとキーワードの抽出	行政サービスや行政運営に関する横断的まとめとキーワードの抽出	新市のマインド（人材像）に関する横断的まとめとキーワードの抽出	地域資源に関する横断的まとめとキーワードの抽出
有識者ヒアリング					
首長・議会代表者取材調査					
まちづくりワークショップ					

キーワードに基づく将来構想策定小委員会での議論

市民の声の統合1) 新市イメージについての横断的まとめ

各種調査やワークショップの結果から、新市のイメージに関する声を集め、それを「今後のありたい姿」と「現状の地域の強み」を軸として整理すると、以下のようにまとめることができます。

WANT & WILL (今後のありたい姿)

- 何よりも「働きやすいまち」であること
- 高福祉のまち
- 独自性のあるまち
- 各地域のソフトとハードのネットワークによる大きなパワーの獲得
- きれいで豊かな水・便利で安全なまち・生き生き女性
- 世界に向けて誇れる町
- ゆっくりずむ
- 地産地消・循環型ネットワークの確立
- 若者が集まる町
- 安全安心なまち
- 多様な産業のあるまち
- 優秀な人材の育成
- 「食」と「住」の充実したまち
- 古きよきもの・伝統・歴史があるまち
- 山と里と都市が調和し自然が豊かな町
- 人が育ち「わ」を作っていくまち
- 未来を見つめ育てるまち
- 命を育みともに育つまち
- ものがたりができるまち
- 生活の場とともに癒しの場があるまち
- 緩やかなつながりとパッチワーク型都市
- 環境重視の田園都市的発展
- 新潟に対抗する県中央核都市
- 伝統と最先端技術のバランスが取れたまち
- 「日本一」があるまち

CAN (現状の強み)

- 地球に優しいまち
- 人づくりのまち

注記:留意点など

- ◆100年後のまちをイメージしていきたい
- ◆若者・女性の意見を取り入れる
- ◆ビジョンを実現していく仕組みが重要
- ◆ダイナミックさがほしい
- ◆東京依存が地方自立か?
- ◆住民参加、地域文化・伝統の維持に配慮しつつ、各地域のバランスの取れたまちづくりをしてほしい

新市将来構想書 **基本コンテンツ案**

市民の声の統合2) 産業振興や都市基盤形成についての横断的まとめ

各種調査やワークショップの結果から、産業振興や都市基盤形成に関する声を集め、「今後のありたい姿」と「現状の地域の強み」を軸として整理すると、以下のようにまとめることができます。

WANT & WILL (今後のありたい姿)

- 「商店街の活性化などの商業振興」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」「観光資源開発や観光産業の振興」
- コンベンション都市としての可能性
- 食品・農産加工開発
- 「食」をキーワードとする地域活性化
- 地域が活性化するような、新しい産業起こしができることが合併のポイントと考えている(開業率>廃業率)
- 新しい産業の創出を期待する。
- 製造業を中心とした産業基盤・技術蓄積整備された先進的な農業基盤交通の便を生かした流通団地・住宅団地
- 「河川や森林などの自然保護」「静かで落ち着いた住環境の整備」「上下水道や集落排水施設の整備・充実」
- 農業基盤整備事業の継続
- 各地域の多様な文化と自然の価値を尊重・活用する観光産業開発へ、観光資源の連携
- 「ものづくり」を中心とする産業振興・活性化
- 工業都市としての発展(高付加価値化による優位性)優れた居住環境の提供地

CAN (現状の強み)

- 公共交通機関の整備・充実」「住宅地や公営住宅の整備・充実」「道路や橋・トンネルなどの整備・充実」等

市民の声の統合3) 行政サービスや行政運営についての横断的まとめ

各種調査やワークショップの結果から、行政サービスや行政運営に関する声を集め、それを「今後のありたい姿」と「現状の地域の強み」を軸として整理すると、以下のようにまとめることができます。

WANT & WILL (今後のありたい姿)

- 医療・福祉・環境関連施策を充実させる
- 「地域医療体制の整備・充実・高度化」「道路や公共施設のバリアフリーの推進」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「プライバシーや個人情報保護」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」
- 高齢者資源の活用
- 地域コミュニティ構築のための拠点整備
- 保育・育児の制度的支援
- ごみの有料化 公共交通網の整備
- 地域の文化を掘り起こし、結合・活用
- 多様性を前提に、個を大切に
- 医療・教育の充実を
- 安全で安心できる防犯・防災対策」「学校教育の施設整備や教育内容の高度化・充実」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援策」「生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進」
- 文教・文化都市としての施設や基盤
- 教育環境、教育的史跡と郷土文化
- 人材が育つ風土と人材力
- 地域活性化への住民の自主的活動
- 里山の保存と教育の場での活用
- コミュニティの維持・活性化
- 地区の自立と地区内の相互の助け合いの必要性

CAN (現状の強み)

- 「地域教育の推進」「公園や緑地市町村の情報公開や広報活動」「コミュニティ活動やボランティア活動の支援」「地域の伝統継承や文化財の保護」「スポーツ施設の整備充実やスポーツ振興」「海外との交流拡大や地域の国際化の推進」「公共文化施設の整備・充実や文化振興」等

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

市民の声の統合4)新市のマインド (人材像)についての横断的まとめ

各種調査やワークショップの結果から、新市のマインド (人材像)に関する声を集め、それを「今後のありたい姿」と「現状の地域の強み」を軸として整理すると、以下のようにまとめることができます。

■積極性がある
■向上意欲がある
■チャレンジ精神がある
■責任感がある
■情報に敏感である
■活動的である
■リーダーシップがある
■自主性がある

■協調性がある
■人情に厚い

■住み人に優しく 来る人に優しい HUMAN CITY

■慎重である
■おとなしい
■粘り強い

WANT & WILL (断片) 強みを維持・強化する

新たに創りあげる

市民の声の統合5)地域資源についての横断的まとめと整理 (地域資源イメージチャート)

各種調査やワークショップの結果から、横断的に主要な地域資源を抽出し、それをイメージ的に関連するものをまとめると以下のように整理することができます。

食 水 路 土

信濃川
雷

おいしい水

河川交通
川による結びつき

関越・北陸道交点
交通の利便性
新潟県を中心

米
れんこん
山岳と平野
森

酒造

中山隧道
一町田圃
水田改良
各種農業実績

製造業の伝統と実績
和紙・鋸
各地の伝統芸能
大戸祭り
牛の角突き

花火

天然ガス
火

豊かな土壌

各種郷土料理
(あぶらげ・のっぺ・他)

おもしろい

川による結びつき

関越・北陸道交点
交通の利便性
新潟県を中心

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

「地域らしさ価値」策定に向けたキーワード

前頁までのまとめに基づいて、5つの切り口それぞれについて、以下のようなキーワードを導き出してきました。(地域資源については、その整理・分析に基づいて、私たちの地域資源の特徴からキーワードを導いています)

1)新市イメージに関するキーワード

- 多様性** 多様な産業が存在(振興)していて、働きやすいまちである
- 調和** 各地域やそこに住む人はそれぞれ個性的であり、その個性が調和している
歴史と未来が結びついている(歴史の上に未来がある)
自然と人間の活動が調和している
- 独自性** 他の市とは違った魅力と独自性がある
- 住みやすさ** 住民にとっては住みやすく、安全・安心なまちである
- その他のキーワード** ゆっくりずむ・癒しものがあり、など

2)産業・都市基盤に関するキーワード

- 製造業の再生** 産業振興の中心は製造業の再生・発展
- 食による活性化** 農業基盤整備と、「食」をキーワードとする食品・農産加工などの高付加価値化
- 観光振興** 地域資源を活用した滞在型・参加型観光としての振興が期待されている
- 新産業育成** 多くの人が新産業創出を期待している
- 自然と都市の共存** 自然保護と都市基盤整備を両立させる

3)行政サービス・行政運営に関するキーワード

- 人材育成** 教育的環境・地域の伝統や史跡を生かした教育の充実
- コミュニティとネットワーク**
現市町村よりも小さな単位でのコミュニティ形成とその内外のネットワーク作り
- 地域文化保全活用**
地域の文化を保全すると共に、それを相互に結び付けてその価値を高める
- 老若共働**
高齢者への福祉ではなく、高齢者を「地域の資源」として、老若が共働するまちづくり
- 官民の協力** 住民自身の活動の重視。官と民の役割分担・協力

4)新市のマインド(人間像)に関するキーワード

- 元気さ、おおらかさ、潑刺さ**
ビジョンの表現として「元気さ、おおらかさ、潑刺さ」を感じさせる言葉を使う
- 誠実さ、豊かさ**
ビジョンの表現として誠実さ、豊かさ」をイメージさせる言葉を使う

5)地域資源のキーワード

地域価値 = 「自然と人間の共創物」
= 自然資源「川」「土」「火」×人間の文化資源「技」「路」「食」

新市将来構想書

基本コンテンツ案

新市将来構想書

基本コンテンツ案

ここでは、長岡地域の現状の強みを紹介します。



新市将来構想書. 基本コンテンツ案

「地域の強みやなりたい姿」から、「なるべき姿」を導き、「地域らしさ価値」のポイントを明らかにしました

新市の将来構想策定にあたっての基本方針は、できるだけ多くの住民の方の願いを盛り込み、「なりたい姿」に即して構想をまとめることです。しかし、それは根拠のない「願望」や実現不可能な「夢」であってはなりません。

このような視点から、将来構想策定にあたっては、「地域の強みに基づく実現可能な将来像(=CAN)」と、「実現したい将来像(WANT)」を整理し、その上で、「実現すべき将来像(WILL)」を検討していきました。その流れを図示すると、以下のようになります。

```

    graph TD
      WANT([実現したい将来像  
WANT]) --> WILL([実現すべき将来像  
WILL])
      CAN([地域の強み  
(実現可能な将来像)  
CAN]) --> WILL
      WILL --> SPECIFIC[具体化方針の確立]
      SPECIFIC --> VISION([地域らしさ価値  
VISION])
  
```

上記の流れに従い、各種調査結果からまとめた重要事項は以下の通りです。

実現したい将来像(WANT)

- 若年者を中心に人口を増加させること
- 産業振興と雇用の確保
- 農業の活性化
- 新産業・新事業創出
- 育児・医療・福祉の充実
- 自然の保全と共生
- 防災に強く安全な住みよいまちの実現
- 地域内外の交流の拡大
- 住環境の維持・整備

地域の強み 実現可能な将来像(CAN)

- 機械・織物・食品などの製造業の強み
- 昔からの治水・土壌改良による農業改良・基盤整備の実績
- 米作地域としての実績と知名度
- 首都圏・北陸地域との交通アクセスのよさ(交通の要所)
- 多様な自然・伝統・文化の存在
- 米百俵に象徴される人材育成・教育環境・教育施設
- 誠実で協調性があり、人情に厚いパーソナリティ

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

(前頁からの続き)

実現すべき将来像(WILL)

- 産学(産学官)共働による産業振興・新産業の創出
- 基盤整備を活かした新しい農業の位置づけと活性化
- 「すみやすさ」の実現
- 育児・安全・予防医療・福祉・住環境インフラの充実
- 自然・文化・歴史の尊重と活用
- 内外の交流人口の拡大
- 若者を始めとする人口の増加

「地域らしさ価値」具体化方針

以上の事項を踏まえて、「地域らしさ価値」を以下の4項目を骨子として定めることとしました。ちなみに「若者を始めとする人口増加」については、以下の4項目を実現したときに、結果的に実現することとして捉えています。

1. 技が育む先端産業の地であること、高付加価値製造業の集積地であること。
2. 体を作る、優れた「食」産地であり続ける
3. 知をつくる人材育成と高福祉・教育環境などによる「住みやすい」地域であること。
4. 自然・歴史・文化を活かした交流の地域となること

参考チャート
(ここで述べた内容を私たちが考える「ありたい姿」と「地域の強み」に着目したチャートで示すと、以下のように表示することもできます)

<p>ありたい姿</p> <p>WANT</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口増加 産業振興と雇用の確保 農業の活性化 新産業・新事業創出 育児・医療・福祉の充実 自然の保全と共生 防災に強く安全な住みよいまち 地域内外の交流の拡大 住環境インフラの維持・整備 	<p>WILL</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学(産学官)共働による産業振興・新産業の創出 基盤整備を活かした新しい農業の位置づけと活性化 「すみやすさ」の実現 育児・安全・予防医療・福祉・住環境インフラの充実 自然・文化・歴史の尊重と活用 内外の交流人口の拡大 若者を始めとする人口の増加 	<p>「地域らしさ価値」具体化方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技が育む先端産業の地であること、高付加価値製造業の集積地であること。 2. 体を作る、優れた「食」産地であり続ける 3. 知をつくる人材育成と高福祉・教育環境などによる「住みやすい」地域であること。 4. 自然・歴史・文化を活かした交流の地域となること
<p>CAN(地域の特長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械・織物・食品などの製造業 昔からの治水・土壌改良による農業改良・基盤整備の実績 米作地域としての実績と知名度 首都圏・北陸地域との交通アクセスのよさ(交通の要所) 多様な自然・伝統・文化の存在 米百俵に象徴される人材育成・教育環境・教育施設 誠実で協調性があり、人情に厚いパーソナリティ <p>地域の強み</p>		

このような結果を基に、将来構想策定は進められました

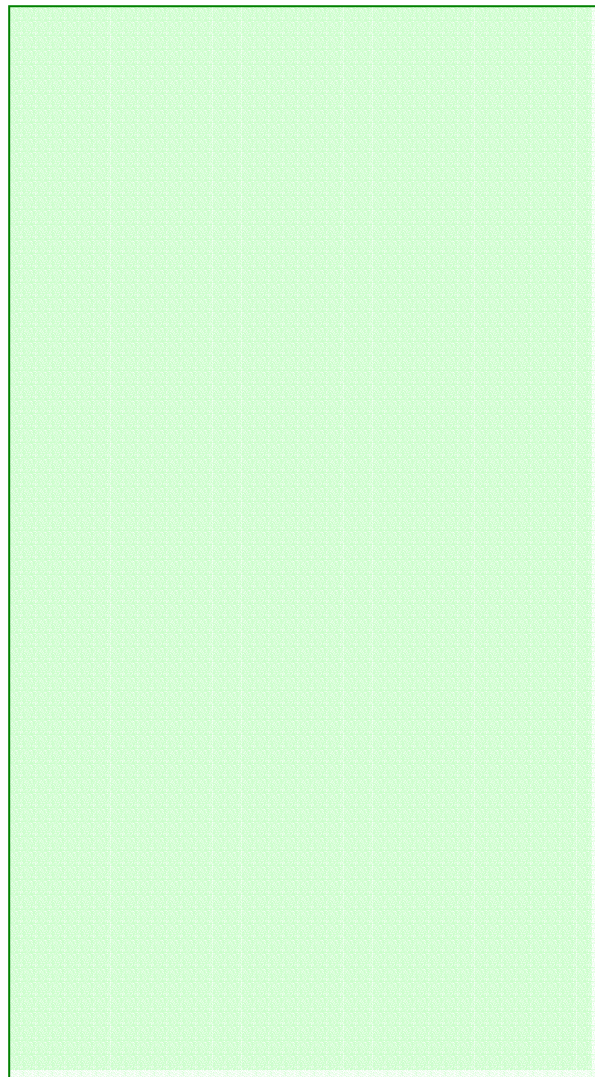
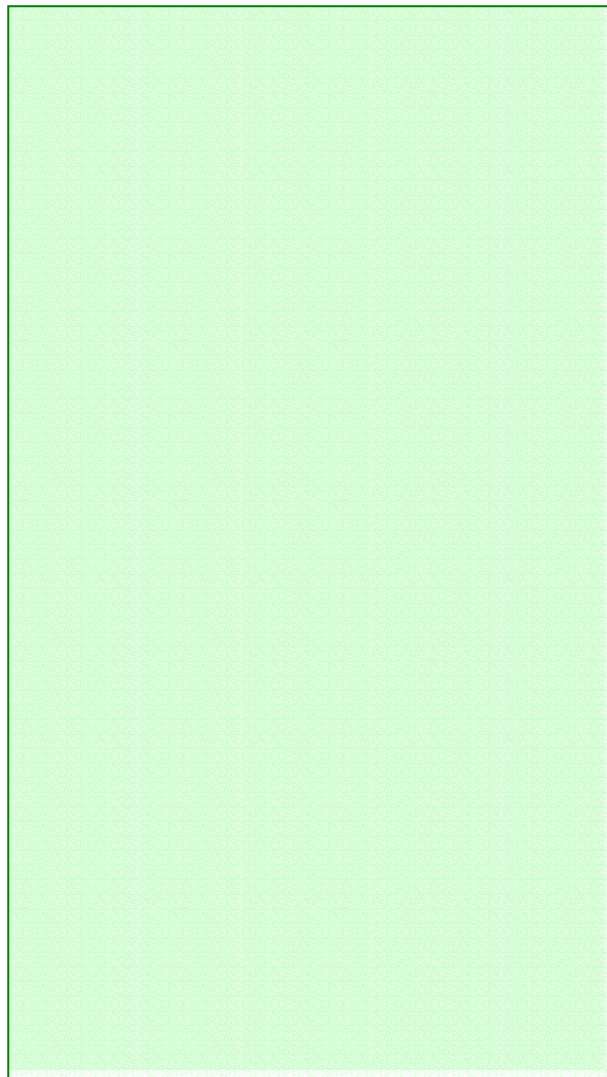
※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

【信濃川と花火】



全国的に有名な長岡の花火の歴史は、まちづくりの歴史。戊辰戦争、第二次世界大戦と二度戦火にみまわれた長岡の「復興のシンボル」としてのエピソードや、現在に受け継がれている花火の慣習を紹介する。



第3部 地域で共有したい価値・新しいまちの姿

イメージ写真など入る

独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

第一部で紹介した具体化方針、「技が育む先端産業の地であること、高付加価値製造業の集積地であること」に基づく「地域らしさ価値」として、策定したのが、『独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか』です。

ここには、私たちの地域が「技」の伝統を引き継いだ優れた製造業を持つ地域であり、これからも技術の進歩と優秀な人材によって、地域産業の核として育てていこうという思いが込められています。

この地域らしさ価値は、第一部で紹介したように、「WANT(住民の方の期待・願望・ありたい姿)」と「CAN(現状の強み)」を踏まえ、「WILL(実現すべき将来像)」を明確にした上で、策定されたものです。策定背景・理由と、その具体的な内容を以下のチャートで示します。

見開きスペースに右のようなチャートを作成し、次ページ以降のテキストをレイアウトします。
(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

具体化方針に基づく調査結果の整理

WANT(期待・希望・ありたい姿)

- ・「ものづくり」エグジビジョン都市をめざしたい
- ・人と自然、伝統と最先端がバランスするまち
- ・新潟県を中心になりたい
- ・「ものづくり」による産業振興をめざす
- ・新しい産業の創出
- ・チャレンジ精神のある地域パーソナリティ
- ・住民主導・行政による支援
- ・情報に敏感かつ挑戦的に活動
- ・実証的・論理的な誠実さ

ありたい姿

「WILL(実現すべき将来像)」

- ・製造業主体の産業振興
- ・知識・技術の集約総合化への取組みをめざす
- ・10年先を見据えた人材づくり
- ・伝統のものづくりの技を市のシンボルとして大切にすまち
- ・各地域の文化・特性を活かす
- ・独自の魅力を増進する
- ・製造業をきっかけに全産業への振興をめざす
- ・恵まれた交流空間をいかした新産業の育成
- ・安心して、安全で、潤う産業づくり
- ・チャレンジャーに地域でエールを送るまち
- ・多様性と個性を大切にすまち
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・誠実な率直性と確かさ
- ・伝統文化を守り伝える、粘り強さを誇りとするまち
- ・伝統と実績を広くアピール
- ・交通拠点を活かした流通業の拡充
- ・産学官が連携した新高度技術産業づくり
- ・産学官連携によるものづくり
- ・地下資源の有効な活用
- ・新たな起業への支援体制の充実
- ・技をたかめる

強み

社会的背景・環境

閉塞状況を打ち破るベンチャービジネス・起業、高付加価値新産業(企業)への期待
 オリジナリティのあるビジネスモデル開発企業の成功
 国立大学独立法人化などを背景とした、大学の「事業開発」への取り組み
 少子高齢化・入学者減少の中での、大学教育と社会との接点拡大の必要性
 中国をはじめとする国際競争の中で、高付加価値化・産業高次元化への取り組みは不可避
 環日本海国際分業体制の可能性
 自然に生まれ、豊かな感性と創造力を持つ人材(長岡地域の人材育成実績結果)が、新世紀の「起業人」の条件
 県内における都市活動中心のコアとしての新潟との差別化(製造業都市としての役割)
 北イタリアのミラノ・トリノにおけるファッション・機械産業隆盛の事実
 (地場中小企業主体の高付加価値産業都市)

CAN(現状の強み)

- ・交通至便・技術の蓄積が誇り
- ・積極的に新しいものを取り入れる気質
- ・教育的環境・人材が育つ風土
- ・住民の自主的な動き
- ・協調性があり、慎重で粘り強い
- ・理論的実証的な性格
- ・水や土とともにひとが育む

新市地域らしさ価値

独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

長岡地域の先鋭性を持った産業(高付加価値電子機械製造業、ファッション産業、食料品製造業、醸造業など)は、「粘り強さ」「思慮深さ」の人間性と「起業の精神」や「人材」を育む伝統的な精神風土に由来する、たゆまぬ努力と果敢な挑戦の「技」から生まれている。この長岡地域らしさを市民自ら主体的な取り組みでさらに発展・推進(生育)させ、価値創造型の産業地形成を図ることで、地域の自信と安定を獲得する。

伝統と実績に基づく、分野や規模に寄らない「価値創造型の産業地」としての長岡地域を推進・発信する。
 風土や自然環境と一体化・共存化する新産業のまちづくりの姿勢を明らかにする。
 新たな価値創造を促す「起業精神」と「人材」の育成を、新市地域一体で推進する。

新市地域らしさ価値2 元気に満ちた米産地

～ まごころ米の生まれる里・新ながおか～

「米」には読み仮名をつけます

第一部で紹介した具体化方針、「体を作る、優れた『食』産地であり続ける」に基づく「地域らしさ価値」として、策定したのが、『元気に満ちた米産地～ まごころ米の生まれる里・新ながおか』です。

ここには、私たちの地域が日本有数の米産地であり、日本の文化を創ってきた「米作・農業」の伝統を大切に、日本人の元気の素である「米」に託して、日本を元気にする地域でありたいという思いが込められています。

もちろん、この地域らしさ価値も、「WANT」と「CAN」を踏まえた「WILL」から策定されています。

見開きスペースに右のようなチャートを作成し、次ページ以降のテキストをレイアウトします。

(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

具体化方針に基づく調査結果の整理

WANT(期待・希望・ありたい姿)

- ・農産物の産直販売・食品加工開発をめざす
- ・チャレンジ精神のある地域パーソナリティ
- ・住民主導・行政による支援
- ・情報に敏感かつ挑戦的に活動
- ・ブランド食・観光・交流拡大

ありたい姿

「WILL (実現すべき将来像)」

- ・基盤整備による誇りある農業の継承
- ・「食」をキーワードとした地域(地産地消の推進)の活性化
- ・農業の巾を広げ、食文化を含む総合アグリカルチャー産業の育成
- ・こだわりと誇りのある農業がまちの活気の糧をつくるまち
- ・各地域の文化・特性を活かす
- ・独自の魅力を増進する
- ・安心で、安全で、潤う産業づくり
- ・多様性と個性を大切にすまち
- ・グローバルな中に、伝統的な教えも大切にすまち
- ・元気そしておおらか
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・伝統文化を守り伝える、粘り強さを誇りとするまち
- ・食文化・食による地域活性化
- ・おいしい水と食で来訪者をむかえるまち
- ・10年先を見据えた人材づくり
- ・伝統と実績を広くアピール
- ・技をたかめる
- ・伝統のもののづくりの技を市のシンボルとして 大切にすまち
- ・引き継がれた技を誇り高くアピールするしくみと、 機会の創出

強み

社会的背景・環境

WTO米関税引き下げ協議
米価格の流動化・自由化
消費者は国産米・新潟米を好む
米の最大の消費地は首都圏(交通アクセスのよさ)
米は日本の主食であり、伝統文化の基盤でもある
食の購買心理=味に加えて、安心安全さが関心事
日本の穀物需要率は30%弱
農業技術の海外流出、食体系の崩壊不安
グリーンツーリズム・体験型観光の根強い人気

CAN (現状の強み)

- ・先進的な農業基盤・優れた産物
- ・積極的に新しいものを取り入れる気質
- ・豊かな自然と都市基盤
- ・住民の自主的な動き
- ・協調性があり、慎重で粘り強い
- ・おいしい水の恵み
- ・水や土とともにひとが育む

新市地域らしさ価値

元気に満ちた米産地

～ まごころ米の生まれる里・新ながおか～

安全でおいしい米や野菜は、自然と調和した長岡地域の人々の誠実な営みの産物(まごころのこもった米など)である。

米に象徴される長岡の農産物(=食材)は、日本人の食を支え、活動の源となってきた。

これらを生み出す自然と人間の大きいエネルギー(棚田の原風景や各種伝統芸能・祭りなども含まれる)は、生産という分野に留まらず、農産物から地域文化をふまえた観光や交流へと波及し、日本人を元気にする可能性を志向する。

「米=主食=元気の源」として、新市を「日本を元気にする活力の発信地」として位置付ける。

「米=日本の文化」として、新市が自然・文化・心を尊重した地域づくりの姿勢を明らかにする。

環境や文化的側面まで一体化した施策推進により、米の付加価値を高め、新市産出米の競争力を強化する。

世代がつながる安住都市

～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

「未来人」には読み仮名を
つけます

第一部で紹介した具体化方針、「知をつくる人材育成と高福祉・教育環境などによる「住みやすい」地域であること」に基づく「地域らしさ価値」として、策定したのが、『世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか』です。

ここには、私たちの地域が「技」の伝統を引き継いだ優れた製造業を持つ地域であり、これからも技術の進歩と優秀な人材によって、地域産業の核として育てていこうという思いが込められています。

見開きスペースに右のようなチャートを作成し、次ページ以降のテキストをレイアウトします。
(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

具体化方針に基づく調査結果の整理

WANT(期待・希望・ありたい姿)

- ・高福祉のまち(こども・高齢者)
- ・豊富な自然を活かしたフィールドミュージアムづくり
- ・自然環境保全と都市機能充実
- ・チャレンジ精神のある地域パーソナリティ
- ・地区の自立と相互の助け合い
- ・老人が元気になるまち
- ・住民主導・行政による支援

ありたい姿

「WILL(実現すべき将来像)」

- ・楽しく期待をもって子育てができるまち
- ・元気で長生きのできる暮らしを支える環境と高福祉サービスの充実
- ・老若が共働するまちづくり
- ・山のみどり(癒し)と生活の緑(うるおい)がバランスしたまちづくり
- ・独自の魅力を増進する
- ・安心・安全に住めるまち
- ・住環境の一環として自然の保全が位置づけられるまち
- ・癒しのまち
- ・豊かな自然の保全と積極的な活用
- ・10年先を見据えた人材づくり
- ・グローバルな中に、伝統的な教えも大切にするまち
- ・多様性を許容する小単位コミュニティ
- ・小コミュニティのネットワークが繋がり交流するしかけをつくるまち
- ・行政と住民の役割分担
- ・官民協力の時代にあった斬新な行政サービスの展開
- ・元氣そしておおらか
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・伝統に根ざし各々が調和する
- ・市民が主役への意識改革
- ・地下資源の有効な活用
- ・高い交通利便性をいかしたまち
- ・美しい河川、森林を次世代に残す
- ・身近な自然がうれしいまちづくり
- ・身近なコミュニティ拠点の整備
- ・個を大切にしつつ効率的な行財政運営の実現

強み

社会的背景・環境

急速な高齢化の中での老人福祉の重要性の増大
 中高年世代の最大の不安要因は、老後の保障
 少子化の中での出産・子育て支援の重要性の増大
 次世代を担う育児・教育への関心の高まり
 男女共同参画社会の実現、女性の社会進出における育児・教育支援の重要性
 経済・雇用を拡大する21世紀型生活産業としての福祉・育児産業
 雇用とともに福祉・教育環境を重視する定住地の選択傾向
 (Uターン、セカンドライフ移住など)

CAN(現状の強み)

- ・豊かな自然と都市基盤
- ・教育的環境・人材が育つ風土
- ・協調性があり、人情に厚い地域パーソナリティ
- ・元氣な高齢者・優れた人材
- ・住民の自主的な動き

新市地域らしさ価値

世代が繋がる安住都市 ～未来人(みらいびと)を育む資源博物館・新ながおか～

高速交通網の整備により首都圏へは至近な時間距離にありながら、信濃川の水系と東山や西山の山地で構成される長岡地域は、利便性、機能性と同時に水や緑の資源が豊かで、健全な生活環境を身上とした都市である。この生活環境と同時に「人材育成」の環境と実績から、高齢者や子供(未来人=未来を生きる人)などの過去と未来の歴史をつなぐ人々にとっての「住みやすさ」「育ちやすさ」を志向することによって、世代がつながる安定と安らぎ住まい都市を発信する。

行政・市民が一体となって子育て支援や高齢者福祉を推進し、「住みやすさの代表地域」としての新市を発信する。
 生活の背景となる川や森林を守り育てることで「住みやすさ」の恒久化を図る。
 子供を育むための、様々な体験を生み出す地域資源の多様さ(省源博物館)を活用した、「自分が育つ」地域づくりを志向する。

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

第一部で紹介した具体化方針、「自然・歴史・文化を活かした交流の地域となること」に基づく「地域らしさ価値」として、策定したのが、『世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか』です。

ここには、私たちの地域が誇るべき歴史と伝統を持ち、交通の要地でもあることから、それらを資源に日本・世界の人々と交流し、相互に高めあいつつ調和していこうという思いが込められています。

見開きスペースに右のようなチャートを作成し、次ページ以降のテキストをレイアウトします。
(色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります)

具体化方針に基づく調査結果の整理

WANT(期待・希望・ありたい姿)

- ・「ものづくり」エグジビジョン都市をめざす
- ・新潟県の中核になりたい
- ・滞在型の観光資源
- ・豊富な資源を活かしたフィールドミュージアムづくり
- ・自然環境保全と都市機能充実
- ・それぞれの文化を結びつけてより大きな価値を生む
- ・住民主導と行政による支援
- ・ブランド食・観光・交流拡大
- ・観光資源として全国発信

ありたい姿

「WILL (実現すべき将来像)」

- ・地域に残る文化を結び、新たな文化を育むまち
- ・各地域の文化を尊重し、結びつけて保全活用
- ・誠実な率直性と確かさ
- ・各地域の文化・特性を活かす
- ・長岡独自の交通、都市機能ネットワークの構築
- ・高い交通利便性をいかしたまち
- ・美しい河川、森林を次世代に残す
- ・豊かな地域の個性をつなぎ、長岡らしさをつくる
- ・おいしい水と食で来訪者をむかえるまち
- ・「食」をキーワードとした地域の活性化
- ・山と里と都市の調和
- ・身近な自然がうれしいまちづくり
- ・山のみどり(癒し)と生活の緑(うるおい)がバランスしたまちづくり
- ・多様性と個性を大切にすまち
- ・グローバルな中に、伝統的な教えも大切にすまち
- ・地域文化と人的資源の活発な交流が見られるまち
- ・地域文化の保全と活用を図る仕組みとルートがあるまち
- ・小さいながら効率的な行政運営の実現
- ・官民協力の時代にあった斬新な行政サービスの展開
- ・市民が主役への意識改革
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・食文化・食による地域活性化
- ・商店街の再生に向けての空き店舗の有効活用
- ・行政と住民の役割分担
- ・独自の魅力を増進する
- ・癒しのまち
- ・交通網の再構築
- ・各地の多様な価値を尊重する観光開発
- ・豊かな自然の保全と積極的な活用
- ・伝統と実績を広くアピール

強み

社会的背景・環境

文化立国への取り組み、世界に向けての文化を資源とする産業の可能性
 日本文化のアイデンティティへの関心の高まり
 地域文化・郷土文化再評価の気運
 滞在型観光の隆盛
 ありのままの自然・文化の評価の高まり
 「癒し」ブーム
 人間らしい、余裕を持った「スローフード」「スローライフ」の提唱
 おいしいもの、体にいいもの(食文化)や日本酒への関心の高まり
 将来的な環日本海交流の拡大
 (北陸新幹線の延伸による近畿圏との時間短縮)
 (時代的閉塞感のなかでの)近世史への関心の増加

CAN (現状の強み)

- ・多様な産業と郷土文化がいきづく
- ・個性的な地域、人と自然が共生してきた歴史
- ・長岡地域のちからは豊かな資源
- ・古き良きもの
- ・恵まれた道路交通網と観光資源
- ・豊かな自然と都市基盤
- ・それぞれの地域文化資源
- ・住民の自主的な動き

新市地域らしさ価値

世界をつなぐ和らぎ交流都市 ～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

長岡地域は古くから交通の要衝として栄え、様々な人々や物資が行き交った地である。長岡には、他地域との交流と融合の歴史がある。豊かな自然を背景にした各地の文化は独自性があり、日本各地、世界の人々をつなげる受信力と発信力を内包している。一方で長岡は戦火に遭いながらも、人の営み(ものがたり)によってつなげられた心の歴史都市である。長岡地域が志向する交流とは単なる活況ではなく、精神文化や人間性が生み出す落ち着きや暖かさのある和らぎの交流である。

新市各地の「技」「食」「人」を地域資源として活用・連携し、日本・世界の人や文化が交流するまちを推進する。
新市各地が、持ち味の競演を行いながら、より高水準の交流と融和の地域(競和国)を目指す姿勢を明らかにする。

新市将来構想書

基本コンテンツ案

新市統合ビジョン

新市の地域らしさ価値を統合するビジョンは「人は財、いきいき都市・新ながおか」です

4つの地域らしさ価値は、いずれも私たち長岡地域住民の特性に即したものととして策定されています。そして、今後、「地域らしさ価値」を発揮し、実現するのは私たち市民自身に他なりません。私たち自身が力を発揮すると同時に、今後を担う次世代の人材を育成していくことも重要なことだと考えています。

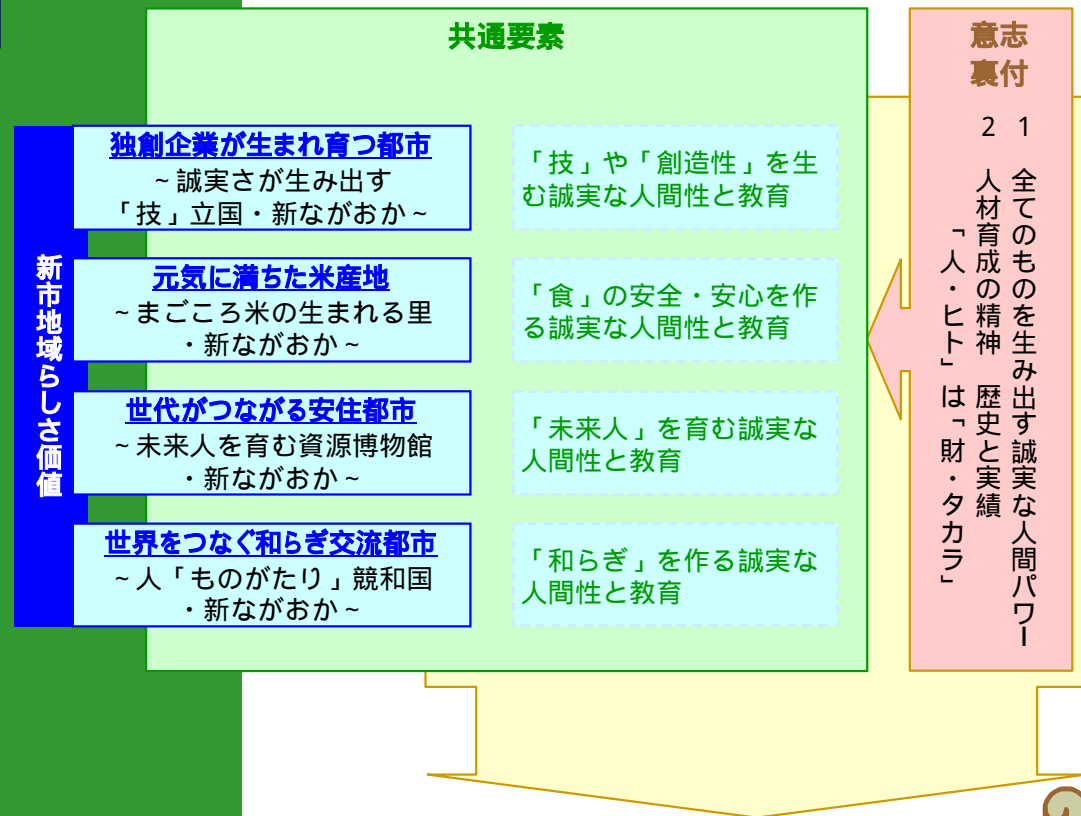
そこで、4つの「地域らしさ価値」を統合し、新市の基本姿勢となるビジョンを、「人は財、いきいき都市・新ながおか」としました。

ここには私たちが、これまで人材育成の歴史と実績を持ち、多くの人材を輩出したことを踏まえ、今後も「人・ヒト」こそ「財・タカラ」であり、私たち市民の活動によって、今後も長久の繁栄を獲得していこうという意志が込められています。

たから

※ このページは、「人間」をイメージさせる社員やイラストで余裕を持ったデザインとします
下記のチャートは削除する可能性があります。

色やチャートの形などは改めてデザインし、変わる可能性があります



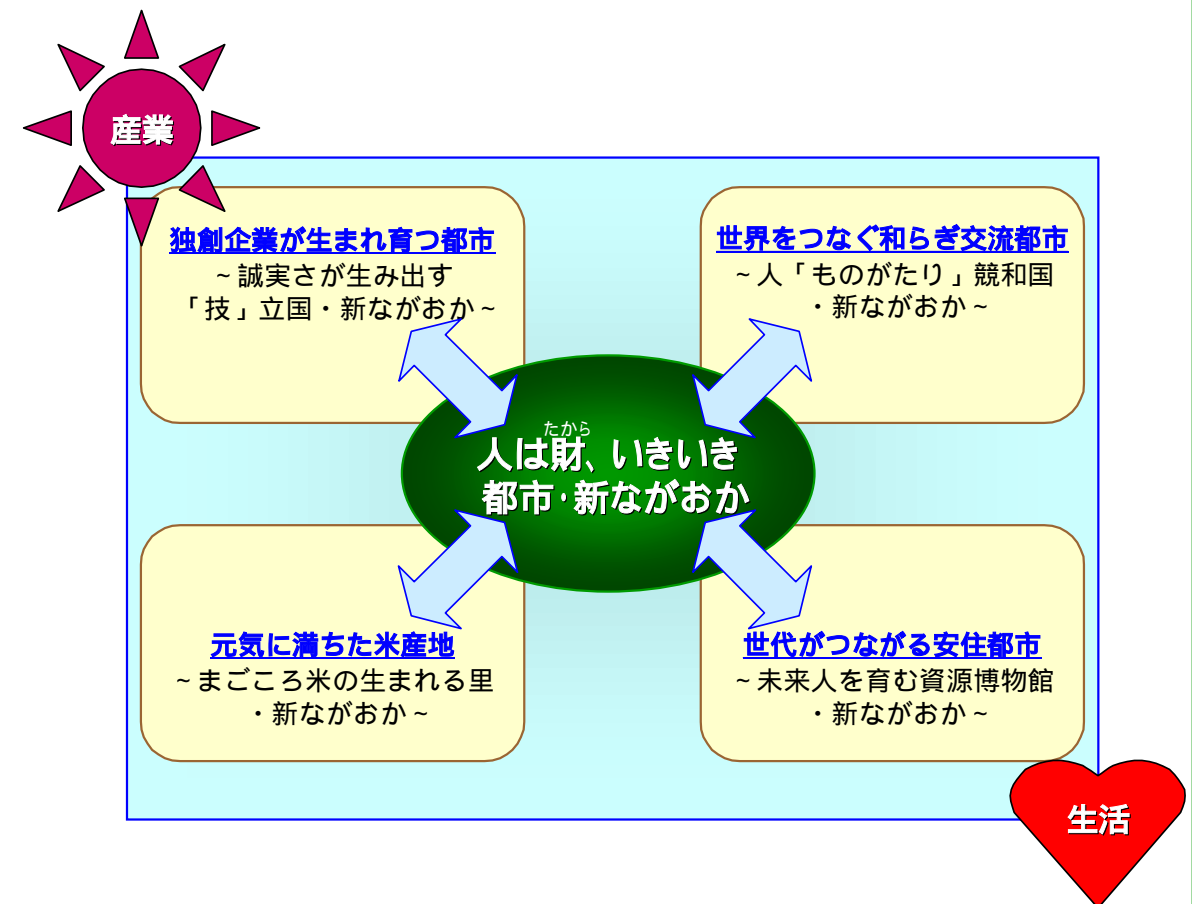
たから

人は財、いきいき都市・新ながおか

長岡地域の全ての価値形成は、誠実な人間性と人材育成精神の歴史に裏付けられる。長岡地域にとって「人・ヒト」こそ「財・タカラ」(=人財)であり、地域の人々の可能性や才能を尊重し、人々の活動によって長久の繁栄を獲得する都市・新ながおかを標榜する。

参考) 地域らしさ価値の体系

「地域らしさ価値」それぞれと、「統合ビジョン」の関係を図示すると以下のようになります。

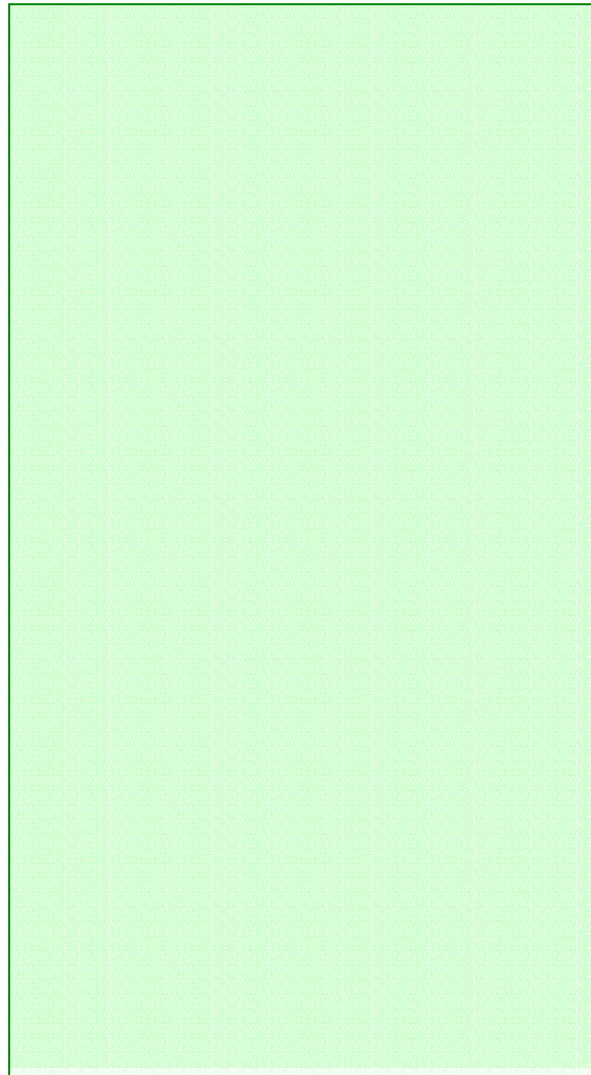
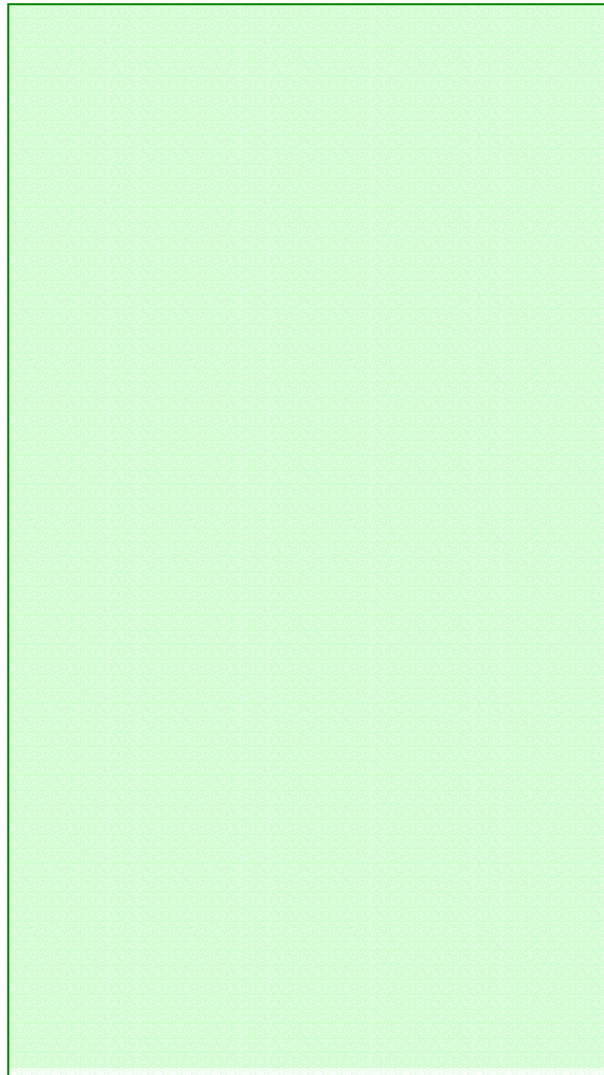


※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

【もう始まっている地域らしさの芽】



21世紀型産業のキーワードは、健康、環境といわれる。また、コミュニティと緊密なつながりの上に機能するビジネスも同様だ。NPO、資本金規制の特例、地産地消の定着、エコマネーの広がりといった動向が、市民起業や新ビジネスを後押ししている。身近なところから発想して実現したビジネスを紹介する。



私たちの望むまちと取り組み

このセクションでは、前章の新市における4つの共有価値、「新市地域らしさ価値」を高めていった時になることのできる地域の将来像(夢)とそれを実現するための各地域の取り組み内容(活動展開)、更に新市全体で取り組んでいくべき重点課題と活動展開の項目をとりまとめています。

各地域の将来像(夢)と取り組み内容(活動展開)については、既往の8市町村分それぞれについてまとめてあり、合わせて各地域の概況や特性も紹介しています。

イメージ写真など入る

新市将来構想書

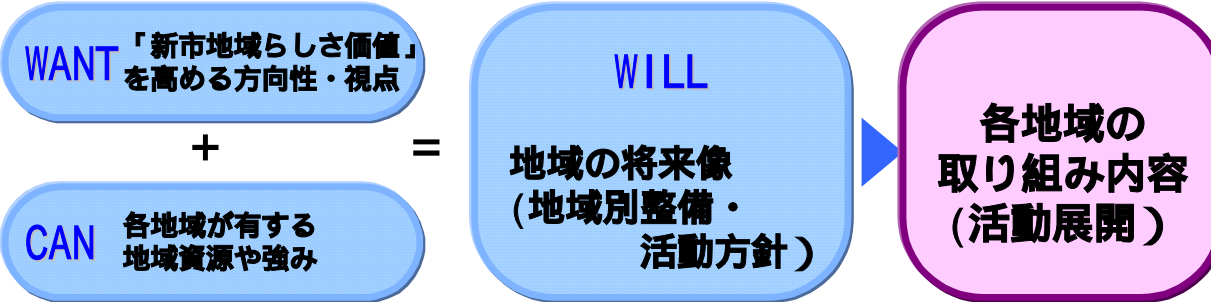
基本コンテンツ案

立案の考え方と視点

各地域での取り組み内容から新市全体での取り組み内容を検討

検討の基本的な考え方

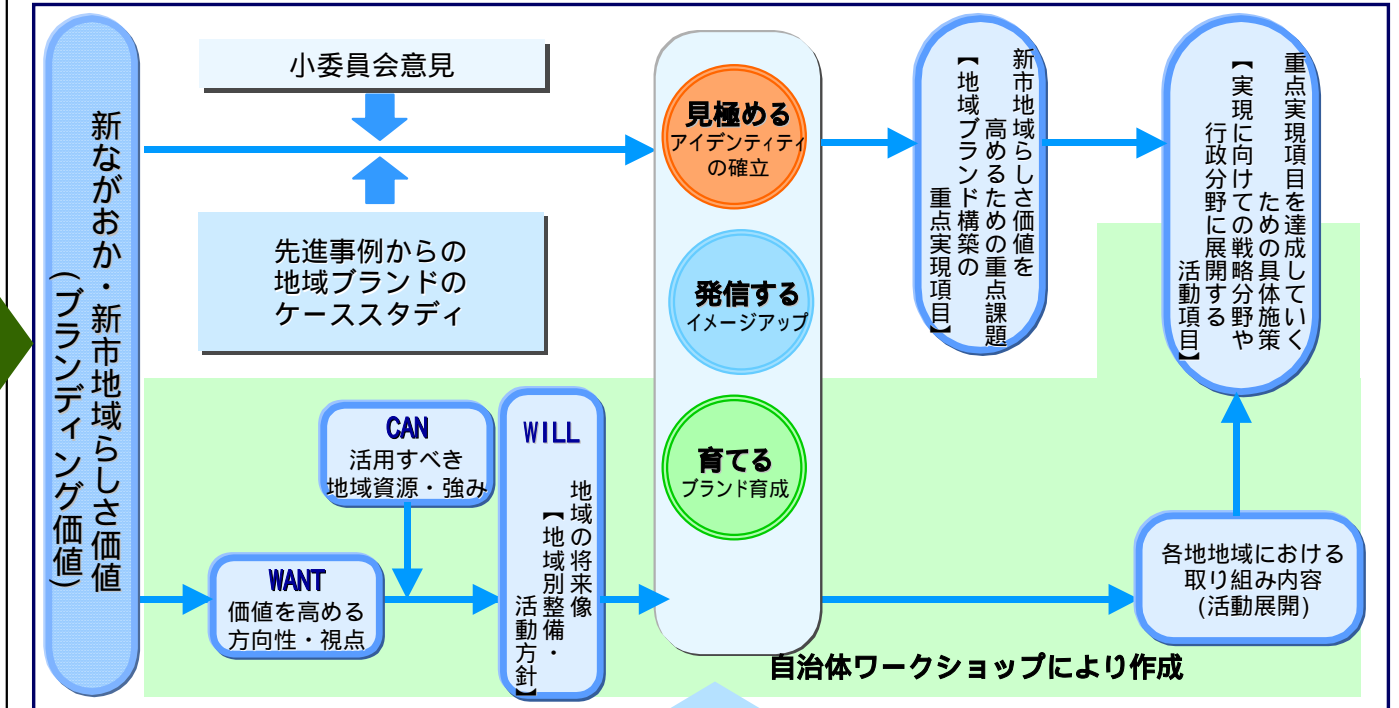
各地域の将来像と取り組み内容の検討方法はこれまでのセクションで検討してきた方法を用いて検討します。



次に参加自治体のプレーストーミングにより、それぞれの自治体が連携できること、あるいは新市全体に広げていきたい活動等を検討し、新市地域らしさ価値を高めるための取り組み内容をまとめました。(重点課題と活動展開)

取り組み内容の検討は、全過程にわたって参加自治体担当者による自治体ワークショップによって検討を行いました。

検討全体の流れは、この図のようになります。



神戸市

「神戸 = ファッション都市」

青山アンテナショップで神戸ブランドの靴を販売 医療福祉都市のブランドイメージ確立を推進中



神戸ものづくりセンター「神戸靴」

札幌市

「さっぽろ = IT都市」 (イット)

IT都市の新しいブランドに確立 IT化による大幅な行政改革を推進中



「札幌市IT経営戦略」愛称

湯布院町

「湯布院 = 温泉の町」

全国的に認知が高く、人気のある観光地 住民が誇りを持てるまちづくりを推進中



「湯布院映画祭」パンフレット

岩手県

「物産ブランド構築 = いわてブランド」

県のイメージアップ戦略を推進中 物産ブランドの構築を推進中



岩手県観光シンボルマーク

先行事例からの視点(キーワード)を整理

一貫したアイデンティティの発信 (アイデンティティ確立)

- コアとなる地域資源、都市(地域)の強みを生かす
- 都市(地域)の歴史・文化的背景を大切にストーリー性の高さ
- 住民が誇りを持つ価値の掘り起こしと差別化

多様な分野を束ねる統一コンセプト (一貫性)

- 都市(地域)レベルでのコーポレートブランドの実現(多様な産業への波及効果)
- ヒト・モノ・コトの多様な分野を束ねたコミュニケーション
- 行政・民間企業・住民全領域で支持されるアイデンティティの確立

多様なアイデンティティ発信の機会 (情報発信機会の多様性)

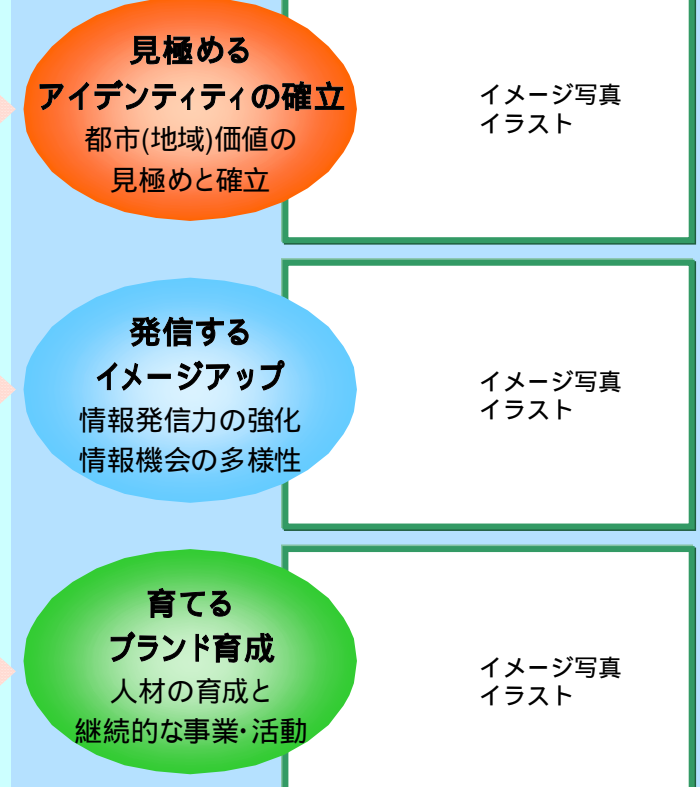
- 都市(地域)の顧客(企業・観光客・通勤通学者等々)、ターゲットにあわせた情報接点
- 直に触れることのできるアンテナショップ機能
- 他地域との連携を含めた情報発信力の強化

ブランドを育てる機能 (育成)

- 価値観の共有化と協働が育てる信頼と愛着
- 開発、育成、生産、流通、販売の各分野を支援する場
- ブランド強化(イメージアップ)につながる新しい芽を育てる機能

継続的な事業・活動 (事業活動の継続性)

- 民間主導の強いリーダーシップを育てる土壌
- 継続的にCS(住民(来訪者)満足度)を評価する体制
- 都市(地域)の住みやすさが地域の価値



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための長岡地域の方針と活動

長岡地域

長岡地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述

WANT 新市全体のありたい姿

長岡地域において

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・人・モノ・情報が集積するように都市の空間、機能、仕組みを進化させていく
- ・発想をものづくりに転換する技術、起業・創業を生み出すための市場形成など、独創企業の生育機能を強化する

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

ものづくりの優位性
機械・金属・電気・鉄鋼・精密機器など高度な技術を有する多様な分野の企業がバランス良く集積。研究支援機関や技術・デザインに関する特色ある大学、専門的な教育機関などが多数立地。交通の要衝・拠点。情報通信基盤

- ・ものづくりに関する技術がワンセットで提供できる集積地
- ・世界的な技術を有する企業も多く、国内外への情報発信力を持つ
- ・実践力のある専門人材の育成が可能（大学発ベンチャーなど）
- ・産学官の連携体制が充実
- ・首都圏等へのアクセスも含め中心部ならではのビジネス環境を提供できる

産業・生活スタイルの多様性
流通・販売・サービスなど多分野産業の集積。都市的生活スタイル。自然や伝統とふれあえる

- ・独創的な発想の源となる異文化・異業種の交流・集積地である
- ・人口集積を背景に、ものづくり以外にも新たな起業を創造するための市場が形成されている

WILL 実現すべき長岡の姿

世界のモデルとなる独創企業生育拠点への挑戦

- ・ものづくりの確かな技術と人、モノ、情報の集積を強化し、世界に広がる夢を現実に変える都市(空間、機能、仕組み)の創造

実現していくための活動・展開

見極める ものづくりや起業を支える産学官の連携を含む新たな地域社会ネットワークづくりやビジネス環境の整備

- ・先行的な事業ニーズ、シーズの把握に向けての情報収集・情報交換活動の実践
- ・地域内・外、技と技、技と販売等の多様な交流機会をコーディネートする仕組みづくり
- ・知的インフラ整備等のビジネス環境づくり
- ・創造的なインキュベーション及び革新的企業経営が促進される弾力的な地域環境づくり

発信する 地元企業(製造業等)の技術力を国内外へPRする見本市等の多角的な情報発信を強化

- ドイツのマイスター制度*1を発展させた職人・技術者集団による夢のあるものづくりの実現と発信
- 21世紀COE*2 長岡技科大プロジェクトと連携するなどゼロエミッション(廃棄物ゼロ) 新エネルギー活用等自然と共生する環境循環型企業の支援と発信

育てる オンリーワン・ニッチトップ*3 企業を促進する経営、技術、法務等、産業支援機能を強化・高度化

- 産学協働で取り組む異業種交流の次世代に向けた促進プログラムの開発
- 世界的視野に立った理数系、技術系に照準を合わせた実践的教育の取り組み
- 職人や技術者、企業家等、産業界の人材が学校教育から生涯教育まで様々な教育活動に参加する仕組みづくり

*1 マイスター制度 : 職人の技能・理論を実践と教育で培う制度
 *2 21世紀COE : 世界最高水準の大学づくりに向けた、研究教育拠点の形成を支援する事業(文部科学省)
 *3 オンリーワン企業 : 他に真似のできない独自の優れた技術を持つ企業
 ニッチトップ企業 : 製造業を中心とした特定の製品分野において、全国で高いシェアを獲得している企業

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

WANT 新市全体のありたい姿

長岡地域において

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性・視点

- 地域の食の最前線として安全性・品質・量に関わる生産体制に裏付けられた食への誇りを持つ農産加工品の開発
- 地域農産物を活用した食の安定供給による市場開拓と消費の拡大
- 全国への情報発信など、食に関するあらゆる分野の展開を可能とする地区として、地域の食全般を支える

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

生産と加工技術の発信
農業総合研究所・農業技術学院、内水面水産試験場
・全国レベルの研究所と指導者養成機関が立地
郷土料理、和菓子、酒・醤油等
・伝統的な食の技術が継承
ながおか米
・コシヒカリ発祥の地としての誇り、信頼された農産物の安定した供給量

市場開拓力、販売力
多様な飲食施設と活気ある市場の集積
・飲食街やロードサイド型レストラン、さらにコンベンションの充実により、食の施設とサービスが多様
豊富な消費人口と多様な食の生活スタイル
・豊富な消費者により、新たな食のビジネスを生み出す多様なニーズが潜在
長岡野菜
・伝統野菜の全国ブランド化への取り組み

県内外の来訪者の拠点
地域の玄関口として地域外からの来訪者の滞在の中心地
・来訪者が地域の食を楽しむ機会を数多く提供

WILL 実現すべき長岡の姿

日本の食文化の誇りを育て、
伝統を活かした「新ながおかブランド」の食の拠点として
全国へ展開

・たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆる食の先進モデル地

実現していくための活動・展開

見極める 研究に裏付けされた技術力の普及と生産履歴の明確化による消費者への信頼性の向上
長岡発信の超高压処理技術等の先端工業技術の活用などによる新しい安全安心の食品加工・開発の強化
長岡米や長岡野菜を使った長岡でしか味わえない新しい名物郷土料理・特産品の開発と販売力の強化

発信する 健康食品産業や外食チェーン等とタイアップしたブランド品の普及、促進
美しい農村地域と一体となった酒や農産物のブランド開発と発信

育てる 中山間地域をはじめ、地域の環境、活力を守り支えるための「農業地域再生」を目指す取り組みの実現
研究機関・大学と連携したバイオテクノロジー等新技術の活用による高付加価値の農産加工業の育成
環境配慮・地域循環型の生産・消費・生活の推進
農業体験等により農業の役割を理解し、環境の保全を促す心を育成
将来の農業を担う人材育成と人材確保

WANT 新市全体のありたい姿

長岡地域において

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- 市民力によるまちづくりを促進・確立することで、市民自らまちをつくりあげる力があることを地域内外へ示す。
- 市民自ら安住都市づくりを推進する力を育成する
- 都市の斬新な空間・機能の構築により、時代の変化に対応した新たな発想・活力を創造する

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

市民力
米百俵の精神、互尊文庫、悠久山、多様なNPOやボランティア活動
・市民の自立と進取の精神が、まちづくりで実践されている

基本的な都市機能の充実
医療福祉、教育施設、商業機能、子育て機能、男女共同参画
・基本的な都市機能の充実により、快適な日常生活と多様な分野の活動が行える基盤がある

WILL 実現すべき長岡の姿

「市民の想いが、まちをつくる」
市民とまちが一体化する安住都市への歩み

・歴史と伝統に育まれた「市民力」を活かした、あらゆる世代の想いや願いが叶う、新しい都市・生活環境の創造

実現していくための活動・展開

見極める 市民の声や想いを集める仕組みや地域社会等の情報収集・情報交換の仕組みを確立
市民の提案や社会ニーズを施策へ反映、展開が可能な仕組みづくりを推進
都市の魅力向上・交流機会拡大による若者の活力が集まるまちづくりの実践

発信する 医療・福祉・教育など多様な分野ですべての世代が活発に交流できるコミュニティの形成
NPO・ボランティアを活用した福祉の拡充による「寝たきりゼロ」への挑戦
子どもたちの豊かな才能や発想を社会に反映させる仕組みづくり
子育て・教育環境日本一のまちづくり

育てる 自然体験や人との交流を通して豊かな心と強い精神を持つ子どもが育つ環境づくりを推進
スクールカウンセラー等の充実などによる心の安定や感性の豊かな子供の能力を育む環境づくりを推進
子供たちの才能を早期に発見し、地域一体となって伸ばす地域独自のカリキュラムづくりを充実
専門的な職業経験を生かせるボランティア・NPO活動やコミュニティビジネスの場の創出

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

WANT 新市全体のありたい姿

CAN 活用したい地域資源

長岡地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市
- 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか -

を高める方向性・視点

- ・国内外と地域をつなぐ交流の駅であり、各地域の交流目的を支援する機能だけでなく、もてなしによる心の交流を実践し、地域イメージの向上に寄与する
- ・交流の結果として、国際協力・国際貢献へと進展し、世界が共感する活動を発信する地となる

資源の強み・内容

- 交通の要衝・拠点**
上越新幹線、関越・北陸自動車道、国道 8 号長岡バイパス、国道 17 号長岡東バイパス
・高速交通体系の拠点として、県内外への窓口となっている
- 国際交流**
姉妹都市
米、フォートワース市
・幅広い国際交流の歴史と実績がある
- 友好都市
独、バンベルグ市、トリアー市
・世界から長岡に学ぶ留学生は約 280 名で、小中への派遣等も実施
- 交流資源と受け入れ機能**
多様な観光資源。四季折々のまつり。コンベンション。機能宿泊機能
・観光、ビジネスの両面で、年間を通じた来訪目的が存在し、それを受け入れる機能も存在している

WILL 実現すべき長岡の姿

地域と世界を和らぎで結び、
人々の心に残る世界都市への
挑戦

- ・世界をもてなし和らぎのこころを育み、新たな交流の価値を発信する拠点となる

実現していくための活動・展開

見極める

新ながおかの交流拠点としての先進的都市機能の充実や「和らぎ交流」を支えるもてなしの基盤や体制の充実
国際規模の見本市の開催等が可能なコンベンション機能が充実したまちづくり
既存の観光分野にとらわれない、ビジネス面等での新たな交流メニューの開発、もてなし交流機会づくり(長岡人の営み(産業・生活)を交流資源とする取り組み)(田植え、稲刈り、食・・・)
地域の資源や歴史を再発見する「地元学」による新たな交流価値の発見

発信する

国際交流・国際貢献を通じて世界平和に役立つ交流の推進とメッセージの発信
米百俵、花火、・・・様々な歴史、文化資源にみる「長岡の心」の魅力を世界に発信

育てる

長岡の資源を活かした新たな観光ブランドの創出
再び訪れたいまちとしての魅力を高めるため
地域一体となった「もてなし」向上のためのプログラムの開発と実施
若者を惹きつける魅力的な都市文化の再構築

もっと詳しく地域の力

長岡地域

地域資源を詳しく説明するページ

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

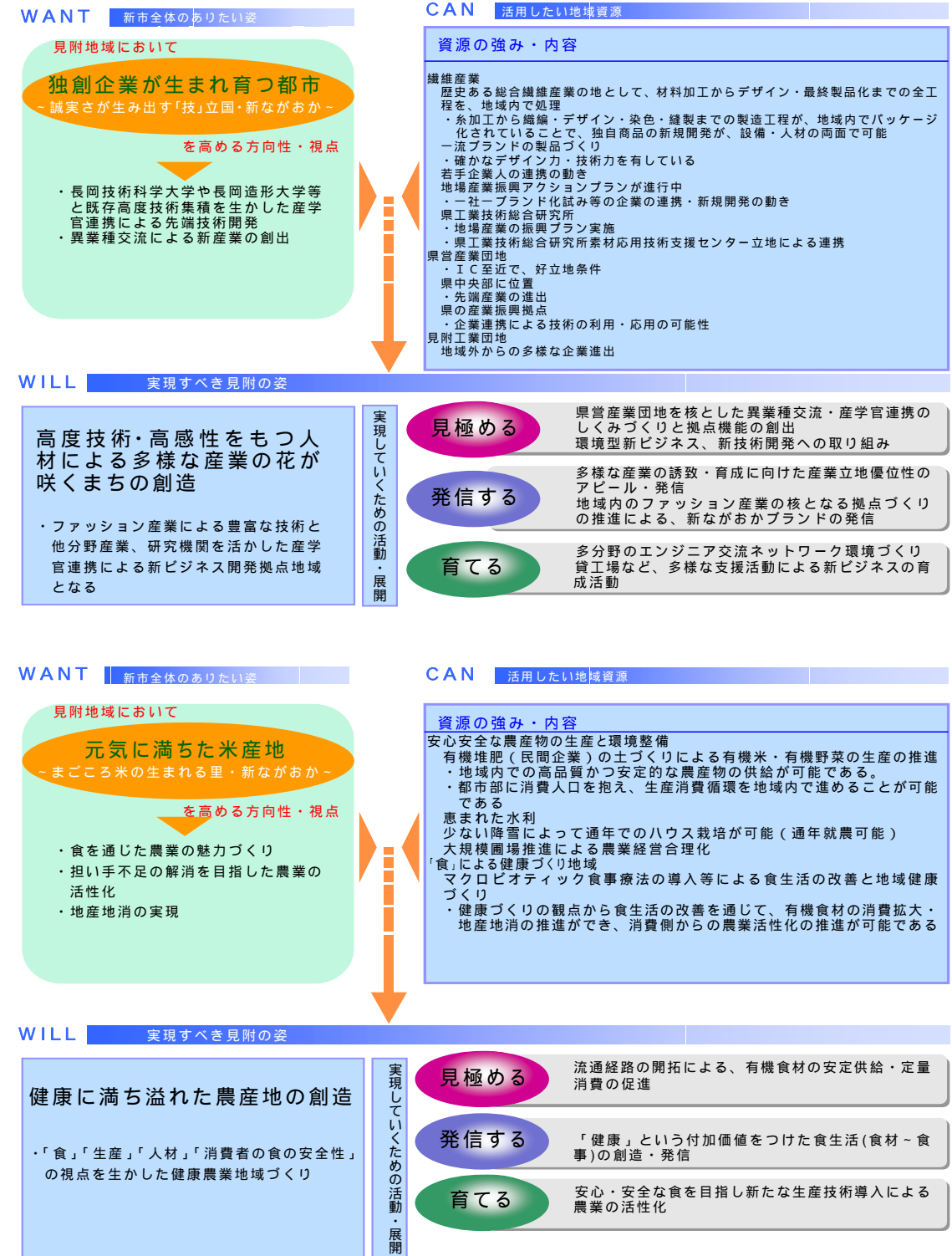
基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための見附地域の方針と活動

見附地域

見附地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書.

WANT 新市全体のありたい姿

見附地域において

世代がつながる安住都市

～ 未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・予防医療による元気なお年寄り社会
- ・子育てや教育にとつての「おじいちゃん」「おばあちゃん」の役割の重要性

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

いきいき健康づくり推進
筑波大学の指導に基づく個別プログラムによる科学トレーニングの実施
・高齢者の体力年齢が10歳若返る実績あり、指導員体制などのノウハウが確立して、寝たきりの防止や病気の予防に効果を発揮している
「マクロビオティック食事療法」の考え方の導入等生活改善の地域づくり
・地域で取れる野菜を使うなどの自然食を基本とした健康食事療法で、地産地消とも運動している

医療・福祉の里
市立成人病センター病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、保健福祉センター等の立地(14000坪)
・全ての施設が市街地内にあり、利便性が良いだけでなく、施設が集積化しており、世代間交流が可能な配置となっている
わくわく見附アクションプラン
・子供たちの自主性を尊重するプログラムの実施
世代間交流公園(花・花ランド)の活動
・世代間交流を行いながら緑化・美化を進める「快適空間づくり事業」実施

WILL 実現すべき見附の姿

健康長寿日本一への挑戦と世代間交流先進地域の創造

- ・元気なお年寄りが若者と共々いきいきと暮らせる地域の創造
- ・お年寄りの経験が伝承できるまちの創造

実現していくための活動・展開

見極める

科学的トレーニング・食事法を活用したすべての世代をつなぐ健康づくりによる、まちの活力向上への展開

発信する

医療・福祉・教育施設の融合による、新たな交流モデルの創出・発信

育てる

子ども達の活動へ高齢者資源(高齢者の持っている豊かな技術・経験・知恵など)を活用することによる、元気なまちづくりの推進
地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域社会教育の推進・強化

WANT 新市全体のありたい姿

見附地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～ 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・ホームステイ事業のノウハウを活用した民泊の推進
- ・産業面や文化面等の多分野を通じた幅広い交流活動展開の可能性
- ・特に国際交流(受け入れ)のチャンネルの活用が期待できる

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

果の重心地
・県内偏りなく、集まることができる地域
中之島・見附IC
・交通の利便性が高い
国際交流(早稲田・オレゴンプログラム)
早稲田大学による留学生のホームステイ事業。“地方都市体験”部門を見附で実施。年間15～20人程度の受け入れ実績
・完全ボランティアで実施されており、後の市民交流も盛ん。まとまった人数の受け入れ体制のとれる都市が少ない。ノウハウが確立している

ネットまつり
春秋年2回開催の産業まつり。ブランドラベルの付かない製品を超低価格で提供。10年以上の実績
・毎回県内外からお客を集めている。人気が高く、常設希望が多い

大鳳合戦
350年以上の伝統と歴史のある行事
・日本中の鳳仲間が集うまつり。越後六角会などヨーロッパに出でる活動、早稲田大学の参加など交流のチャンネルが広い

WILL 実現すべき見附の姿

「新ながおか・北の玄関口」として産業と伝統の環で結ぶ交流拠点の創造

- ・他地域の資源と連携した広域観光ネットワーク
- ・これまでの交流実績を活用した和らぎ交流の実践地域

実現していくための活動・展開

見極める

ホームステイのノウハウを活用した、市民レベルでの国際交流促進

発信する

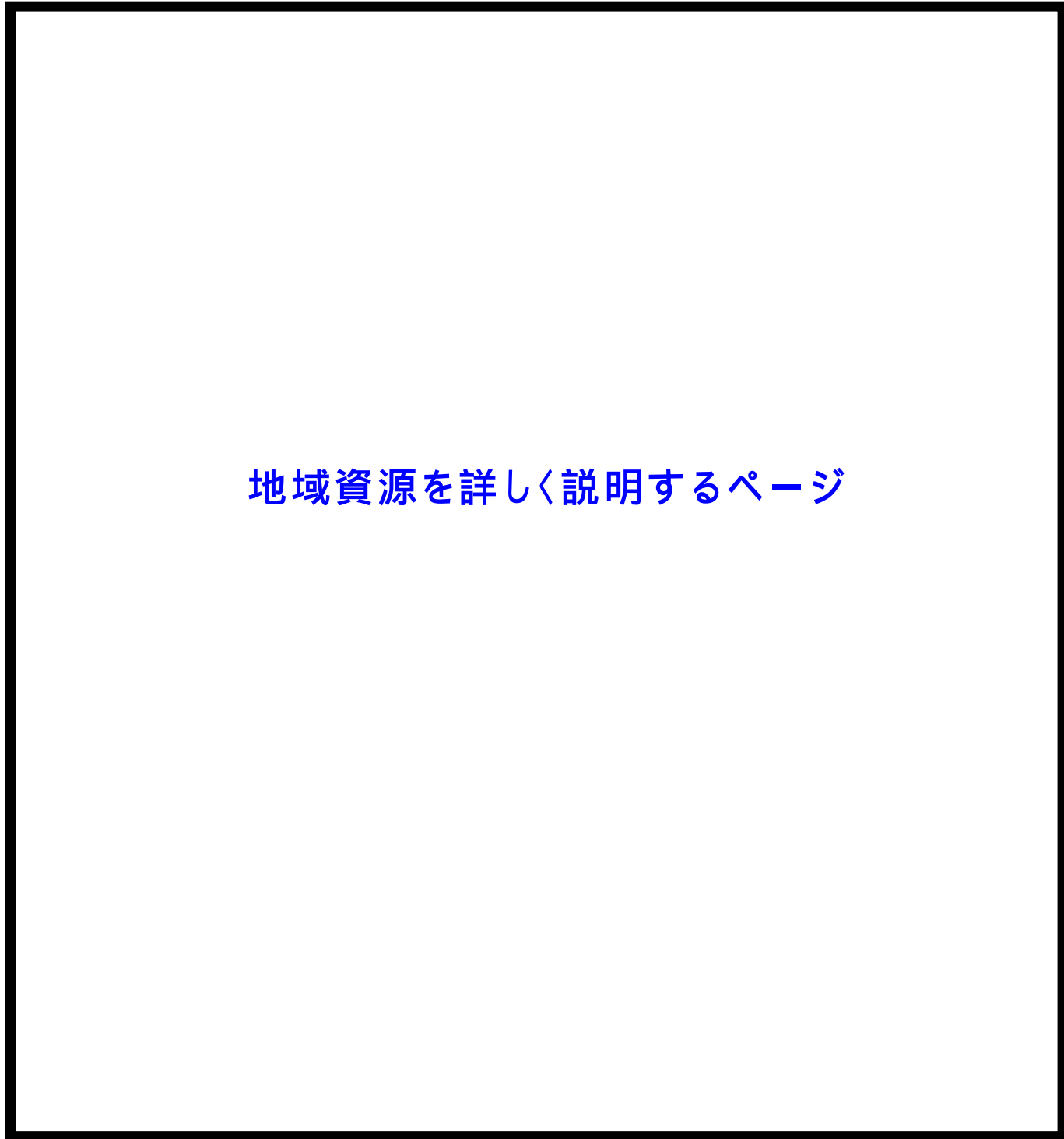
ファッション産業を軸にした、新ながおかの産業観光*の拠点としての機能強化・発信
*産業観光：これまでの観光資源とは異なり、様々な産業を観光面での切り口として開発

育てる

新ながおかを訪れる人々が魅力を感じる特産品(産業観光の視点を重視)を提供していく体制と拠点づくり

もっと詳しく地域の力

見附地域



地域資源を詳しく説明するページ

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための栃尾地域の方針と活動

栃尾地域

栃尾地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述

WANT 新市全体のありたい姿

栃尾地域において

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性・視点

- 繊維産業アクションプラン（製造～販売力強化）の具現化と、県工業技術総合研究所素材応用技術支援センター、（財）にいがた産業創造機構、長岡造形大学等との連携による、新素材、新技術の開発及びデザイン力向上等を推進することで、確かな伝統技術に支えられた新産業を創出していく

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

繊維産業と熟練技術

- 産地として培われてきた染め織りの技術があるとともに、ガラス繊維による耐火服・飛行機の構造材・マルチメディア用素材など、新技術・新素材への展開がされている

きれいな水と空気

- きれいな水と澄んだ空気、自然豊かで静かな環境を求める研究機関の進出が見られる

繊維技術習得の場

- 栃尾高校での繊維関連カリキュラムが継続されており、地域内での人材育成の基礎がある

WILL 実現すべき栃尾の姿

繊維産業を核とし、
素材からこだわる多分野の
栃尾ブランドづくり

・繊維工業技術の幅広い活用と、きれいな水と空気を活かした新世代産業の創出地となる

実現していくための活動・展開

- 見極める** 繊維産業の製造から販売力強化への取り組みによる産業振興
研究機関と連動した、新素材・新技術の開発とデザイン力の向上
- 発信する** 広域的なアンテナショップの展開
開発・研究に適した立地環境のPR促進活動
- 育てる** 地域内の高校での繊維関連カリキュラムの継続による、技術者の育成

WANT 新市全体のありたい姿

栃尾地域において

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性・視点

- 地域産原料の利用による、既存特産品の更なる品質向上と、自然イメージの素材活用による新たな食づくりの展開

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

物語のある特産品

- あぶらげ、もち（梅三郎、ほか）
- 全国的に知名度の高い『あぶらげ』
- 究極の味としてメディアに取り上げられた『もち』など、地域の食文化を発信する素材がある

源流が育む産物

- 名水、とちお米、酒
- 自然資源である『源流』のイメージを活用した、存在感のある水・酒・米がある

農業の新たな試み

- 有機肥料づくり
- おからを使った有機肥料づくりを展開。イメージがよく、ガーデニング等からのニーズが高い

WILL 実現すべき栃尾の姿

自然に培われた確かな素材
による、『新ながおか名物』
を生み発信する

・自然を生かした新たな「食」をつくり広げる地域となる

実現していくための活動・展開

- 見極める** 新ながおか産大豆を用いた、地場産あぶらげづくり
源流の里のきれいな水からつくる、食味の良い「とちお米」づくり
- 発信する** 地域内拠点活用による「とちお野菜」の販売ネットワーク強化
アンテナショップ展開による「とちお食材」のPR強化
- 育てる** あぶらげ料理コンテスト等の促進による、新たな食文化の育成
専門研究機関と連携した、既存特産品（あぶらげ、酒、米）のさらなる品質追求

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

もっと詳しく地域の力

栃尾地域

地域資源を詳しく説明するページ

WANT 新市全体のありたい姿

栃尾地域において

世代がつながる安住都市

～ 未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・まち並みや自然・伝統・地域コミュニティを守り続けることで、人に優しい世代間交流が続く安らぎ空間を育む

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

- 雁木のまち並みと雄大な自然
- ・ふるさとを強烈に印象づける、人に優しい雁木のまち並みと、自然(守門岳・源流)がある
- 教育と町内コミュニティ
- ・子供自身の興味・動機を大切に、総合学習への取り組みと、地域コミュニティ支援の継続
 - ・武道、スポーツ、芸術文化を、大人たちが子供に伝える地域性を有する。
 - ・まちづくりへの市民参加が根強い
- 住民の強いつながり
- ・区長制度により培われてきた、地域住民の一体感

WILL 実現すべき栃尾の姿

活発な町内コミュニティと「互いを思いやる心」を伝え、元気でやさしい人を育む地域

- ・まつりや交流を通じた地域コミュニティを守りつづけ、伝統・文化・人情を大切に思う未来人を育てる

実現していくための活動・展開

- 見極める** 古くから地域に伝わる神楽舞など伝統芸能の継承、武道・スポーツ指導を通じた世代間交流の推進
- 発信する** 城山・秋葉公園・雁木通りを楽しんで歩ける地域ぐるみの「謙信の里」づくりとPR
- 育てる** 地域の人々が寄り集まる「よったかり」の場づくりと、地域住民の一体感醸成

WANT 新市全体のありたい姿

栃尾地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～ 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・地域のPR強化、市民ネットワークの広がりにより、観光産業の発展を実現する

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

- 豊富な観光資源
- 道の駅、謙信の里、道院高原、社々の森、守門岳、まつり・イベント**
- ・自然・歴史・文化に特化した、観光資源、固有のまつりが集積しており、幅広い層にアピールできる伝統的観光地としての発展が可能
- 住民ネットワーク
- フォーラム21、観光ボランティアガイド**
- ・まちづくり・イベント等を市民レベルで具現化するネットワークを有しており、市民の手によるあたたかな交流ができる
- 交流拠点
- 道の駅、栃尾ふるさと交流会館**
- ・100人規模の子供たちの滞在の場、街道まつり等の広域イベント拠点があり、更なる交流機会の拡大が可能
- 観光産業の芽**
- ・炭工房・竹細工・特産品づくり等、観光産業に新たな魅力を付加する起業が成長しつつある

WILL 実現すべき栃尾の姿

「来て・観て・食べて」楽しいテーマ型観光の拠点を育てる

- ・固有の資源と住民ネットワークを活用した新ながおかの観光・交流拠点となる

- 見極める** 自然・文化(歴史・食など)資源を結び、わかりやすい観光ルート(ストーリー)づくりと、案内機能の強化観光拠点を活用した体験型メニュー(イベント等)の開発
- 発信する** 地域で受け継がれる伝統芸能(神楽舞・広大寺踊り)の集中公演の開催による地域魅力の発信
- 育てる** 観光ボランティアガイドの養成既存ルートを活用した、地域外(他県等)交流の促進

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための中之島地域の方針と活動

中之島地域

中之島地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

WANT 新市全体のありたい姿

中之島地域において

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・世帯員数が多く、高齢者単身世帯が少ないことのアピール
- ・多くのボランティアなど、地域コミュニティの中で家族の基本形をつくりつづけ、家族・地域のつながりを強くしていく

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

同居世帯の多いまち
世帯員数 4.16 人。高齢者単身世帯率が県下最下位
・高齢者同居世帯が多く、家を中心に世代間交流があり、いたわりと尊敬心を醸成している

保育所と高齢者交流
子育て支援
・保育所と高齢者施設が併設されており、世代間交流により思いやりの心が常日頃より養われている

高齢者支援（生きがい健康づくり運動）
・多くのボランティアによる子育てから高齢者に対する地域一体型の福祉活動を推進

住民力
花の道づくりボランティア活動。つくろう塾
・「つくろう塾」など業種や地域を越えての花の道など環境保全・美化活動に取り組んでおり、強い連帯力による地域コミュニティ形成が可能

小学校の学校田
アイガモ農法
・つくる喜びや愛護心の醸成などに多くの農家のボランティアによって行なわれており、地域愛が強い

WILL 実現すべき中之島の姿

家族・地域が一体となって、子育てを応援する安心のまち

・家族・地域の人とのつながりを大切にしながら更なる安らぎ住まいと子どもを育む地域づくりを推進

実現していくための活動・展開

見極める 多様な住民組織とネットワークを活用した、参画と協働のまちづくりと生活支援の仕組みづくり
総合子育て支援センター、育児ボランティアを活用した地域ぐるみの子育て支援の仕組みづくり

発信する 家族・地域のつながりのモデル地域としての活動と誇りの発信

育てる 全ての世代交流、生活支援の仕組みを支える地域ボランティアの継続的な育成活動

WANT 新市全体のありたい姿

中之島地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・地域内連携による交流促進

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

偉大な先人達と史跡
大竹貴一。義民与茂七
・農民の悲願の治水事業により見事な美田を作り上げるなど多くの偉業を残した人の歴史(生家跡・記念館)がある

風合戦などの伝統文化
350 年余の歴史。神楽舞
・受継いだ歴史・文化を守りながら、途絶えた稚児舞を復活させるなど強い連帯感により後世へつなげる伝統文化の保存を進めている

食の交流
大口れんこん。ジャンボおにぎり
・米に代表される農産物、数多くのれんこん料理によるもてなしと、加工品による食を通じた新たな交流発信が可能となる

高速道とIC
・高速交通体系とアクセスのよさ

まつり
地区の春・秋まつり
・地域で培ってきた祭りは独特のものがあり、中でも灯笼押合いやお神輿巡行などは地域住民で守りつづけている

稲島稲荷
稲島講
・荷売繁盛の神様として県内外からの参拝者が多く、かたまちはご利益にあずかろうと大人気

WILL 実現すべき中之島の姿

新ながおかをつなぐ
広域交流発信地域の形成

・交通利便性を活用し、他地域の観光資源との連携化を図り、広域交流の一翼を担う地域づくり

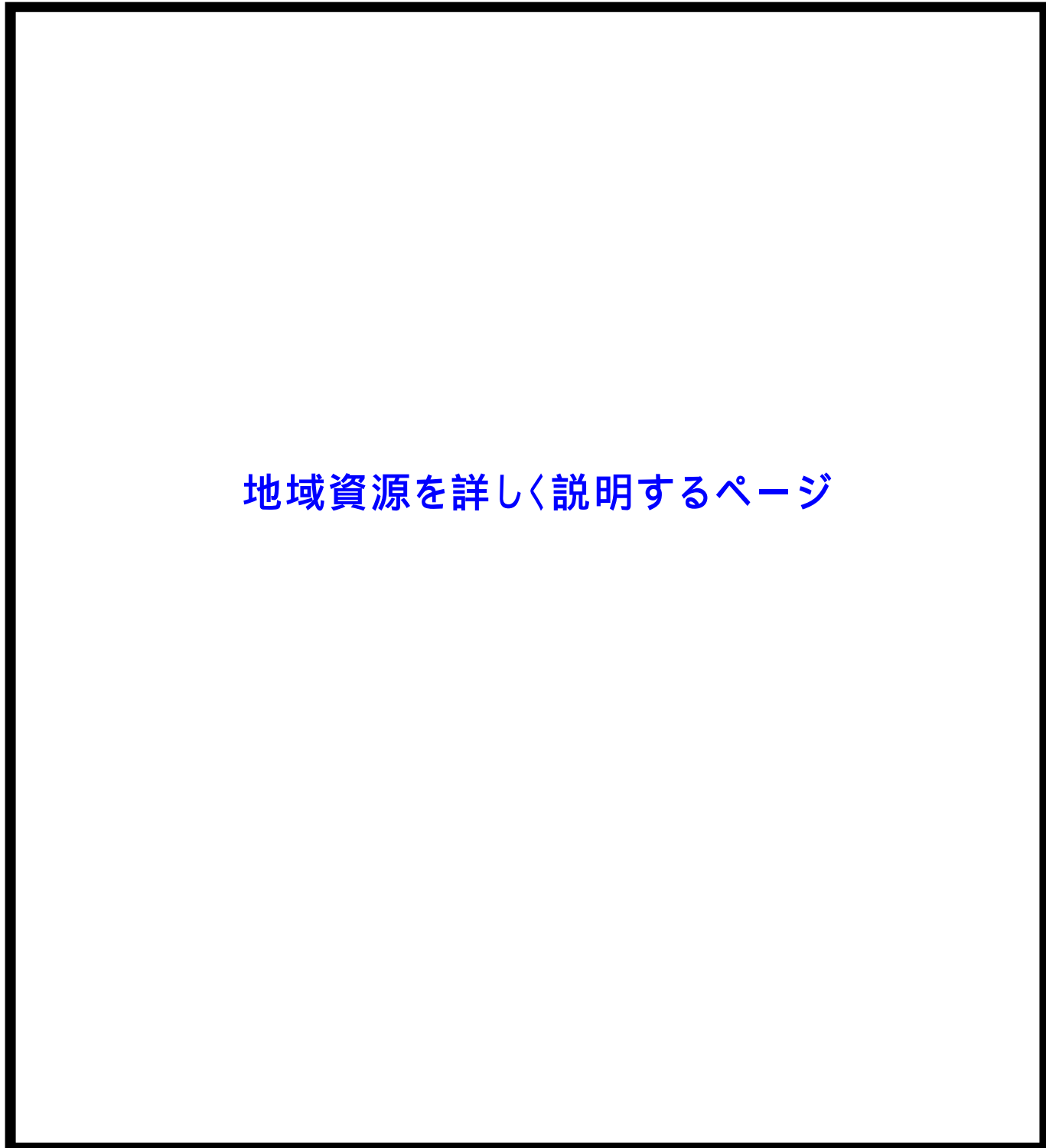
実現していくための活動・展開

見極める 多彩な農産物による「食」やミニ農園から生まれる「農交流」など、「食と農」を基本とした交流の創造

発信する 食と伝統芸能のイベントの企画と発信

育てる 「食」による「おもてなし」交流を促進する、住民パワーの育成と体制づくり。

もっと詳しく地域の力 中之島地域



地域資源を詳しく説明するページ

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

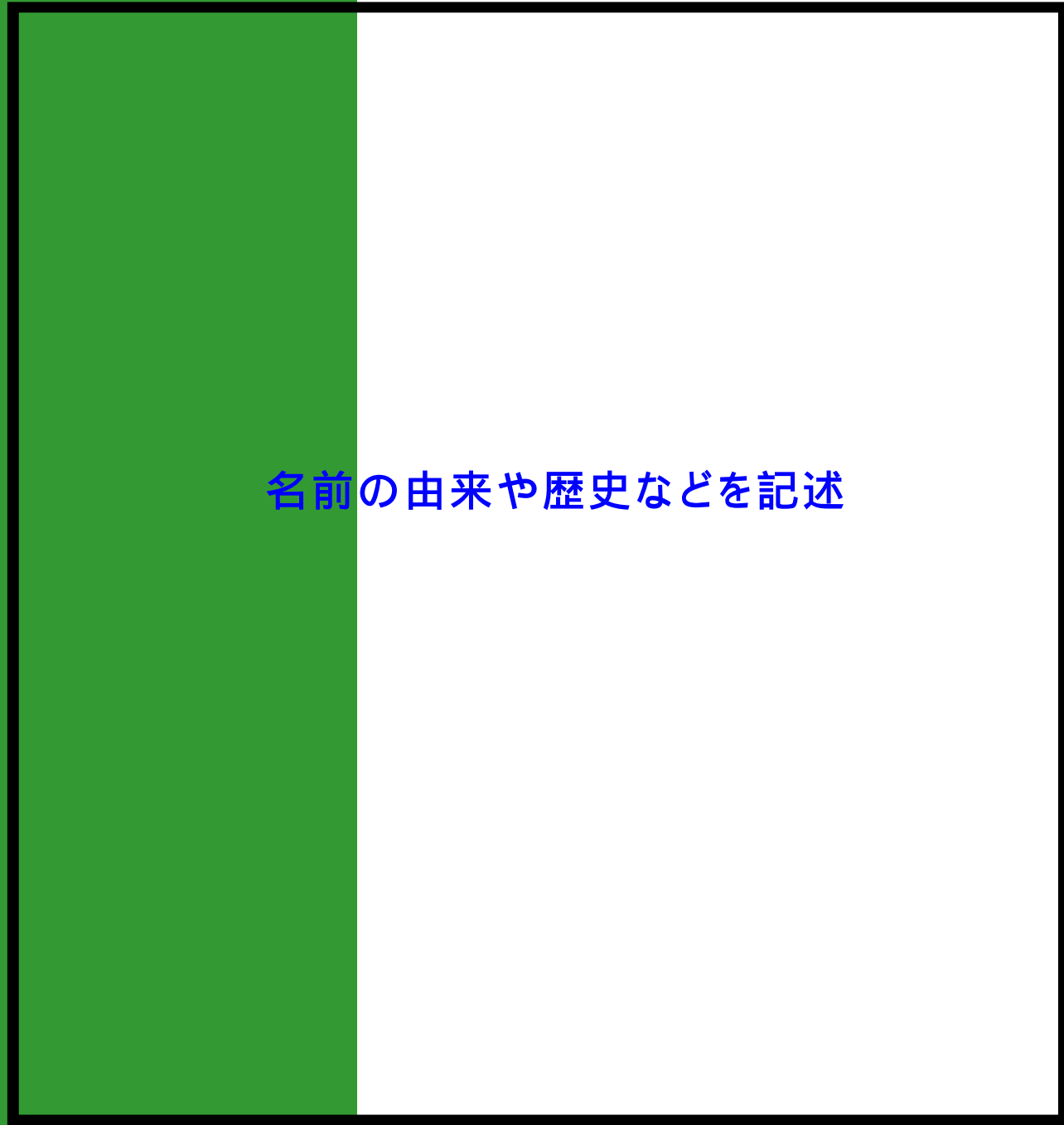
新市将来構想書

基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための越路地域の方針と活動

越路地域

越路地域はこんなところ



名前の由来や歴史などを記述

WANT 新市全体のありたい姿

越路地域において

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・環境と共生する産業の様々なあり方の模索
- ・エネルギー産業の立地の可能性。
- ・天然ガス自動車の普及などの社会変化

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

国内一流製造業の立地

- 「米菓」 1947年創業、国内2番目の米菓出荷量
- ・人気商品の米菓を全国販売。できたての味を追求し、高品質・鮮度第一主義による独自出荷方式採用
- 「酒造」 天保元年(1830年)からの創業で関東信越国税局管内一の出荷量
- ・全国ブランドの日本酒を製造。おいしい恵みの水と土づくりから始まる高品質の酒米(原料)づくり、環境保護活動への積極的参加、酒づくり
- 「スポーツ用品製造」テニス、バドミントン、ゴルフ、スノーボードなど多岐にわたる
- ・世界的に有名なスポーツ用品メーカー。常に新製品開発で世界をリード

ガス田

- 天然ガスの供給をパイプラインにより県内及び首都圏まで行っている
- ・国内最大級の天然ガス埋蔵量。石油に比べCO2排出量及び窒素酸化物の少ないクリーンエネルギー。天然ガスを利用したコージェネレーションシステム導入計画

WILL 実現すべき越路の姿

豊かな自然環境がつくる
21世紀のクリーンエネルギー
に育まれるまちの創造

- ・自然環境に育まれる地場産業の振興・支援
- ・天然ガスを活用したクリーンエネルギー産業の創出・育成

実現していくための活動・展開

- 見極める** 企業のクリーンエネルギー利用の推進
資源循環型社会を目指した住民・企業・行政が共同で取り組む環境にやさしい実践活動の充実・拡大
- 発信する** 自然環境保護活動・クリーンエネルギー導入促進による、クリーンなまちのイメージ発信
- 育てる** 天然ガス自動車普及などの新エネルギー導入に関わる啓発・教育活動の推進
企業による地域貢献活動と住民活動の一層の一体化に向けた啓発と活動の展開

WANT 新市全体のありたい姿

越路地域において

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・うまい米づくりに向けて生産技術の更なるチャレンジング
- ・生産者、消費者ともに元気の出る米作りの模索

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

こだわりの生産技術

- 有機堆肥による環境保全型土づくり
- ・売れる米を目指してきた地域、高付加価値米の生産地(スーパーコシヒカリ)
- 減農薬減化学肥料栽培
- ・新しい栽培技術の先行的な取り組み
- エコノスによるリモートセンシング(衛星を使った食味調査)
- ・農業技術者の技(人材と努力)
- ・たんばく質含有量調査によるうまい米づくり
- 単位収量の抑制
- ・適正数量によるおいしい米づくり
- 農業生産組織の先進性
- ・神谷生産組合、リバーサイド石津、ファームリンクルなどの生産組織企業化(製品化まで)
- 地域に合った生産体制
- ・充実した集落営農体制の確立
- 安心を支える環境
- ・豊かな水と自然環境、健康な土づくり

WILL 実現すべき越路の姿

最先端技術と確かな技が
生み出す元気のあふれる
米生産・技術導入拠点の創造

- ・安心、安全、おいしい米生産の追求に向けた新しい栽培技術導入への挑戦
- ・安心な米生産と環境一体化の模索

実現していくための活動・展開

- 見極める** 生産者と専門家、行政が連携することによる最先端栽培技術の開発・導入支援と普及活動の促進
生産者の顔が見える販売体制づくりと、需要安定を目指した契約栽培体制の確立
- 発信する** 確かな技術と、安全・安心の生産環境の発信
新潟の米を代表する新たなブランドの確立と、米関連食品のPR展開
- 育てる** 生産組織の法人化促進と、農業従事者の若がりによる元気な米づくり地域の創出

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

WANT 新市全体のありたい姿

越路地域において

世代がつながる安住都市

～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・あらゆる人々が尊重される社会の実現による人材育成、人間教育の重要性
- ・ノーマライゼーションの更なるチャレンジング

WILL 実現すべき越路の姿

豊かな自然環境に育まれた個性尊重による人づくり地域の形成と発信

- ・心豊かな子供を育て、すべての人々が支えあう地域の創造と発信

実現していくための活動・展開

見極める

自然・産業・地域コミュニティが融合した、住みやすさ日本一の地域づくり
高齢者・障害者と地域の人々の交流システムづくり

発信する

“ノーマライゼーション先進地域”としての、自然・生活環境、地域福祉活動の発信

育てる

すべての世代が自然と親しむ、グループ活動等の育成
国際交流促進による、子どもたちの国際感覚醸成

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

ホタルと自然環境

- ・沢すじにホタルの群生地
- ・ホタル群生地を各地域で保護活動
- ・学校ホタル部会の飼育・観察・発表
- ・充実した高齢者・障害者福祉施設
- ・高齢者だけでなく、身体障害者、知的障害者、精神障害者の施設整備が行なわれている
- ・特養：2箇所、ケアハウス：1箇所、身体障害者入所施設：2箇所、知的障害者通所施設：2箇所、知的障害者グループホーム：7箇所、高齢者デイサービス施設：3箇所、精神障害者支援施設：1箇所、精神障害者グループホーム：1箇所など、1つの自治体でグループホームが8施設あるのは、県内では越路町のみ
- ・整備済み生活インフラ
- ・全町ガス、水道、下水道が整備済み
- ・交通利便性
- ・長岡中心部への距離的・時間的な近さ
- ・中学生海外派遣事業
- ・作文で生徒がユネスコへ招待された

長谷川邸

- ・300年前の茅葺家屋。越後最古の民家。国指定重要文化財(556)
- ・三波春夫
- ・大正12年生まれの国民的歌手。ヒット曲多数。顕彰碑がある
- ・宝徳山稲荷大社
- ・縄文時代からの歴史を持つ朱塗り大殿堂。年間20万人が参拝。夜祭(大祭(ろうそく祭り)など多数の行事)
- ・もみじ園
- ・明治29年大地主高橋家の別荘として造られた。樹齢150年以上のもみじなどで秋に最高潮を迎える
- ・酒・酒造り
- ・全国的に有名な銘柄。工場見学
- ・ホタル
- ・沢すじに群生地。ホタル祭り、ホタルファンタジーなどがある。ホタルサミットによる交流活動もある

地球の歴史

- ・向斜軸(珍しい地層)と昔マンモスの足跡があり、隠れた資源となっている。
- ・田舎の伝統行事
- ・各集落のまつり、賽の神、神楽舞

見極める

観光スポットの魅力度向上にむけたコースづくりによる、新たな観光プログラムの創出

発信する

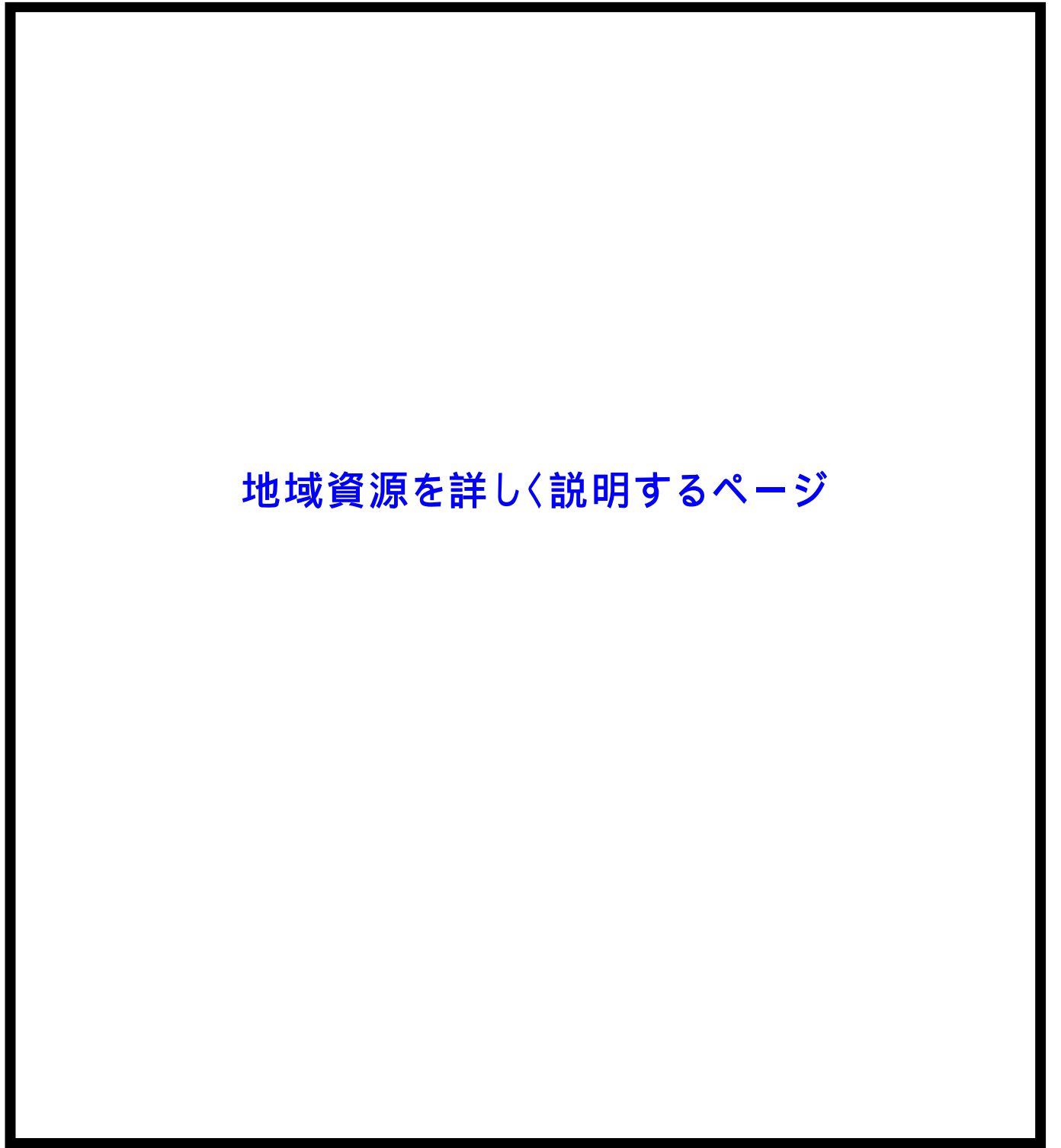
地域の資源を活用した、歴史探訪プログラムの開発・発信

育てる

地域文化・日本文化を伝える活動や家庭で外国人を受け入れる活動の推進によるもてなし地域づくり

もっと詳しく地域の力

越路地域



地域資源を詳しく説明するページ

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための三島地域の方針と活動

三島地域

三島地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

WANT 新市全体のありたい姿

三島地域において

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・自然空間と人とのつながりを大切に
する風土を生かし、住民主体のコミュニティ育成による快適・安心地域の創出

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

人・地域コミュニティ

- ・人に優しい気質と風土。コミュニティを大切にする住民意識。まちづくり、福祉ボランティア、地域に開かれた学校、ふるさと塾、グレードアッププロジェクト(小学校総合学習事業)
- ・ボランティアを中心とした地域間交流など、コミュニティ形成が活発であり、子育てママの集い、いきいき広場など幼児から高齢者にやさしい活動が根づいている
- ・学校も地域に開かれ、世代間交流の拠点となっており、新たなコミュニティ形成の可能性を有している

教育熱心な気質

- ・旧藤野町小学校は住民の熱意により昭和3年、村予算の3倍の経費をかけて立派な校舎(県内2番目のRC構造)を建設した歴史をもつ。今もこうした教育熱心な地域であり、地域や町を愛する人が多い

良好な住環境

- ・長岡駅、IC、海へのアクセス性。ゆとりの住宅地。身近な自然空間(里山・田園など)安心生活基盤。農村地区の工業団地
- ・優れた立地条件・地区計画等による良好な環境を備えた、ゆとりの住空間の提供が可能
- ・道路が整備され、安心して自然と触れあえる里山・家族で楽しめる公園などもあり、多様な生活環境の享受が可能。また、学校・病院・福祉施設がコンパクトなエリアに設置されており、地区リハビリ等地域コミュニティとあわせ家族の安心を高める地域としての可能性を有する(上下水道、都市ガスも整備済み)

WILL 実現すべき三島の姿

自然空間を生かし、
地域コミュニティを育む
生涯ゆとり実感都市

- ・自然と人、人と人が融合し、地域力を生かしたコミュニティ育成モデル地域となる

実現していくための活動・展開

見極める 全ての世代が快適に生活できるゆとりの住環境づくり
地域に開かれた学校を活用し、地域住民による教育環境づくり

発信する 住民主体による里山など身近な自然の保全とまちづくりの手法を活用した、生活の質を高める新たなスタイルの発信
自然空間と地域コミュニティを生かした、「子育て・福祉最適環境づくり」のモデル化と発信

育てる 世代間・地域間の交流(教育・福祉活動)を促進するコミュニティづくり
住民が主体となったまちづくりが実現できる、人材・組織育成システムの創出

WANT 新市全体のありたい姿

三島地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・体を動かし、楽しさ・明るさ・温かさを心で感じてもらう地域個性あふれるイベントを、新ながおかの交流資源に発展させ、交流による人材育成を推進する

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

アイデアと伝統の祭り・イベント

- ・西山連峰登山マラソン大会(めずらしい過酷な登山マラソン、参加者約500人)
- ・全日本丸太早切り選手権大会(三島町の特産品を活用した、ユニークなイベント)
- ・地域の環境や特産品を活用したテーマ性の高い新しいかたちのまつり
- ・イベントを地域住民・ボランティアで開催、盛り上げ継続していく地域力がある

各集落の伝統行事神楽舞、百八灯、賽の神など

- ・伝統行事については各集落で伝承されるとともに神楽舞等は新ながおかの各地で連携することで子どもから高齢者の交流、地域外へのアピールも可能となる

人・まちづくり団体

- ・三島町ふるさと塾、和創良酒の会。地域福祉会などのボランティア団体
- ・スポーツ・文化団体
- ・まちづくり活動を住民ベースで行っている『ふるさと塾』では、まちづくりやイベント開催に対応した人のネットワークを有しており、和創良酒の会をはじめとする交流人材の核となっている。スポーツや文化を通じた交流が盛んな地域である

WILL 実現すべき三島の姿

アイデアと人の和でつくる
新ながおかの独創イベント
発信地

- ・住民力を生かした交流人材育成地域となる

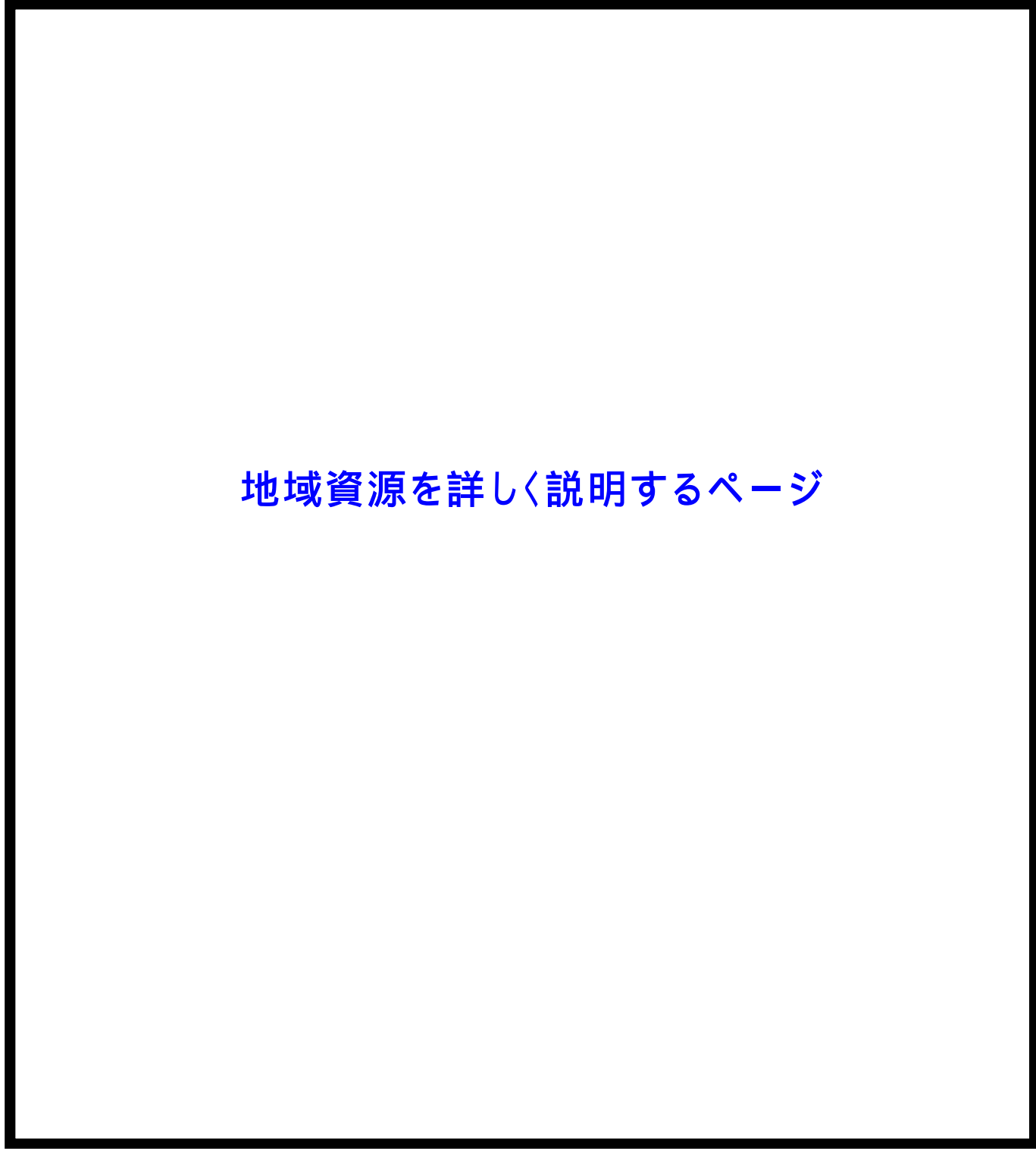
見極める 新市民に憩いを提供する、自然との触れ合い・交流拠点づくり
まちづくり団体、スポーツ・文化団体の活動を活かした、自由で新たなイベントをおこす、人材・組織づくり

発信する 新たな独創的イベント等による人と人のネットワーク化と地域ファンづくり

育てる 地域内外との交流を促進するための、子どもからの人材育成と交流の場の創出

もっと詳しく地域の力

三島地域



地域資源を詳しく説明するページ

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

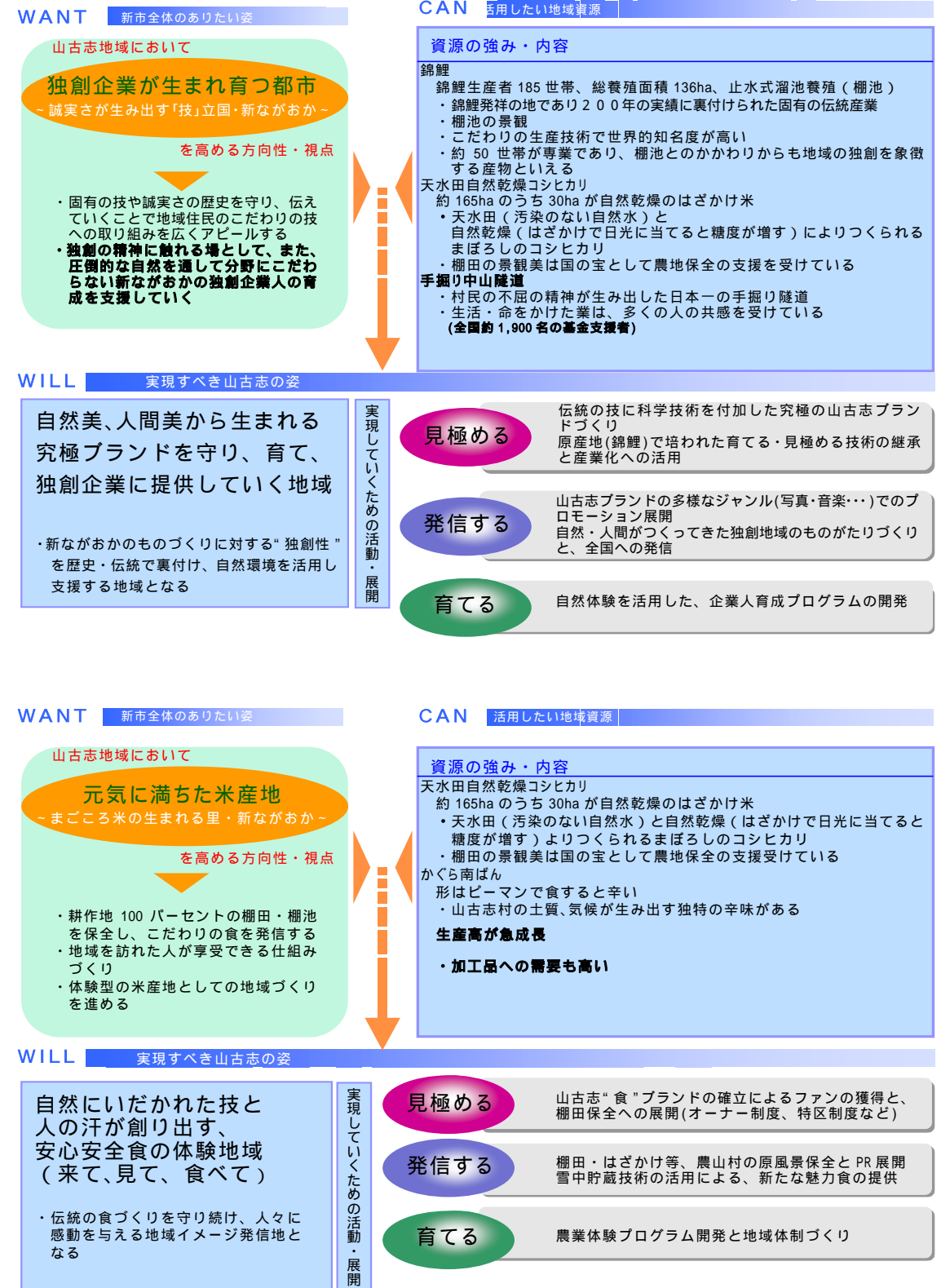
基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための山古志地域の方針と活動

山古志地域

山古志地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述



※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書.

基本コンテンツ案

WANT 新市全体のありたい姿

山古志地域において

世代がつながる安住都市

～ 未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・自然と融合した生活、伝統を守り、未来人に伝えていく

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

- 特徴ある自然景観・棚田
- 耕作地100パーセント棚田
- ・村内全域が棚田という他地域にない特徴ある生活・自然景観
- ・景観美の知名度は高く、文化庁による農村の文化的景観重要地域の指定を受けている
- ・日本景観学会現地研修会会場にもなっており、学術的にも評価が高い
- ・1軒1水源という固有の水とのかかわりを持つ
- 都会では見られない生き物たち
- ・棚田・棚池では、クロメダカ・タガメ・ゲンゴロウなどが生きる
- 固有の生活行事
- ・牛の角突き、賽の神など、住民が熱くなる感動がある

WILL 実現すべき山古志の姿

未来人を育む地域全体フィールドミュージアムの創出

- ・生活から生まれた圧倒的な自然と燃え上がる体験を通して、未来人の感性を育む地域

実現していくための活動・展開

見極める

フィールドミュージアムを構成する資源、歴史、伝統を守り育てていく活動の促進

発信する

固有の景観や生活行事を守りつづけるネットワークづくりと発信

育てる

未来人の心を育てる、大人たちを含めた自然体験学習プログラムの開発

WANT 新市全体のありたい姿

山古志地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～ 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・地域の環境・伝統を守りつづけ、共感を持つリピーターの裾野を広げていく
- ・オフシーズンも含めた地域住民とのおだやかな交流を展開する

CAN 活用したい地域資源

資源の強み・内容

- 体験交流
- ・県内大学留学生の山村生活体験や小学生の雪中キャンプが行われる
- 一石会
- ・全国的に活動する酒飲み会への場の提供を行っている
- 錦鯉による交流
- ・県内での稚魚の放流(子ども)
- ・品評会の来訪者(リピーター)
- 牛の角突き
- ・1000年の歴史を持つ住民による生活の中で生まれた行事
- ・牛の角突きは国指定重要無形民俗文化財に指定されている
- 棚田
- ・棚田は文化庁指定農村の文化的景観重要地域
- 村の人々
- ・豪雪地で住み続ける粘り強く、素朴な人々

WILL 実現すべき山古志の姿

何度でも来なくなる“こころ”和らぐ資源特別区

- ・都会の生活では触れることのできない原風景や文化、伝統を伝える地域となる

実現していくための活動・展開

見極める

様々な地域資源が一体となった山村文化のブランド化、様々な分野の交流による新たな交流資源の発掘活動

発信する

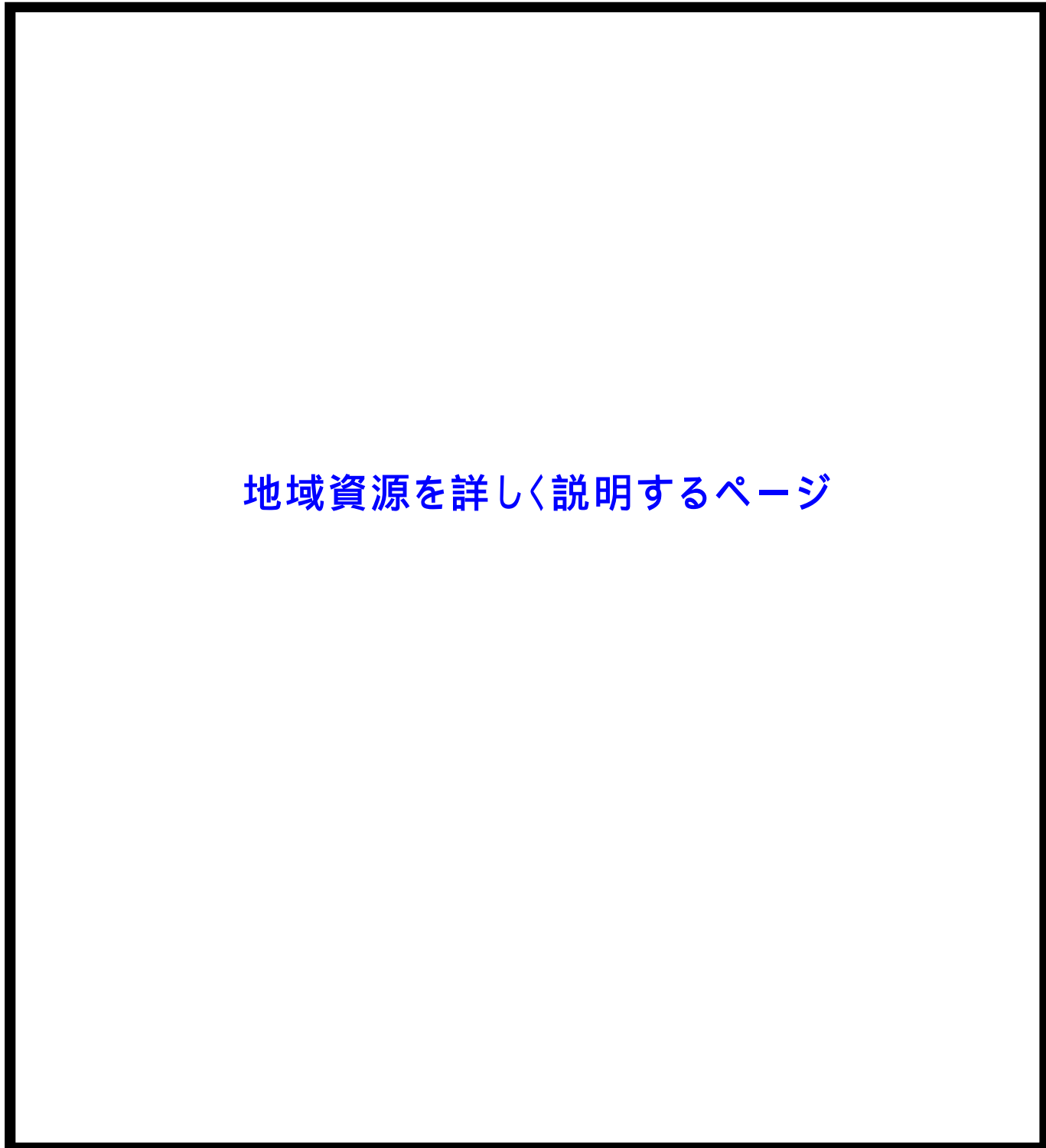
山村・雪国生活の多角的な発信

育てる

人材・情報ネットワーク活用により、地域の人たちが地域資源の価値について理解を深め、来訪者に提供する「もてなしのこころ」の育成

もっと詳しく地域の力

山古志地域



地域資源を詳しく説明するページ

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

地域の夢 「新市地域らしさ価値」を高めるための小国地域の方針と活動

小国地域

小国地域はこんなところ

名前の由来や歴史などを記述

WANT 新市全体のありたい姿

小国地域において

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・独自技術へのこだわりが新たな価値を産み、新たな事業(商品)へと展開していくことを具現化することで、独創企業が生育可能な地域であることを内外にPRする

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

小国和紙
300年以上の歴史を持ち、その製造工程が無形文化財の記録選択に指定されており、小国和紙生産組合が伝統技術を守っている

- ・希少性・高品質を活かした商品への展開
あたたかみのあるランプシェードなどの和紙製品の他、日本酒のラベルや書道、版画用紙などが生産されている
- ・伝統技術を学ぶために学生や職人希望者が研修に来ており、独自技術の発信が行われている

雪を巧みに利用した製法で、使えば使うほど白くなる

小国ログ
ログハウスを中心としたベンチなどログ製品の設計、製造、販売で好評を得ている

- ・曲線を用いたカット方法と気密性の高い加工技術によるやわらかみのある製品
- ・優れた加工技術による間伐材の有効活用

WILL 実現すべき小国の姿

伝統技術の継承と独自技術を活かしたこだわりの里づくり

- ・小国和紙等の伝統技術や独自技術の継承および発信により、後世に残るものを生み出す技術へのこだわりを誇りを持ち、高付加価値化を実現する

実現していくための活動・展開

見極める

大学・研究機関との連携による、小国和紙の研究と新たな製品化への取り組み
小国和紙・ログの新たな販路開拓

発信する

小国和紙・ログなど、地球にやさしい技術のシンポジウムやサミットの開催
伝統技術を活用した、ものづくりに関わる一連の体験・教育プログラムづくり

育てる

伝統技術を継承するための人材受け入れ体制の強化
環境優先型社会を伝える、指導者の養成

WANT 新市全体のありたい姿

小国地域において

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・グリーンツーリズムなどの活動を利用しながら、農業体験だけでなく、「現地で体感するおいしくて特徴ある食」を提供することにより、地域の魅力向上および活性化へ寄与する

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

八石米
盆地と渋海川から生まれた良食味米

- ・小国でのコシヒカリづくりの土専用の有機肥料を使った減減栽培によるおいしい米づくり

八石なす
皮のやわらかい特徴を持つ丸なす

- ・歯ざわり感が良く、郷愁を誘う味と評判で、安全安心でおいしい漬物
- ・町内で生産・加工・販売

雪国ぎんなん
昔から町内で生産されてきた3種類の大型種を町内に広め団地化

- ・独自ブランド製品の製造販売の他、表皮の肥料としての利用や、防虫効果の活用など新たな展開を模索中

グリーンリース圃場
県事業で整備した以外にも独自に実施している集落もある

- ・生産者の顔が見える安心の食の提供や、農業体験による「新たな発見」の提供

WILL 実現すべき小国の姿

安全で味にこだわる食の里づくり

- ・おいしくて特徴のある食の生産・発信地としての発展

見極める

土づくりからはじめる安心安全なこだわり食材(米・なす・ぎんなんなど)の生産と製品開発の促進
体験型農業の推進による農村生活理解活動の推進

発信する

安全な食材のつくり方から食べ方までを発信する「トータル食学校」の創設
こだわりの食を体験できる「小国御膳」の開発と、もてなし体制づくり

育てる

安全な食を販売する人材の育成
ぎんなん生産量日本一への取り組み

※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

新市将来構想書

基本コンテンツ案

WANT 新市全体のありたい姿

小国地域において

世代がつながる安住都市

～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・集落単位の顔の見えるコミュニティでの地域づくりを通じて世代間交流を活性化し、日常生活の中で自らが考え行動する未来人を育むために貢献することを示す。
- ・子供から老人まで、健康者から障害者まで、ともに役割を持ち、元気で支えあう地域づくり

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

- 地域づくりコミュニティ
- ・集落活動計画と一集落一事業
 - ・各世代(こども～お年寄り)が集落の良い点悪い点を話し合っ計画づくりを行う(行政もサポート)
 - ・住民自らが生活環境づくりを行う
 - ・集落が1つの活動単位となっている
- 福祉コミュニティ
- ・多様なボランティア活動
 - ・地域の中で、支える人支えられる人が、ともに生きがいを持てる活動
 - ・生き生きサロン(19地区)
 - ・福祉ボランティア登録者(実数350名延530名)
 - ・学校支援ボランティア(39名)
 - ・生涯学習活動人材バンク(40名)
- 食生活改善推進委員
- ・食を通した健康づくり
 - ・食の伝統文化を次世代に教え伝える活動
- 予防医療の推進
- ・健康に対する意識改革により検診受診率の向上やウォーキングなどの運動が活発化
 - ・しづみ工房
 - ・3障害者(身体、知的、精神)がともに働ける通所授産施設

WILL 実現すべき小国の姿

元気で支えあう気持ちを育み 全てのの人にやさしい里づくり

- ・日常的な支えあいや世代間交流を通じて、生活の中で自らが考え行動する未来人を育む

実現していくための活動・展開

見極める

集落活動の連携による防犯体制の一層の充実 21世紀の新しい食をテーマとした健康づくりの実践

発信する

“健康イベント”開催による、地域の魅力をアピール 農村の良さを伝える広報・情報発信の強化

育てる

高齢者の経験・知識を地域コミュニティで発掘・継承する健康な里づくり 地域ボランティアの組織づくりと活動支援によるリーダー(予防医療等生活専門員)の養成

WANT 新市全体のありたい姿

小国地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・へんなかツーリズム事業は、各所の魅力を連携させて魅力の向上と創造を図る体験型交流への取り組みを実践するものであり、新市で取り組む地域内連携のモデルとして期待される

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

- 都市との交流
- ・武蔵野市と友好市町村共同のアンテナショップ
 - ・友好都市の武蔵野市とは通年で交流
 - ・武蔵野市民の愛蔵書を預かる小国町愛蔵書センター取り組み
 - ・新潟大学の支援
 - ・地域をあげての取り組み、学生との交流も行われている
- 町をあげてもてなす、へんなかツーリズム事業
- ・歴史ロマンの隠れ里まつり
 - ・町民ボランティア500名、歴史愛好家など全国から集まる
 - ・四季を通したまつり
 - ・雪上エンデュロ大会、巫女節踊り
- 緑豊かな自然
- ・越後おくに森林公園、自然の家やまびこ、小国芸術村等恵まれた自然の中で長期滞在が可能な体験施設がある
- 多様な交流施設
- ・なじらい市
 - ・農村生活アドバイザー等
 - ・地産地消をめざす元気なお母さん達が育ちつつある
 - ・グリーンツーリズム推進協議会
 - ・有志の研究会による民泊試行が開始
 - ・へんなかツーリズム事業のもと、町中の取り組みの窓口を一本化し、連携させる試みはじまっている

WILL 実現すべき小国の姿

へんなかツーリズムによる もてなしの里づくり

- ・地域でもてなす体験型交流の創造と展開の実現

見極める

純農村型文化の発掘と継承 長期滞在型交流環境づくり

発信する

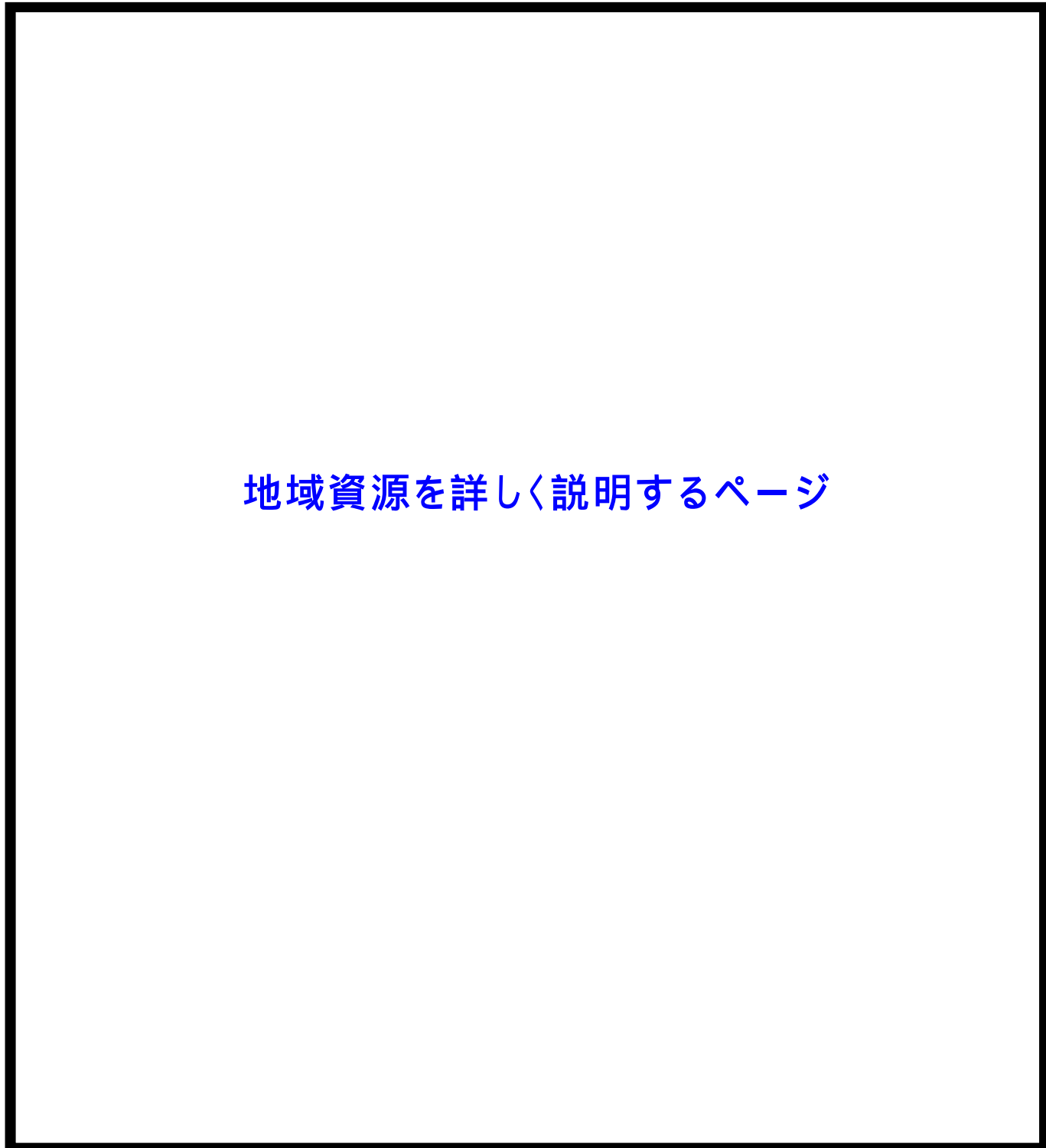
農村交流モニターの全国募集と情報発信 大学との研究交流による農村文化学習フィールドとしての地域イメージづくり

育てる

地域における“もてなし”の意識確立と体制づくり 本を活用した新たな都市と農村の文化交流推進

もっと詳しく地域の力

小国地域



地域資源を詳しく説明するページ

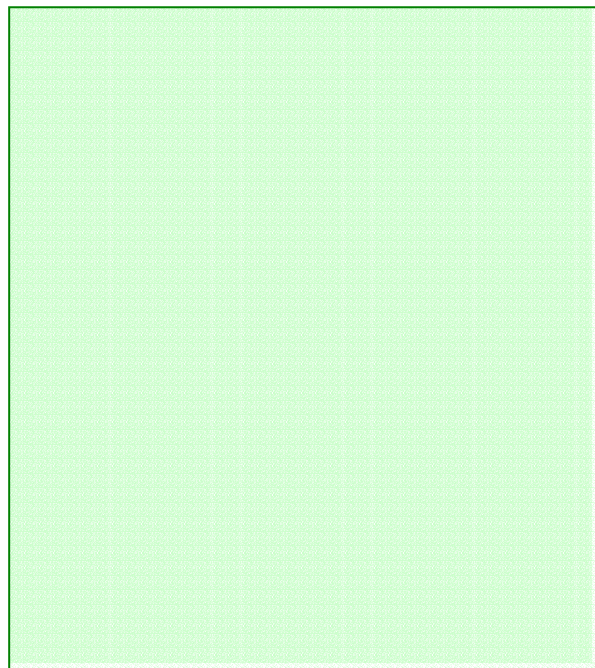
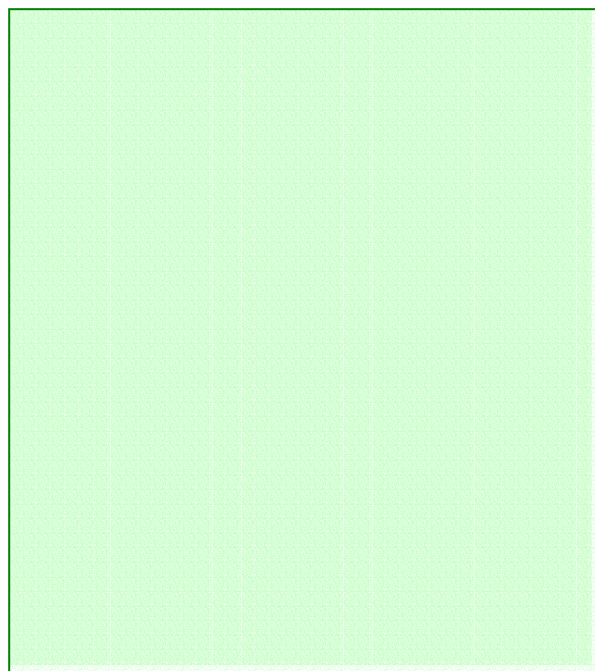
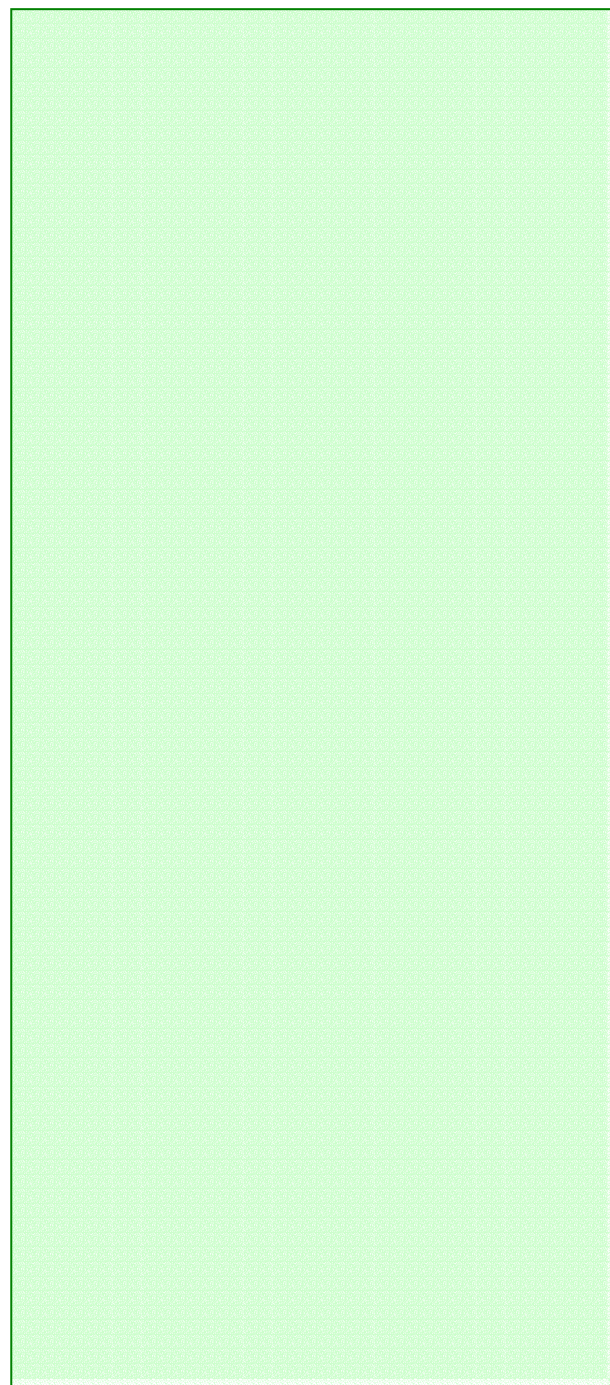
※本資料はあくまでもコンテンツの提示であり、実際のデザイン・レイアウトは異なります

P88～91：新市での取り組み

内容

【老舗のブランディング】

Column
コラム



第5部 まちづくりのこれからを 考える

イメージ写真など入る

新市将来構想書.

基本コンテンツ案

P94～97：まちづくりのこれからを考える

新市将来構想書.

基本コンテンツ案

内容

P98～99：地域の夢のカタチと構想との関係を紹介します

内容

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

ここでは、策定経緯・策定メンバーを紹介します。

内容

新市将来構想書. 基本コンテンツ案

ここでは、用語集を取りまとめます。

内容

イラスト

発行機関、問い合わせ など